(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第5848795号
(P5848795)
(45)発行日　平成28年1月27日(2016.1.27)　(24)登録日　平成27年12月4日(2015.12.4)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 350Z
A63F 7/02 352F
A63F 7/02 332B

請求項の数 3　(全 127 頁)

(21)出願番号　特願2014-76080(P2014-76080)
(22)出願日　平成26年4月2日(2014.4.2)
(62)分割の表示　特願2009-194091(P2009-194091)の分割
原出願日　平成21年8月25日(2009.8.25)
(65)公開番号　特開2014-166496(P2014-166496A)
(43)公開日　平成26年9月11日(2014.9.11)
審査請求日　平成26年4月2日(2014.4.2)

(73)特許権者　000144153
株式会社三共
東京都渋谷区渋谷三丁目２９番１４号
(74)代理人　100098729
弁理士　重信　和男
(74)代理人　100116757
弁理士　清水　英雄
(74)代理人　100123216
弁理士　高木　祐一
(74)代理人　100163212
弁理士　溝渕　良一
(74)代理人　100148161
弁理士　秋庭　英樹
(74)代理人　100156535
弁理士　堅田　多恵子

最終頁に続く

(54)【発明の名称】遊技用装置

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技機に対応して設けられ、
対応する遊技機における遊技にて獲得された遊技媒体を計数する計数手段と、
遊技者による所定操作に応じて、少なくとも前記計数手段が計数した計数遊技媒体数を特定可能な計数遊技媒体情報を記録した記録媒体を発行する処理を行う記録媒体発行処理手段と、
少なくとも他の遊技用装置において発行された前記記録媒体を受付け、該受付けた前記記録媒体から前記計数遊技媒体情報を読み出す記録媒体処理手段と、
受付けた前記記録媒体から読み出した前記計数遊技媒体情報から特定される他の遊技用装置で計数された他台計数遊技媒体数、および当該遊技用装置で計数された自台計数遊技媒体数から少なくとも成る、遊技者の総獲得遊技媒体数の範囲内で遊技媒体を対応する遊技機における遊技に使用するための使用処理を行う使用処理手段と、
前記自台計数遊技媒体数を所定の表示単位に換算して自台表示単位数を特定する表示単位数特定手段と、
該表示単位数特定手段にて特定された自台表示単位数を特定可能に出力する表示単位数出力手段と、
振分け操作の受付けに基づいて、総獲得遊技媒体数の一部である振分け遊技媒体数を特定可能な振分け遊技媒体情報を前記記録媒体発行処理手段により発行される記録媒体に記録して発行する振分け処理を行う振分け手段と、

を備える
ことを特徴とする遊技用装置。
【請求項２】
前記表示単位数特定手段は、前記総獲得遊技媒体数のうちの前記他台計数遊技媒体数を所定の表示単位に換算して他台表示単位数を特定し、
前記表示単位数出力手段は、前記表示単位数特定手段にて特定された他台表示単位数を特定可能に出力することを特徴とする請求項１に記載の遊技用装置。
【請求項３】
前記表示単位数特定手段は、前記所定の表示単位として、第１表示単位にて換算した多表示単位数または該第１表示単位よりも遊技媒体数が多い第２表示単位にて換算した少表示単位数を特定し、
前記表示単位数出力手段は、前記表示単位数特定手段にて特定された前記多表示単位数または前記少表示単位数を特定可能に出力する
ことを特徴とする請求項１または２に記載の遊技用装置。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、遊技機に対応して設けられる遊技用装置に関する。
【背景技術】
【０００２】
近年、遊技者が獲得した遊技球を計数機に運ぶ手間を低減するとともに、遊技場において必要とされる遊技球数を削減すること等を目的として、遊技球を封入して遊技球に対応した点数等により遊技を行う遊技機としたり、各遊技機毎に計数装置を設けて獲得された遊技球数を計数して回収し、遊技にて獲得された点数や計数した遊技球数を、従来において実施されていた玉貯留箱（いわゆるドル箱）が積み上げられている場合と同様に、視覚的なイメージとして把握できるように、遊技機上部の幕版に設けられた表示装置６２の段階表示にて表示する遊技用装置が実用化されている（例えば、特許文献１参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２００１－７０６０１号公報（第７～８頁、第１図、第２２図）
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、これら特許文献１の遊技用装置にあっては、遊技者が台移動により、他の遊技機の遊技にて獲得した点数や計数球数が記録されたカードを挿入した場合には、カードを挿入した遊技用装置が対応する遊技機にて獲得した点数や遊技球数と、他の遊技機の遊技にて獲得した点数や計数球数とが合算され、これら合算された点数や遊技球数に基づいて表示装置６２の段階表示が実施されるので、移動先の遊技機にて新たに獲得した点数や計数球数を把握できないという問題があった。
【０００５】
本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、遊技者が遊技機を変更（台移動）しても、現在遊技中の遊技機にて獲得した遊技媒体数を、視覚的に容易に把握することのできる遊技用装置を提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
前記課題を解決するために、本発明の請求項１に記載の遊技用装置は、
遊技機（パチンコ機２）に対応して設けられ、
対応する遊技機における遊技にて獲得された遊技媒体（パチンコ玉）を計数する計数手段（計数・端数払出ユニット３４０）と、

遊技者による所定操作（返却ボタンの操作）に応じて、少なくとも前記計数手段が計数した計数遊技媒体数（持玉数）を特定可能な計数遊技媒体情報（カードＩＤ、持玉数データ）を記録した記録媒体（ビジターカード）を発行する処理を行う記録媒体発行処理手段（制御ユニット３２８；返却処理、カードリーダライタ３２７）と、
少なくとも他の遊技用装置（カードユニット３）において発行された前記記録媒体を受付け、該受付けた記録媒体から前記計数遊技媒体情報を読み出す記録媒体処理手段（カードリーダライタ３２７）と、
受付けた前記記録媒体から読み出した前記計数遊技媒体情報から特定される他の遊技用装置で計数された他台計数遊技媒体数（カードによる持玉数）、および当該遊技用装置で計数された自台計数遊技媒体数（計数による持玉数）から少なくとも成る、遊技者の総獲得遊技媒体数の範囲内で遊技媒体を対応する遊技機における遊技に使用するための使用処理を行う使用処理手段（制御ユニット３２８；払出処理）と、
前記自台計数遊技媒体数を所定の表示単位に換算して自台示単位数を特定する表示単位数特定手段（制御ユニット３２８；カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ８、Ｓｋ１６、Ｓｋ１９、Ｓｋ２２）と、
該表示単位数特定手段にて特定された自台表示単位数を特定可能に出力する表示単位数出力手段（制御ユニット３２８；カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ１０、Ｓｋ１１）と、
振分け操作の受付けに基づいて、総獲得遊技媒体数の一部である振分け遊技媒体数を特定可能な振分け遊技媒体情報を前記記録媒体発行処理手段により発行される記録媒体に記録して発行する振分け処理を行う振分け手段と、
を備える
ことを特徴としている。
この特徴によれば、遊技者が遊技機を変更（台移動）しても、他台計数遊技媒体数と自台計数遊技媒体数から成る総獲得遊技媒体数の範囲内で遊技媒体を遊技に使用でき、且つ、自台計数遊技媒体数が換算された自台表示単位数が特定可能に出力されるので、現在遊技中の遊技機にて獲得した遊技媒体数を視覚的に容易に把握することができる。

【０００７】

本発明の請求項２に記載の遊技用装置は、請求項１に記載の遊技用装置であって、
前記表示単位数特定手段（制御ユニット３２８）は、前記総獲得遊技媒体数のうちの前記他台計数遊技媒体数を所定の表示単位に換算して他台表示単位数を特定（カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ８、Ｓｋ１９、Ｓｋ２２））し、
前記表示単位数出力手段（制御ユニット３２８；カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ１０）は、前記表示単位数特定手段にて特定された他台表示単位数を特定可能に出力する（制御ユニット３２８；カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ１０、Ｓｋ１１））ことを特徴としている。
この特徴によれば、現在遊技中の遊技機にて獲得した自台計数遊技媒体数のみならず、対応する遊技機以外で獲得した他台計数遊技媒体数についても、視覚的に容易に把握することができる。

【０００８】

本発明の請求項３に記載の遊技用装置は、請求項１または請求項２に記載の遊技用装置であって、
前記表示単位数特定手段は、前記所定の表示単位として、第１表示単位にて換算した多表示単位数または該第１表示単位よりも遊技媒体数が多い第２表示単位にて換算した少表示単位数を特定し、
前記表示単位数出力手段は、前記表示単位数特定手段にて特定された前記多表示単位数または前記少表示単位数を特定可能に出力することを特徴としている。
この特徴によれば、多表示単位数または少表示単位数を特定可能に出力できる。

【０００９】

本発明の手段１に記載の遊技用装置は、請求項１～３のいずれかに記載の遊技用装置であって、

前記遊技用装置は、一般遊技者に発行される前記記録媒体である非会員用記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて、当該一般遊技者が当日の遊技において獲得した当日所有遊技媒体を管理するとともに、会員登録した会員遊技者に発行される前記記録媒体である会員用記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて当該会員遊技者が当日の遊技において獲得した当日所有遊技媒体数並びに当該会員遊技者が当日前の遊技において獲得した当日前所有遊技媒体数とを管理する管理装置とデータ通信可能に接続されており、

前記記録媒体処理手段は、前記会員用記録媒体または前記非会員用記録媒体を受付けて、受付けた前記会員用記録媒体または前記非会員用記録媒体に記録されている記録媒体識別情報の読み出しが可能であり、

前記使用処理手段は、前記記録媒体処理手段にて読み出した記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置にて管理されている前記当日所有遊技媒体数または前記当日前所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理を実行可能であり、

前記遊技用装置は、

前記当日所有遊技媒体数の少なくとも一部である振分け当日遊技媒体数を他の遊技者の前記当日所有遊技媒体数として振分けるための当日分振分け操作を受付ける当日分振分受付け手段と、

前記管理装置において前記記録媒体処理手段により読み出した記録媒体識別情報に対応付けて管理されている前記当日前所有遊技媒体数が存在する場合に、該当日前所有遊技媒体数の少なくとも一部である振分け当日前遊技媒体数を他の遊技者の前記当日前所有遊技媒体数または前記当日所有遊技媒体数として振分けるための当日前分振分け操作を受付ける当日前分振分受付け手段と、

前記当日分振分け操作を受付けたときに、前記振分け当日遊技媒体数を特定可能な情報と、振分け元の前記会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け元の記録媒体識別情報と、振分け先の前記非会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け先の記録媒体識別情報とを前記管理装置に送信することにより、該管理装置において、該送信した前記振分け元の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記当日所有遊技媒体数から前記振分け当日遊技媒体数を減算更新する処理と、該送信した前記振分け先の記録媒体識別情報と前記振分け当日遊技媒体数とを対応付けて記憶するための処理とを実行させ、前記当日前分振分け操作を受付けたときに、前記振分け当日前遊技媒体数を特定可能な情報と、前記振分け元の前記会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した前記振分け元の記録媒体識別情報と、振分け先の前記非会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した前記振分け先の記録媒体識別情報とを送信することにより、該管理装置において、該送信した前記振分け元の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記当日前所有遊技媒体数から前記振分け当日前遊技媒体数を減算更新する処理と、該送信した前記振分け先の記録媒体識別情報と前記振分け当日前遊技媒体数とを対応付けて記憶するための処理とを実行させる振分け要求送信手段と、

を備え、

前記使用処理手段は、前記管理装置において前記当日前分振分受付け手段の受付けに応じた振分けを許諾すると設定されていることにもとづいて、該管理装置において前記振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記振分け当日前遊技媒体数を遊技に使用するための処理を実行する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、当日前所有遊技媒体数からの振分け制限の実施／非実施を選択できる。

【００１０】

本発明の手段２に記載の遊技用装置は、請求項１～３、手段１のいずれかに記載の遊技用装置であって、

前記遊技用装置は、一般遊技者に発行される前記記録媒体である非会員用記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて、当該一般遊技者が当日の遊技において獲

得した当日所有遊技媒体を管理するとともに、会員登録した会員遊技者に発行される前記記録媒体である会員用記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて当該会員遊技者が当日の遊技において獲得した当日所有遊技媒体数並びに当該会員遊技者が当日前の遊技において獲得した当日前所有遊技媒体数とを管理する管理装置とデータ通信可能に接続されており、

前記記録媒体発行処理手段は、振分け先の遊技者に渡される振分け先の前記非会員用記録媒体を発行可能であり、

前記記録媒体処理手段は、前記会員用記録媒体を受付けて、受付けた前記会員用記録媒体に記録されている記録媒体識別情報の読み出しが可能であるとともに、前記記録媒体発行処理手段により発行される振分け先の前記非会員用記録媒体の記録媒体識別情報を読み出し可能であり、

前記使用処理手段は、前記記録媒体処理手段にて読み出した記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置にて管理されている前記当日所有遊技媒体数または前記当日前所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理を実行可能であり、

前記遊技用装置は、

前記当日所有遊技媒体数の少なくとも一部である振分け当日遊技媒体数を他の遊技者の前記当日所有遊技媒体数として振分けるための当日分振分け操作を受付ける当日分振分受付け手段と、

前記管理装置において前記記録媒体処理手段により読み出した記録媒体識別情報に対応付けて管理されている前記当日前所有遊技媒体数が存在する場合に、該当日前所有遊技媒体数の少なくとも一部である振分け当日前遊技媒体数を他の遊技者の前記当日前所有遊技媒体数または前記当日所有遊技媒体数として振分けるための当日前分振分け操作を受付ける当日前分振分受付け手段と、

前記当日分振分け操作を受付けたときに、前記振分け当日遊技媒体数を特定可能な情報と、振分け元の前記会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け元の記録媒体識別情報と、振分け先の前記非会員用記録媒体として前記記録媒体発行処理手段から発行する前記非会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け先の記録媒体識別情報とを送信することにより、該管理装置において、該送信した前記振分け元の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記当日所有遊技媒体数から前記振分け当日遊技媒体数を減算更新する処理と、該送信した前記振分け先の記録媒体識別情報と前記振分け当日遊技媒体数とを対応付けて記憶するための処理とを実行させ、前記当日前分振分け操作を受付けたときに、前記振分け当日前遊技媒体数を特定可能な情報と、振分け元の前記会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け元の記録媒体識別情報と、振分け先の前記非会員用記録媒体として前記記録媒体発行処理手段から発行する前記非会員用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け先の記録媒体識別情報とを送信することにより、該管理装置において、該送信した前記振分け元の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記当日前所有遊技媒体数から前記振分け当日前遊技媒体数を減算更新する処理と、該送信した前記振分け先の記録媒体識別情報と前記振分け当日前遊技媒体数とを対応付けて記憶するための処理とを実行させる振分け要求送信手段と、を備え、

前記使用処理手段は、前記管理装置において前記当日前分振分受付け手段の受付けに応じた振分けを許諾すると設定されていることにもとづいて、該管理装置において前記振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記振分け当日前遊技媒体数を遊技に使用するための処理を実行する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、当日前所有遊技媒体数からの振分け制限の実施／非実施を選択できる。

【００１１】

本発明の手段３に記載の遊技用装置は、請求項２に記載の遊技用装置であって、

前記表示単位数出力手段（制御ユニット３２８；カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ１

０）は、前記他台計数遊技媒体数の計数に関する他台計数関連情報（台番号、貸出レート種別（１円、４円））を特定可能な態様（他の台の玉箱表示に対応づけて表示する態様、レート別の表示色にて表示する態様）にて、前記第２表示単位数を出力することを特徴としている。

この特徴によれば、第２表示単位数が対応する他台計数遊技媒体数が、どの遊技機若しくはどの種別の遊技機にて獲得されたものであるかを、容易に把握することができる。

【００１２】

本発明の手段４に記載の遊技用装置は、請求項３に記載の遊技用装置であって、

前記他台計数関連情報は、前記他台計数遊技媒体数を計数した遊技用装置（カードユニット３）が対応する遊技機において遊技媒体が貸し出される際の貸出レート（１円、４円）の情報を含むことを特徴としている。

この特徴によれば、第２表示単位数が対応する他台計数遊技媒体数が、どの貸出しレートの遊技機にて獲得されたものであるか、つまり、他台計数遊技媒体数のレートを、容易に把握することができる。

【００１３】

本発明の手段５に記載の遊技用装置は、請求項１～３、手段１～４のいずれかに記載の遊技用装置であって、

前記総獲得遊技媒体数は、前記他台計数遊技媒体数（カードによる持玉数）および前記自台計数遊技媒体数（計数による持玉数）と、他の遊技者が所有する遊技媒体数（持玉数、貯玉数）から振分けられた振分け遊技媒体数（振分け玉数）と、から成り、

前記表示単位数特定手段は、前記総獲得遊技媒体数のうちの前記振分け遊技媒体数を所定の表示単位に換算して第３表示単位数（振分け玉数の玉箱数）を特定し、

前記表示単位数出力手段（制御ユニット３２８）は、前記表示単位数特定手段にて特定された第３表示単位数を特定可能に出力する（カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ１０））ことを特徴としている。

この特徴によれば、振分遊技媒体数を、視覚的に容易に把握することができる。

【００１４】

本発明の手段６に記載の遊技用装置は、請求項１～３、手段１～５のいずれかに記載の遊技用装置であって、

前記表示単位数特定手段（制御ユニット３２８）は、前記表示単位に満たない端数の遊技媒体数が存在するか否かを特定し（カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ８、Ｓｋ１６、Ｓｋ１９、Ｓｋ２２）、

前記表示単位数出力手段（制御ユニット３２８；カード受付け中画面表示処理（Ｓｋ１０、Ｓｋ１１）は、前記表示単位数特定手段にて前記表示単位に満たない端数の遊技媒体数が存在すると判定されたことを条件に、端数の遊技媒体数が存在することを識別可能に出力する（端数玉数の表示並びに玉積み表示ユニット４０１を点滅点灯させるための小数点以下を含む玉積み表示情報の出力）ことを特徴としている。

この特徴によれば、表示単位に満たない端数の遊技媒体数が存在することを把握することができる。

【００１５】

本発明の手段７に記載の遊技用装置は、請求項１～３、手段１～６のいずれかに記載の遊技用装置であって、

前記表示単位あたりの遊技媒体数（玉箱表示の単位玉数）を設定変更するための設定変更手段（管理コンピュータ１５０、持玉設定画面）を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、表示単位あたりの遊技媒体数を、適宜に変更することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１６】

【図１】本発明の実施例における遊技用システムの全体像を示すシステム構成図である。

【図２】本発明の実施例の遊技用システムに用いたパチンコ機２、カードユニット３を示す正面図である。

【図３】本発明の実施例において用いたカードユニット３並びに玉積み表示ユニット４０１の構成を示すブロック図である。
【図４】本発明の実施例のカードユニット３に用いたカードリーダライタ３２７の構成を示す上面視断面図である。
【図５】本発明の実施例において用いたカードユニット３の突出部３０５を示す図である。
【図６】本発明の実施例において用いた計数・端数払出ユニット３４０を示す外観斜視図である。
【図７】本発明の実施例のカードユニット３の側面図である。
【図８】本発明の実施例に用いた計数・端数払出ユニット３４０の内部構造を示す破断上面図である。
【図９】（ａ）～（ｄ）は、本発明の実施例に用いた計数・端数払出ユニット３４０内部における流路とパチンコ玉の流下状況とを説明する図である。
【図１０】（ａ）は、本発明の実施例において用いたカードユニット３のカードテーブルを示す図であり、（ｂ）は、本発明の実施例において用いたカードユニット３の遊技情報テーブルを示す図であり、（ｃ）は、本発明の実施例において用いた会員遊技情報示す図であり、（ｄ）は、本発明の実施例において用いた貯留玉数データを示す図であり、（ｅ）は、本発明の実施例において用いた持玉数内訳テーブルを示す図である。
【図１１】本発明の実施例において用いたカードユニット３から送信される送信データ列を示す図である。
【図１２】本発明の実施例において用いた振分け装置５の外観斜視図である。
【図１３】本発明の実施例において用いた振分け装置５の構成を示すブロック図である。
【図１４】本発明の実施例において用いたシステムコントローラ１００の構成を示すブロック図である。
【図１５】（ａ）は、本発明の実施例において用いたシステムコントローラ１００における会員カードテーブルを示す図であり、（ｂ）は、ビジターカードテーブルを示す図である。
【図１６】本発明の実施例において用いた管理コンピュータ１５０の構成を示すブロック図である。
【図１７】（ａ）は、本発明の実施例において用いた管理コンピュータ１５０における会員貯蓄管理テーブルを示す図であり、（ｂ）は、ビジター貯蓄管理テーブルを示す図である。
【図１８】本発明の実施例において用いた持玉種別テーブルを示す図である。
【図１９】（ａ）は、本発明の実施例において用いたユニット管理テーブルを示す図であり、（ｂ）は、本発明の実施例において用いた貯留・払出履歴テーブルを示す図である。
【図２０】本発明の実施例において用いた振分け履歴テーブルを示す図である。
【図２１】本発明の実施例において用いた計数・払出履歴テーブルを示す図である。
【図２２】本発明の実施例において用いた統合履歴テーブルを示す図である。
【図２３】（ａ）は、本発明の実施例において用いた管理コンピュータ１５０における会員情報テーブルを示す図であり、（ｂ）は、会員別遊技履歴テーブルを示す図である。
【図２４】（ａ）は、本発明の実施例において用いた管理コンピュータ１５０における振分け設定画面を示す図であり、（ｂ）は、本発明の実施例において用いた管理コンピュータ１５０における貯留玉排出設定画面を示す図である。
【図２５】本発明の実施例において用いた管理コンピュータ１５０における持玉表示設定画面を示す図である。
【図２６】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される処理内容を示すフロー図である。
【図２７】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施されるカード受付け処理の処理内容を示すフロー図である。
【図２８】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施されるカード受

付け中画面表示処理の処理内容を示すフロー図である。
【図２９】（ａ）～（ｃ）は、本発明の実施例において用いたカードユニット３の表示部３１２に表示されるカード受付け中画面の表示内容並びに玉積み表示ユニット４０１の点灯態様を示す図である。
【図３０】（ａ）、（ｂ）は、本発明の実施例において用いたカードユニット３の表示部３１２に表示されるカード受付け中画面の表示内容並びに玉積み表示ユニット４０１の点灯態様を示す図である。
【図３１】（ａ）～（ｃ）は、本発明の実施例において用いたカードユニット３の表示部３１２に計数・払出履歴表示画面が表示される流れを示す説明図である。
【図３２】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される計数情報処理の処理内容を示すフロー図である。
【図３３】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される払出処理の処理内容を示すフロー図である。
【図３４】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される振分け処理の処理内容を示すフロー図である。
【図３５】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される振分け処理の処理内容を示すフロー図である。
【図３６】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される振分け処理の処理内容を示すフロー図である。
【図３７】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される振分け処理の処理内容を示すフロー図である。
【図３８】（ａ）、（ｂ）は、本発明の実施例におけるカードユニット３または振分け装置５と管理コンピュータ１５０との情報の授受を示す図である。
【図３９】本発明の実施例におけるカードユニット３と管理コンピュータ１５０との情報の授受を示す図である。
【図４０】（ａ）、（ｂ）は、本発明の実施例におけるホールコンピュータ１４０と管理コンピュータ１５０との情報の授受を示す図である。
【図４１】（ａ）～（ｄ）は、本発明の実施例におけるカードユニット３の表示部３１２の表示内容を示す図である。
【図４２】（ａ）～（ｈ）は、本発明の実施例におけるカードユニット３の表示部３１２の表示内容を示す図である。
【図４３】（ａ）～（ｅ）は、本発明の実施例における振分け装置５の表示装置５０１の表示内容を示す図である。
【図４４】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される統合処理の処理内容を示すフロー図である。
【図４５】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される第１統合処理の処理内容を示すフロー図である。
【図４６】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される第２統合処理の処理内容を示すフロー図である。
【図４７】本発明の実施例において用いたカードユニット３において実施される第３統合処理の処理内容を示すフロー図である。
【図４８】（ａ）、（ｂ）は、本発明の実施例におけるカードユニット３の表示部３１２の表示内容を示す図である。
【発明を実施するための形態】
【００１７】
本発明に係る遊技用装置を実施するための形態を実施例に基づいて以下に説明する。
【実施例】
【００１８】
本発明の遊技用システムの実施例を図面に基づいて説明すると、先ず図1は、本発明の遊技用装置であるカードユニット３が適用された遊技用システムの全体像を示すシステム

構成図であり、遊技場内に複数配置される各遊技島（図示略）に並設される遊技機であるカードリーダ式パチンコ機（以下パチンコ機と略称する）２と、パチンコ機２の所定側の側方位置に該パチンコ機２に対して１対１に対応設置され、会員登録をしていない一般の遊技者に対して発行される遊技用記録媒体（一般用記録媒体）であるプリペイド機能を備えるビジターカードや、該遊技機に会員登録した会員遊技者に対して発行される遊技用記録媒体（会員用記録媒体）である会員カードを受付けて、遊技機における遊技に使用される遊技媒体であるパチンコ玉を貸し出すための処理や、対応するパチンコ機２における遊技にて獲得されたパチンコ玉を計数するとともに、該計数済みのパチンコ玉数の範囲内のパチンコ玉の払出し（返却）を行うカードユニット３と、カードユニット３にて使用されるビジターカードや会員カード並びにカードユニット３の管理等を行うシステムコントローラ１００と、各カードユニット３において計数された持玉数の管理や、会員カードを所持する会員遊技者が再度の遊技に使用可能に所有する貯蓄玉数やビジターカードに記録された持玉数の管理を行う管理コンピュータ１５０と、遊技場内に設置された各パチンコ機２の台データ等の遊技情報を管理するホールコンピュータ１４０と、遊技場内の景品カウンタの近傍位置等の遊技場内の所定位置に設けられ、会員カードの貯蓄玉数やビジターカードの持玉数を、他のビジターカード或いは会員カードに振分ける振分け装置５と、遊技場内の景品カウンタに設けられて景品交換を行うための景品交換用ＰＯＳ端末１７０と、から主に構成されている。

【００１９】

そして、これら本実施例の遊技用システムを構成する各装置は、図１に示すように、ハブ（ＨＵＢ）７並びに通信ケーブル８を介して双方向のデータ通信が可能に接続されていて、各接続機器にはそれぞれローカルＩＰアドレスが付与されてローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）が形成されており、該ローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）に接続されているこれら各装置には、当該装置を個々に識別可能な装置ＩＤが付与されているとともに、各装置が装置（ユニット）ＩＤとローカルＩＰアドレスとが対応付けられたＩＰアドレステーブルや後述するユニット管理テーブル（図１９（ａ）参照）等を有することで、該装置（ユニット）ＩＤから特定される各ローカルＩＰアドレスを送信データに付与して送受信することにより、互いにデータの送受を実施できるようになっている。

【００２０】

尚、本実施例のシステムコントローラ１００は、上述したように、各会員カード並びに各ビジターカードに存在（残存）するプリペイド残額（プリペイド価値）を管理しているとともに、通信回線１１を介して、これら会員カードやビジターカードを管理する遊技場外のカード管理会社に設置された管理サーバ１２と双方向のデータ通信を実施できるように接続されていて、これら管理サーバ１２に対してシステムコントローラ１００から、各種の管理情報が送信されることにより、カード管理会社は、該管理サーバ１２にて各遊技場の会員カード並びにビジターカードによる売り上げ等を把握できるようになっている。

【００２１】

また、本実施例のホールコンピュータ１４０には、図１に示すように、遊技場内を監視するための監視カメラシステムが接続されており、該監視カメラシステムにて撮像された遊技場内の監視画像が、各パチンコ機２の台データ等とともに記憶、管理され、これら監視画像や、台データ等の遊技情報や後述する統合履歴の一覧等を表示可能な表示装置（モニタ）を有している。尚、これらホールコンピュータ１４０にて管理される各パチンコ機２の台データ等の遊技情報は、後述するように、各パチンコ機２に対応するカードユニット３から送信される送信データにより最新の情報に更新されるようになっている。

【００２２】

また、カードユニット３とパチンコ機２とは、図３に示すように、払出単位として予め定められた複数個（本実施例では２５個）のパチンコ玉の貸出に伴う各種の信号、具体的には、パチンコ機２から出力される台端末貸出完了信号（ＥＸＳ）や台ＲＥＡＤＹ信号（ＰＲＤＹ）、制御ユニット３２８より出力されるカードユニットＲＥＡＤＹ信号（ＢＲＤＹ）や台端末貸出要求完了確認信号（ＢＲＱ）を送受可能に接続されているとともに、該

パチンコ機２から出力される後述する大当り信号、確変中信号、時短中信号、賞球信号、始動信号が入力可能に接続されている。

【００２３】

はじめに、本実施例に用いた遊技機であるパチンコ機２について、以下に簡単に説明すると、該パチンコ機２は、図２に示すように、額縁状に形成されたガラス扉枠２２を有し、該ガラス扉枠２２の下部表面には打球供給皿２３がある。打球供給皿２３の上面所定箇所には、操作部１４が設けられているとともに、打球供給皿（上皿）２３の下部には、打球供給皿２３から溢れたパチンコ玉を貯留する下皿２４と打球を発射する打球操作ハンドル（以下操作ノブ）２５とが設けられている。

【００２４】

ガラス扉枠２２の後方には、遊技盤２６が着脱可能に取付けられている。また、遊技盤２６の前面には遊技領域２７が設けられている。この遊技領域２７の向かって右側の下方領域に「特別図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される特図可変表示部２８と、その中央付近には、「演出図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示されるとともに演出映像が表示される演出可変表示部２９と、「普通図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される可変表示装置３０とが設けられている。また遊技盤２６には、複数の入賞口４４や通過ゲート３１、始動入賞口３４、可変入賞球装置３６が設けられているとともに、遊技領域２７の下部には、入賞しなかった打込玉を回収するアウト口４６が形成されている。

【００２５】

これら各入賞口に打玉が入賞した場合には、各入賞口に応じた賞球が図示しない玉切り払い出し装置により払い出されるとともに、該玉切り払い出し装置により払い出された賞球数に応じた賞球信号（１０玉に１パルス）が外部に出力されることで、賞球数が外部に通知される。

【００２６】

打球操作ハンドル２５の操作によって揺動されるハンマー（図示略）によって発射された打玉は、打球レールを通って遊技領域２７に入り、その後、遊技領域２７を流下していく。この際、発射勢いが弱すぎて前記遊技領域２７に達しなかったパチンコ玉は、環流経路（図示略）を通じて下皿２４に環流されるようになっている。

【００２７】

また、遊技領域２７に打ち込まれた打込玉が通過ゲート３１を通過すると、可変表示装置３０に停止表示されている普通図柄が可変開始する。

【００２８】

可変表示装置３０の可変表示動作後の表示結果が予め定められた特定の表示結果（たとえば○）となった場合に、始動入賞口３４に設けられた可動片３５が所定時間開成して遊技者にとって有利な状態となる。

【００２９】

また、始動入賞口３４にパチンコ玉が入賞すると、特図可変表示部２８において全特別図柄が可変表示（変動表示）を開始するとともに、演出可変表示部２９において演出表示が開始される。そして、その後、特図可変表示部２８における特別図柄が停止し、その停止表示結果が予め定められた特定の表示態様となった場合には、演出可変表示部２９における左、中、右の演出図柄の可変表示も停止し、その演出図柄の表示態様も予め定められた特定の表示態様（たとえば７７７）とされることで、特定遊技状態（大当り状態）が発生するとともに、大当り中信号が出力状態とされることで、該大当りの発生が外部に通知される。

【００３０】

また、特図可変表示部２８における特別図柄が停止したときに、所定パルス幅の始動信号が出力され、特図可変表示部２８における特別図柄の可変表示（変動表示）が実施されたことが外部に通知される。

【００３１】

このように大当り状態が発生した場合には、可変入賞球装置３６に設けられた開閉板４０が開成して遊技者にとって有利な第１の状態となる。この第１の状態は、所定期間（たとえば３０秒間）の経過または打玉の所定個数（たとえば１０個）の入賞のうちいずれか早い方の条件が成立することにより終了し、その後、遊技者にとって不利な第２の状態となる。

【００３２】

そして該第１の状態となっている可変入賞球装置３６の大入賞口内に進入した打玉が特定入賞領域（Ｖポケット）に入賞して図示しないＶカウントスイッチにより検出されれば、その回の第１の状態の終了を待って前記第２の状態から前記第１の状態に制御する繰返し継続制御が行なわれる。この繰返し継続制御の上限回数は例えば１５回と定められている。

【００３３】

特図可変表示部２８の表示結果並びに演出可変表示部２９の演出図柄の表示結果が予め定められた大当り図柄の組合せで停止表示されたときには前述したように大当りが発生するが、これら大当り図柄に停止表示される以前の状態において、リーチ状態が発生する場合がある。

【００３４】

特図可変表示部２８並びに演出可変表示部２９で可変表示された特別図柄並びに演出図柄が所定の確率変動図柄の種類に一致した図柄の組合せで停止表示されたときには、前記繰返し継続制御による「大当り」の終了後に、再度大当りとなる確率が通常の確率状態よりも高い確率状態となる確率変動状態となるようになっており、これら確率変動図柄での大当りを通常の大当りと区別して「確変大当り」と呼称し、これら確変大当り終了後における確率変動状態中において、確変中信号が出力状態とされることで、該確率変動状態の発生が外部に通知される。

【００３５】

また、特図可変表示部２８並びに演出可変表示部２９で可変表示された特別図柄並びに演出図柄が所定の確率変動図柄以外の図柄の組合せで停止表示されたときには、前記繰返し継続制御による「大当り」の終了後に、特図可変表示部２８並びに演出可変表示部２９で可変表示が所定回数に達するか或いは次の大当りが発生するまでの間、特図可変表示部２８における特別図柄および演出可変表示部２９における演出図柄の可変表示時間（変動時間）が通常遊技状態よりも短縮される時短状態となるようになっており、これら時短状態中において、時短中信号が出力状態とされることで、該時短状態の発生が外部に通知される。

【００３６】

本実施例のパチンコ機２には、これら各信号を外部出力するための図示しない情報出力基板が搭載されており、該情報出力基板とカードユニット３とが、図示しない信号ケーブルを介して接続されており、情報出力基板からは、大当り中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号からなる外部出力信号が、信号ケーブルを介してカードユニット３に出力される。

【００３７】

ここで、大当り中信号は大当り状態の期間中において出力状態とされる信号であり、確変中信号は確変状態の期間中においてのみ出力状態とされる信号であり、時短中信号は時短状態の期間中においてのみ出力状態とされる信号であり、始動信号は、特図可変表示部２８の表示結果が全て導出表示されて可変表示が終了した際に出力される所定幅のパルス信号であり、賞球信号は、所定玉数（本実施例では１０玉）が払い出される毎に出力される所定幅のパルス信号である。

【００３８】

本実施例のパチンコ機２には、該パチンコ機２における遊技を制御する遊技制御基板から、入賞に基づいて出力される賞球信号に基づいて所定数の賞球を計数して払出す制御を行うとともに、通常のＣＲ機と同じく、カードユニット３より入出力される信号に基づい

て、払出単位である２５球のパチンコ玉を計数して貸出す制御を行う図示しない賞球制御基板を備えており、該払出単位である２５球の倍数にてパチンコ玉の貸出を実施できるようになっている。

【００３９】

次に、本実施例にて使用されるビジターカードと会員カードとについて、簡潔に説明すると、本実施例に使用される遊技用記録媒体であるビジターカード（一般用記録媒体）並びに会員カード（会員用記録媒体）には、種々のデータを記憶するための不揮発性メモリと、これら記録情報の書き換えや読み出しを実施するとともに、外部のリーダライタ装置との非接触通信を実施する制御部とを有するＩＣチップが搭載されたＩＣカードを使用しており、これらビジターカード並びに会員カードには、個々のカードを識別可能なカードＩＤ、具体的には、ビジターカードにはＶＣで始まるカードＩＤが、会員カードには、ＫＣで始まる会員カードＩＤが予め書き換え不能に記憶されていて、その種別がカードＩＤから識別可能とされているとともに、プリペイド残額を特定可能なプリペイド残額データや、振分けの有無を特定可能な振分けフラグ（「１」が振分け有りを示し、「０」が振分け無しを示す）等の各種データが記憶されている。

【００４０】

尚、会員カードは、遊技場に会員登録を実施した会員遊技者に対して発行されるものであり、該会員に対して付与される会員ＩＤが書き換え不能に記憶されている。また、該会員カードを使用して会員遊技者は、後述するように、一度獲得して計数したパチンコ玉を、その翌日以降においても再度遊技に使用できる貯玉を行うことができるようになっているが、これら会員カードには、該貯玉のデータである貯玉数は直接記録されておらず、これら貯玉数は、後述するように、管理コンピュータ１５０において、会員カードＩＤと会員ＩＤとに対応付けて記憶されることで、該会員カードＩＤや会員ＩＤから特定できるようになっている。

【００４１】

また、ビジターカードは、遊技場内に設置された図示しないカード発行・入金機にて、購入、発行されるとともに、カードユニット３においても発行される。尚、ビジターカードには、該ビジターカードを所有する遊技者が計数した持玉数と日付とが記憶されており、該持玉数をその当日においてのみ、遊技場内の各カードユニット３において使用できるようになっている。

【００４２】

尚、本実施例では、上述したように、ビジターカードのみに持玉数を書き込み記録するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら持玉数や貯玉数のデータを、ビジターカードと同じく、会員カードに記録するようにしても良い。

【００４３】

次に、本実施例のカードユニット３並びに玉積み表示ユニット４０１について、図２～図１１に基づいて以下に説明すると、本実施例のカードユニット３には、図２に示すように、遊技島上部の幕板４に設置されて、対応するパチンコ機２で獲得されたパチンコ玉数を、玉箱と同様に段階的な積み上げ表示並びに点灯色とにより表示する玉積み表示ユニット４０１が接続されており、これら玉積み表示ユニット４０１の点灯が、カードユニット３から出力される玉積み表示情報により制御される。

【００４４】

玉積み表示ユニット４０１は、玉箱と同様に、情報がやや幅広とされた四角箱状の５つの表示部４０２ａ～４０２ｅが、積み重ねられた構成とされており、これら表示部４０２ａ～４０２ｅが、内蔵されているＬＥＤモジュール４１２ａ～４１２ｅにより、個別に緑、青、赤の各色に点灯されるようになっている。

【００４５】

また、本実施例のカードユニット３の前面には、図２に示すように、フルカラーＬＥＤにより構成されて複数の色に点灯することでカードユニット３の状態等を報知可能とされた多機能ランプ３０１等の各種表示部、紙幣を挿入するための紙幣挿入口３０２、装置前

面より装置前方側に突出形成された突出部３０５、持玉数を払出すための計数払出操作を受付けるための払出ボタン３１１、統合操作を受付けるための統合ボタン３１０、会員カードやビジターカードを挿入するための単一のカード挿入口３０９が設けられている。

【００４６】

カードユニット３の前面に設けられたカード挿入口３０９は、該カード挿入口３０９に対応する位置に内蔵されるカードリーダライタ３２７（図７参照）のカードスロット３９２に連設されており、このカード挿入口３０９を介してビジターカードや会員カードをカードスロット３９２に挿入可能とされている。

【００４７】

カードユニット３の前面には、前方に突出する態様にて突出部３０５が設けられている。該突出部３０５において、遊技者と対向する面には、図２並びに図５に示すように、各種情報を表示可能な表示部３１２と、メインメニュー画面を表示させるためのメニューボタン３１６と、台データを表示させるための台データボタン３１８と、会員カードを受付けた場合において、該会員カードに記録された会員カードＩＤ並びに会員ＩＤにより特定される貯玉数を用いた再プレイ遊技を実施するための再プレイボタン３１９と、再プレイボタン３１９の操作が有効であることを報知するための再プレイ表示部３２０と、遊技場の係員が所持するリモコン（図示略）からの赤外線信号を受信して電気信号に変換して出力するＩＲ受光ユニット３１５とが設けられており、該表示部３１２の表面には、表示部３１２に表示された各表示項目を指触により入力可能とするための透明タッチパネル３１４が設けられている。

【００４８】

また、該突出部３０５内部には、表示部３１２を成す後述する液晶表示器３１３や各ボタンに対応するスイッチが設けられており、これらが、図７に示すように、該突出部３０５に対応する装置内位置に設けられた表示制御基板３２９に接続されることで、液晶表示器３１３の表示制御や、透明タッチパネル３１４による入力位置検出等が、該表示制御基板３２９によって実施される。

【００４９】

カードユニット３内の上部位置には、紙幣挿入口３０２に連設され、該紙幣挿入口３０２に投入された紙幣を取り込んでその真贋や紙幣種別の識別を実施し、その識別結果を装置略中央部に設けられている後述する制御ユニット３２８に出力する紙幣識別ユニット３２１が設けられており、該紙幣識別ユニット３２１にて各種紙幣（１万円、５千円、２千円、千円の各紙幣）の受付が可能とされている。

【００５０】

また、カードユニット３の略中央部位置には、該カードユニット３を構成する各部と接続しやすいように該カードユニット３の動作を制御する制御ユニット３２８が設けられており、後述するように、該制御ユニット３２８によって該カードユニット３の各種の動作が制御されている。

【００５１】

また、カードユニット３の最下方位置には、図７に示すように、カードユニット３の前方側から後方（内方）側に傾斜する回収流路を内在する回収流路ボックス３４８が設けられているとともに、該回収流路ボックス３４８の前面側となるカードユニット３の前面下方端部位置には、パチンコ機２の下皿２４の下方位置に配置されることで、該下皿２４から排出されるパチンコ玉を計数するとともに、払出単位数未満の端数のパチンコ玉の払出しを行う箱状の計数・端数払出ユニット３４０から排出されるパチンコ玉をカードユニット３内に流入させるための連結樋３４４が装着される連結樋装着口３４８’が設けられており、該連結樋３４４を流下して連結樋装着口３４８’から回収流路ボックス３４８に流入してきたパチンコ玉が、回収流路ボックス３４８をカードユニット３の前方側から後方（内方）側に流下していき、カードユニット３の後方下端から遊技島内の図示しない回収樋に排出される。

【００５２】

尚、本実施例のカードユニット３は、図７に示すように、カードユニット３本体が、その上下位置に形成されたユニットホルダ３１’に係合し、該カードユニット３本体を前面方向に引き出し可能に保持するユニットホルダ３１’を介して遊技島に設置されており、カードユニット３の前面下方所定位置には、図示しないシリンダ錠が設けられていて、係員等が所持する解錠キーにより施錠を解除することでカードユニット３が引き出しできるようになっている。また、該ユニットホルダ３１’には、各種接続ケーブルを中継するためのコネクタが設けられており、制御ユニット３２８に接続される通信ケーブル等が、該ユニットホルダ３１’を介して中継接続されていて、これら通信ケーブル等が前記カードユニット３本体の引き出し時に絡まって、カードユニット３本体が引き出せなくなってしまうことがないように工夫されている。

【００５３】

図３は、本実施例のカードユニット３並びに玉積み表示ユニット４０１の構成を示すブロック図である。玉積み表示ユニット４０１は、上述したように、各表示部４０２ａ～４０２ｅ毎に、ＬＥＤモジュール４１２ａ～４１２ｅが設けられているとともに、これらＬＥＤモジュール４１２ａ～４１２ｅの点灯を制御するコントローラ４１１を有しており、該コントローラ４１１が、カードユニット３に設けられた外部接続Ｉ／Ｆを介して、カードユニット３内部の後述する制御ユニット３２８に接続されており、該制御ユニット３２８から出力される玉積み表示情報に基づいて、コントローラ４１１がＬＥＤモジュール４１２ａ～４１２ｅの点灯色や点灯状態を制御するようになっている。

【００５４】

また、カードユニット３は、上述したように、主には、紙幣識別ユニット３２１と、カードリーダライタ３２７と、表示制御基板３２９と、計数・端数払出ユニット３４０と、カードユニット３の各部の制御を制御プログラムにより実施して該カードユニット３の各種の機能を提供する制御ユニット３２８とから構成されており、紙幣識別ユニット３２１、カードリーダライタ３２７、計数・端数払出ユニット３４０及び表示制御基板３２９は制御ユニット３２８と接続されて各種データの送受が可能とされている。

【００５５】

カードリーダライタ３２７は、カード挿入口３０９から挿入される会員カード並びにビジターカードに記録されている（会員）カードＩＤや、会員ＩＤ（会員カードのみ）、プリペイド残額データ等の記録情報の読み出し並びに書き込みを行う。

【００５６】

本実施例に用いたカードリーダライタ３２７の構成を、図４を用いてより詳細に説明すると、該カードリーダライタ３２７の内部には、前記カード挿入口３０９からの会員カードやビジターカードの挿入並びに会員カードやビジターカードが挿入中であることを検知する挿入センサ３９７や、カード挿入口３０９からの新たな会員カードやビジターカードの挿入を阻止するためのシャッタの出没を行うシャッタ用ソレノイド３９９や、カード挿入口３０９から延設され、会員カードやビジターカードがスライド可能とされたガイドレール３９８と、該ガイドレール３９８を挟むように配設されてカードスロット３９２に挿入された会員カードやビジターカードを、カードスロット３９２の内方側に取り込むとともに、会員カードやビジターカードをカード挿入口３０９から排出する取込・排出ローラ３８７’並びに該取込・排出ローラ３８７’を駆動する駆動モータ３８６’と、取込・排出ローラ３８７’によりカードスロット３９２の内方側に取り込まれた会員カードやビジターカードのガイドレール３９８上の移動を、駆動モータ３８６、３９３にて駆動回転されることにより実施する搬送ローラ３８７、３８８と、前記搬送ローラ３８７、３８８の一方側に張架された搬送ベルト３９１と、から成る搬送機構や、該搬送される会員カードやビジターカードを所定位置に停止させるストップピンの出没を行うソレノイド３８９や、所定位置に停止された会員カードやビジターカードへの給電やデータ通信を行う通信ヘッド３９０や、該通信ヘッド３９０に接続されて会員カードやビジターカードとのデータ送受の制御を行う通信基板３２７ａと、が設けられており、挿入されている会員カードやビジターカードからのデータの読み出し及び会員カードやビジターカードへの書き込みが

非接触状態にて可能とされている。

【００５７】

本実施例のカードリーダライタ３２７に設けられた搬送機構を構成する搬送ローラ３８７は、カード挿入口３０９から、１枚の会員カードやビジターカードの長さ寸法とほぼ等しい距離だけ、離間されて設けられており、カード挿入口３０９と搬送ローラ３８７との間に、１枚の会員カード或いはビジターカードを滞留（保持）させたまま、通信ヘッド３９０に対応する所定位置に他の会員カード或いはビジターカードを停止させてデータの読み取り及び書き込みを実施できるようになっており、後述するように、振分け処理を実施する場合において、振分けにて発行するビジターカードと受付け中の会員カードをほぼ同時に連続してカード挿入口３０９から排出できるとともに、振分けにおいて振分け先のカードを受付けた場合には、振分け先のカードを排出することなく保持したまま、振分け元のビジターカードへの書き込みを完了できるようになっている。

【００５８】

本実施例のカードリーダライタ３２７に設けられている搬送ベルト３９１のカードユニット３の内方側終端部位置には、回収または補充されたビジターカードを最大１０枚まで貯留できるカード貯留部３７０が設けられており、使用済みとなったビジターカードを回収できるとともに、これらカード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを新規のビジターカードとして発行可能とされている。

【００５９】

この本実施例のカード貯留部３７０の内部には、図４に示すように、駆動モータ３７３にて駆動回転される１対の搬送ローラ３７１と、該搬送ローラ３７１に張架された搬送ベルト３７２と、から成るビジターカードの移動（収納、排出）を実施する搬送機構が設けられるとともに、カード貯留部３７０内に貯留されているビジターカードを、支持板３７７を介して搬送ベルト３７２側に押圧する押圧ばね３７６が設けられている。

【００６０】

そして、搬送機構における搬送ベルト３７２の略中央部には、ソレノイド３７４によって揺動する揺動ローラ３７５が設けられている。ビジターカードをカード貯留部３７０の内部に取り込むときに、揺動ローラ３７５がソレノイド３７４によって揺動して搬送ベルト３７２と当接することで、搬送ベルト３７２の中央部が突出し、既に貯留されているビジターカード若しくは支持板３７７を押圧することにより、搬送ベルト３７２とビジターカード若しくは支持板３７７との間に、新たにビジターカードを受け入れるための間隙が形成される。そのため挿入されたビジターカードをスムーズにカード貯留部３７０内に貯留することができるようになっており、これらビジターカードの取り込み後に揺動ローラ３７５が搬送ベルト３７２と当接しない位置まで戻ることにより、搬送ベルト３７２の中央部の突出が解消されて、搬送ベルト３７２がビジターカードの全面に当接する状態にてビジターカードが貯留され、該ビジターカードを排出するときには、搬送ベルト３７２に当接しているビジターカードが、搬送ベルト３７２を取り込みとは逆方向に移動することによって、搬送ベルト３９１へ排出される。

【００６１】

また、カード貯留部３７０内には、該カード貯留部３７０内に貯留されるビジターカードの枚数が１枚以下になったことを検出する光学センサによるカード補給検知センサ３７８が設けられているとともに、カード貯留部３７０内に貯留されるビジターカードの枚数が１０枚（満タン）になったことを検出する光学センサによるカード満タン検知センサ３７９が設けられている。カード補給検知センサ３７８がビジターカードの枚数が１枚以下になったことを、ビジターカードからの光反射がないことによって検出すると、該検出信号が制御ユニット３２８に出力されることで、制御ユニット３２８によりカード補給を要求する所定の点灯態様にて多機能ランプ３０１が点灯されることにより、ビジターカードが足りなくなったことが店員に報知されるとともに、カード満タン検知センサ３７９がビジターカードの枚数が１０枚（満タン）になったことを、ビジターカードからの光反射が有ることによって検出した場合には、該検出信号が制御ユニット３２８に出力されること

で、制御ユニット３２８が、カード貯留部３７０内にビジターカードが満タンになったことを認識できるようになっており、この場合には、ビジターカードの回収を実施することなく該ビジターカードはカード挿入口３０９から排出される。

【００６２】

このカード貯留部３７０にビジターカードを補充する場合には、係員がリモコンを操作することによりカード補充モードに移行させた状態において、残額が０のビジターカードをカード挿入口３０９に順次挿入することで、これら挿入されたビジターカードが、カード貯留部３７０に順次貯留されるようになる。

【００６３】

次に、本実施例の制御ユニット３２８について説明すると、制御ユニット３２８は、図３に示すように、制御プログラムを実行可能な中央演算処理回路（ＣＰＵ）３２８ａや、カードリーダライタ３２７に受付け中のビジターカードや会員カードの（会員）カードＩＤ並びにプリペイド残額や、持玉数、貯玉数、来店ポイント数、対応するパチンコ機２の台データ、遊技中の会員の遊技情報、計数・端数払出ユニット３４０に貯留されているパチンコ玉数である貯留玉数データ、管理コンピュータ１５０から送信されてくる持玉数内訳データ等の各種のデータを記憶可能なＲＡＭ３２８ｂや、中央演算処理回路（ＣＰＵ）３２８ａが実行する制御プログラムや、当該カードユニット３の装置ＩＤを含む設定情報や後述する振分け設定画面（図２４）において設定された貯玉直接振分けの許諾の有無を特定可能な振分け設定情報や、後述する持玉表示設定画面（図２５）において設定された設定内容を特定可能な持玉表示設定情報や、前回受付けたビジターカードまたは会員カードのカードＩＤや離席中の（会員）カードＩＤ等の各種のデータを書き換え記憶可能な不揮発性メモリであるＥＥＰＲＯＭ３２８ｃや、その時点の時刻情報やカレンダ情報等を出力可能なリアルタイムクロック（ＲＴＣ）３２８ｄを含み、ＲＡＭ３２８ｂは図示しない電池によりバックアップされており、電源が遮断されても、所定期間において記憶されているデータが保持される。

【００６４】

本実施例の制御ユニット３２８は、前述したようにパチンコ玉の貸出に伴う各種の信号の授受を、パチンコ機２に設けられている図示しない賞球制御基板との間において実施可能に接続されているとともに、前述のように、信号ケーブルを介して、パチンコ機２の情報出力基板と接続されることで、大当り中信号等の各種の外部出力信号が入力可能とされている。

【００６５】

また、制御ユニット３２８は、対応するパチンコ機２の下方位置に設けられているアウト玉計数器１６に接続されて該アウト玉計数器１６による各計数信号が入力可能とされており、これらアウト玉計数器１６からの計数信号の入力に応じて、後述する遊技情報テーブル（図１０（ｂ）参照）の総打込玉数の値に該計数信号に応じた所定数を加算更新する。

【００６６】

また、制御ユニット３２８は、計数・端数払出ユニット３４０と接続されており、後述するように、該計数・端数払出ユニット３４０から出力されてくる計数情報の受信に応じて、表示部３１２に表示している当台獲得玉数の表示並びに値を更新することで、計数・端数払出ユニット３４０にて計数された玉数の総数が当台獲得玉数として表示される。

【００６７】

また、制御ユニット３２８は、装置前面の突出部３０５の下方位置に設けられた払出ボタン３１１に対応する払出ボタンスイッチ３１１’に接続されており、払出ボタン３１１の操作に応じた信号が、該払出ボタンスイッチ３１１’から入力されることにより、払出ボタン３１１の操作の有無を把握し、払出ボタン３１１の操作があったときには後述する払出処理を実施することで、払出単位数のパチンコ玉の払出しを対応するパチンコ機２から実施させるとともに、払出単位数未満の端数のパチンコ玉の払出しを計数・端数払出ユニット３４０から実施させる。

【００６８】
制御ユニット３２８は、払出ボタンスイッチ３１１’の下方位置に設けられた統合ボタン３１０に対応する統合ボタンスイッチ３１０’に接続されており、統合ボタン３１０の操作に応じた信号が、該統合ボタンスイッチ３１０’から入力されることにより、統合ボタン３１０の操作の有無を把握し、統合ボタン３１０の操作があったときには後述する統合処理を実施することで、該カードユニット３において、ビジターカードに記録されている持玉数を、会員カードの持玉数に統合することができる。
【００６９】
本実施例のＲＡＭ３２８ｂに記憶されているカードテーブルには、図１０（ａ）に示すように、カードリーダライタ３２７に挿入されたビジターカードや会員カードから読み出した（会員）カードＩＤや会員ＩＤ（会員カードのみ）、（会員）カードＩＤ並びにプリペイド残額データに基づくプリペイド残額、カードＩＤ若しくは（会員）カードＩＤと会員ＩＤから特定される持玉数（１円、４円）、（会員）カードＩＤと会員ＩＤから特定される貯玉数（会員のみ、１円、４円）、会員ＩＤから特定される来店ポイント数（会員のみ）が記憶されるようになっている。
【００７０】
また、ＲＡＭ３２８ｂに記憶されている本実施例の遊技情報テーブルには、図１０（ｂ）に示すように、本日を含む３日間の遊技情報、つまり、本日データ、前日データ、前々日データが記憶されている。尚、前日データ、前々日データは、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃにも記憶されているが、これら前日データ、前々日データを表示する際に、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃから読み出すよりも高速に処理できるようにするために、本実施例では、予めＥＥＰＲＯＭ３２８ｃより読み出した前日データ、前々日データをＲＡＭ３２８ｂに記憶されている遊技情報テーブルに記憶しておくようにしている。
【００７１】
この本実施例の遊技情報テーブルには、対応するパチンコ機２から出力される前述した大当り中信号、確変中信号、時短中信号の図示しない入力端子１～３への入力状態に基づく現在の遊技状態（本日のみ）と、最新の遊技状態データ（左のビットから順に入力端子１～入力端子３の入力状態、０：ＬＯＷ／未接続、１：ＨＩＧＨ、本日のみ）並びに前回の遊技状態データ（最新の遊技状態データに更新される前の遊技状態データ、本日のみ）、営業開始時点からの総打込玉数、総賞球数、差玉数（総打込玉数－総賞球数）、総始動回数、大当り状態の発生が識別される毎にリセットされて大当りの発生後からの始動回数である当り後始動回数、営業開始時点からの大当りの発生回数である大当り回数、営業開始時点からの確変状態の発生回数である確変回数と、営業開始時点からの時短状態の発生回数である時短回数と、通常遊技状態において発生した大当りから次に通常遊技状態となるまでに発生した大当りの回数である連荘回数からなる遊技情報が格納されており、これら遊技情報は、入力端子に入力される大当り中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号、アウト玉計数信号に基づいて最新の情報に更新される。
【００７２】
尚、これら遊技情報テーブルにおいて集計、管理されている本日の台データは、図１１に示すように、その先頭に台データを含む送信データ列であることを示す特定のデータヘッダと、当該カードユニット３の装置ＩＤと、対応するパチンコ機２の台番号とが付与された所定フォーマットの送信データ列として、ホールコンピュータ１４０からの送信要求の受信に応じて（遊技状態の変更時には、その時点で）送信される。尚、図１１のＥＣＣは、エラー訂正用コードである。
【００７３】
また、ＲＡＭ３２８ｂに記憶されている本実施例の会員遊技情報テーブルには、図１０（ｃ）に示すように、カードリーダライタ３２７に会員カードが挿入された時点からの遊技情報、つまり、該挿入された会員カードを所持する会員の遊技に関する遊技情報が格納されている。
【００７４】

具体的には、会員が遊技を開始した開始時間（会員カードの受付け時刻）、会員が遊技を終了した終了時間（会員カードの返却時刻）、会員の遊技時間、会員が遊技を開始してからの始動回数、会員が遊技を開始してから発生した大当り回数、会員が遊技を開始してから発生した大当り回数、会員が遊技を開始してから発生した確変回数、会員が遊技を開始してから獲得した獲得玉数、会員が遊技に使用した支出金額と、会員が遊技を開始してから再プレイに使用した再プレイ玉数と、会員が遊技を開始してから使用した持玉数とが更新記憶されており、対応するパチンコ機２で遊技中の会員遊技者が遊技を開始してからの遊技情報（台データ）を把握できるようになっている。

【００７５】

また、ＲＡＭ３２８ｂの所定領域には、図１０（ｄ）に示すように、貯留玉数データが記憶されており、計数・端数払出ユニット３４０内部の後述する貯留部に、該計数・端数払出ユニット３４０において計数がなされることによって流入したパチンコ玉数が該貯留玉数データに加算更新される一方、計数・端数払出ユニット３４０から払出しされた端数のパチンコ玉数が該貯留玉数データから減算更新されることにより、現時点において貯留部に貯留されているパチンコ玉数が貯留玉数データにより特定できるようになっている。

【００７６】

さらに、ＲＡＭ３２８ｂの所定領域には、図１０（ｅ）に示すように、持玉数内訳テーブルが記憶されており、カードリーダライタ３２７に受付け中の会員カード或いはビジターカードを所持する会員遊技者或いは一般遊技者（ビジター遊技者）が所有する持玉数の内訳、つまり、持玉数の内、何玉が自台で計数されたものであるか、何玉が自台の他の遊技（今回の遊技以前における当日の自台での遊技）で計数されたものであるか、何玉が他台のどの台番号の遊技機にて計数されたものであるか、並びにそのレート種別が１円であるか４円であるかの内訳を特定できるようになっている。

【００７７】

具体的には、図１０（ｅ）に示すように、台番号に対応付けて、レート並びに持玉数の各データが格納可能とされており、これら持玉数内訳テーブルに格納されるデータは、会員カード或いはビジターカードを受付けた際に、管理コンピュータ１５０にカード受付け通知が送信されることに応じて該管理コンピュータ１５０から返信される受付け処理完了通知に含まれる持玉数内訳データに基づいて更新される（図２７参照）。

【００７８】

また、制御ユニット３２８には、前述したように、対応するパチンコ機２の操作部１４に設けられた残額表示器や、貸出ボタンの操作を検知する貸出ボタンスイッチや、受付け中の会員カードやビジターカードを返却させる際に操作される返却ボタンの操作を検知する返却ボタンスイッチが接続されており、貸出ボタンの操作や返却ボタンの操作を検知できるとともに、これら残額表示器の表示制御を実施する。

【００７９】

制御ユニット３２８は、リモコンからの送信に応じたＩＲ受光ユニット３１５からの出力や突出部３０５に設けられている各種ボタンの操作やタッチパネルの操作に応じて表示制御基板３２９から入力される各種情報や、紙幣識別ユニット３２１による貨幣識別情報、並びにカードリーダライタ３２７からのカード挿入情報やビジターカードの貯留状態情報等を受けて、制御ユニット３２８に接続されている前記多機能ランプ内に設けられたフルカラーＬＥＤ３０１ａ等の各ＬＥＤの点灯制御、カードリーダライタ３２７、表示制御基板３２９の制御、残額表示器の表示制御等、全体の動作制御、並びに図２６に示すように、カード挿入口３０９に挿入された会員カードやビジターカードの利用の可／不可を判別するカード受付け処理や、受付け中の会員カード或いはビジターカードから読み出したプリペイド残額データに基づくプリペイド残額を使用した玉貸を行う貸出処理や、返却ボタンの操作により受付け中の会員カードやビジターカードの返却する返却処理や、貨幣の受付けに応じて、受付け中の会員カードやビジターカードに存在（残存）するプリペイド残額への入金、或いは新たなビジターカードにプリペイド残額を書き込んで発行する発行・入金処理や、貯玉数を用いた再プレイ処理、払出ボタン３１１の操作の受付けによって

持玉数（挿入されたビジターカード並びに会員カードにより特定されるものを含む）から払出し（返却し）て該払出した玉数を持玉数から減算更新する払出処理、リモコンにおける離席操作に基づく信号の受信により離席モードに移行するための離席処理、振分け操作の受付けによって持玉数や貯玉数を他の遊技者の持玉数や貯玉数として振分けする振分け処理、統合ボタン３１０の操作に応じてビジターカードの持玉数を会員カードの持玉数に統合（移行）する統合処理、台データボタン３１８の操作に応じて、遊技情報テーブルに集計されている遊技情報に基づく台データを表示部３１２に表示する台データ表示処理、カード受付け中画面の表示において、玉箱表示が選択されたことに応じて、選択された玉箱表示に該当する計数・払出履歴を、管理コンピュータ１５０から取得して表示部３１２に表示する計数・払出履歴表示処理等の各種処理を実行する。

【００８０】

また、制御ユニット３２８は、通信部３３４並びにＨＵＢ７を介して、ローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）に接続されている前述のシステムコントローラ１００、ホールコンピュータ１４０並びに管理コンピュータ１５０等とデータ通信可能に接続されており、これらの各コンピュータと各種データの送受が該通信部３３４を通じて可能とされている。

【００８１】

また、制御ユニット３２８に接続された表示制御基板３２９は、表示部３１２を成す液晶表示器３１３や、透明タッチパネル３１４や、各種スイッチ類（メニューボタン３１６に対応するメニュースイッチ３１６ａ、台データボタン３１８に対応する台データスイッチ３１８ａ、再プレイボタン３１９に対応する再プレイスイッチ３１９ａ）や、ＩＲ受光ユニット３１５、前述した再プレイ表示部３２０内に設けられたＬＥＤ３２０ａ等の電子部品が接続されており、これら透明タッチパネル３１４の操作情報や、各種スイッチ類の操作情報、ＩＲ受光ユニット３１５から出力された出力信号に基づく情報が、表示制御基板３２９を介して制御ユニット３２８に出力される。

【００８２】

本実施例の表示制御基板３２９には、液晶表示器３１３の表示駆動を行う表示駆動回路（図示略）や、前記透明タッチパネル３１４からの出力信号に基づいて押圧操作された位置を特定して該特定した入力位置情報を出力する入力位置検出回路（図示略）や、表示部３１２に表示する表示映像に関する処理を行うＶＤＰ（図示略）や、メニュー表示等に使用する画像データ等を記憶するＶＲＯＭ（図示略）や、表示部３１２に表示する表示データを一時記憶するＶＲＡＭ（図示略）や、制御ユニット３２８から独立して、各種スイッチ類やタッチパネル等の入力に伴う判断や処理を処理プログラムに基づいて実施する表示制御マイコン等が実装されており、制御ユニット３２８から出力される表示データ（ページデータ）等に基づいて、各種の表示画面を、表示部３１２を成す液晶表示器３１３に表示可能とされている。

【００８３】

また、制御ユニット３２８は、計数・端数払出ユニット３４０と計数情報や端数払出要求等の各種のデータを、少ない通信線数にてデータの送受が可能なシリアル通信により送受可能に接続されている。

【００８４】

ここで、本実施例の計数・端数払出ユニット３４０について、詳細に説明すると、本実施例の計数・端数払出ユニット３４０は、図２並びに図６に示すように、パチンコ機２の下皿２４と、遊技島の繕板１との間に配置された横長の箱状とされており、カードユニット３の最も下方位置に設けられている回収流路ボックス３４８に連結樋３４４を介して連結されている。

【００８５】

つまり、カードユニット３の本体の前面下方に設けられた回収流路ボックス３４８に繋がる連結樋装着口３４８’に、図６に示すように、直角に屈曲された連結樋３４４の端部を装着することで、計数・端数払出ユニット３４０が下皿２４の直下に位置するようにな

っている。
【００８６】
そして、計数・端数払出ユニット３４０の上面には、下皿２４から排出されるパチンコ玉が投入されるホッパ形状とされた投入部３４５が形成されているとともに、その前面のカードユニット３本体側（向かって左側）には、払出し（返却）された端数のパチンコ玉が取り出し可能に貯留される返却貯留部３４２が設けられている。
【００８７】
また、本実施例の計数・端数払出ユニット３４０の打球操作ハンドル２５側には、段部が設けられているとともに、該段部に、弾性部材を上面に有して該弾性部材の高さ位置を調節可能な手置き部材３４３が配置されており、遊技者は、該打球操作ハンドル２５を操作する際に、手の手首近傍の部位を、該手置き部材３４３上に置くことができるようになっていて、長時間の遊技において、打球操作ハンドル２５の操作により手が疲れることを防止できるようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら段部や手置き部材３４３を有しないようにしても良い。
【００８８】
計数・端数払出ユニット３４０は、主に、ユニットの上部を構成する上部ユニット３４０ａと、ユニットの下部を構成する下部ユニット３４０ｂとから成っていて、下部ユニット３４０ｂに対して上部ユニット３４０ａが着脱自在とされている。
【００８９】
上部ユニット３４０ａの上部は、下皿２４から排出されたパチンコ玉を一時貯留可能な凹状とされた投入部３４５とされている。
【００９０】
そして、投入部３４５の底面の最も低い位置には、下部ユニット３４０ｂ内に形成された計数流路３４７に繋がる流入口３４６が設けられている。計数流路３４７は、後述するように、連結樋３４４の方向に向いて、該連結樋３４４側が下方となるように傾斜して形成されているとともに、流入口３４６は、該計数流路３４７の傾斜方向に対して直角方向となる、計数・端数払出ユニット３４０の後方側に向けて開口するように設けられている。
【００９１】
よって、投入部３４５に投入されたパチンコ玉は、該流入口３４６から計数流路３４７に流入して該計数流路３４７上を連結樋３４４の方向に向けて流下し、該計数流路３４７の下流部に設けられている後述する計数センサ３５６にて計数されるようになっている（図８参照）。
【００９２】
つまり、これら流入口３４６並びに計数流路３４７によって計数通路が形成され、流入口３４６の向きが、計数流路３４７における通路の向きに直角となるように設けられていることで、計数通路が１つの屈曲部を有することになり、これら流入口３４６から棒状の金属部材が挿入されて計数センサ３５６に到達してしまうことを防止できるようになっている。
【００９３】
尚、計数流路３４７の上部には、計数・端数払出ユニット３４０の前側に傾斜するように形成された傾斜カバー部３４５’が設けられており、該傾斜カバー部３４５’上のパチンコ玉は、投入部３４５の前方側に流下するようになっている。つまり、投入部３４５に投入されたパチンコ玉は、該投入部３４５の前側位置に一旦集められた後、該投入部３４５の前側の底部が、流入口３４６が穿設されている投入部３４５の手置き部材３４３側（向かって右側）に向かって傾斜していることで、流入口３４６に向かって流下して、該流入口３４６から計数・端数払出ユニット３４０の後方に向けて流入するようになっている。
【００９４】
このように、下皿２４から投入されたパチンコ玉を投入部３４５の前方側に一旦集める

ようにすることにより、投入部３４５内のパチンコ玉を、下皿２４に邪魔されることなく容易に取り出すことができるようになるので好ましい。しかし、本発明はこれに限定されるものではなく、投入されたパチンコ玉を投入部３４５の前方側に集めないようにしても良い。

【００９５】

尚、流入口３４６には、該流入口３４６からのパチンコ玉の流入を遮断するための流入口シャッタ３５２が設けられていて、該流入口シャッタ３５２が解放されることにより、投入部３４５内のパチンコ玉が流入口３４６から計数流路３４７へ流入するようになっている。

【００９６】

また、上部ユニット３４０ａの連結樋３４４側（向かって左側）の側面には、計数を行う際に遊技者により操作される計数操作部３５５が設けられており、該計数操作部３５５における操作により、該計数操作部３５５に内在されている計数スイッチ３５５’が作動することに応じて、流入口シャッタ３５２が解放されるようになっている。

【００９７】

一方、下部ユニット３４０ｂの前面には、図２、図６に示すように、連結樋３４４側端部位置に、有底箱状の返却貯留部３４２が設けられている。返却貯留部３４２の前方部分は、下部ユニット３４０ｂの前面から突出するように設けられているとともに、上部ユニット３４０ａ前面の、該返却貯留部３４２の上部位置となる部分には、取り出し凹部３４２’が設けられており、該返却貯留部３４２に払出しされた端数のパチンコ玉を該返却貯留部３４２から容易に取り出すことができるようになっている。

【００９８】

次に、本実施例の下部ユニット３４０ｂの構造について図８に基づいて説明する。図８は、上部ユニット３４０ａを取外した際の計数・端数払出ユニット３４０を上方から見た平面図、つまり、下部ユニット３４０ｂを上方から見た平面図を示すものであり、下部ユニット３４０ｂは、図８に示すように、主に、計数流路３４７、計数モジュール３３０、流入路３３９、貯留部３３８、排出流路３３７、返却通路３３５、並びに返却貯留部３４２とから構成されている。

【００９９】

計数流路３４７は、傾斜カバー部３４５’の直下位置となる計数・端数払出ユニット３４０の後方部に、下部ユニット３４０ｂを横断する形成された２条の流路であり、流入口３４６から流入したパチンコ玉が、連結樋３４４側に向けて整列して流下する。

【０１００】

計数モジュール３３０は、計数流路３４７の下流側に設けられており、該計数流路３４７を流下してきたパチンコ玉を検知して計数するための計数センサ３５６を有している。

【０１０１】

この計数流路３４７の前方側には、払出単位数未満の端数のパチンコ玉の払出しに使用するパチンコ玉を貯留するための貯留部３３８が、該貯留部３３８の前方側の高さが後方側の高さよりも若干低くなるように傾斜して形成されているとともに、該貯留部３３８と計数モジュール３３０の下流部とが、貯留部３３８側に傾斜する流入路３３９にて接続されていることにより、計数センサ３５６にて計数済みとなったパチンコ玉を、該流入路３３９を通じて貯留部３３８内に流入させて貯留できるようになっている。

【０１０２】

尚、貯留部３３８の前側方位置には、該貯留部３３８内に貯留されているパチンコ玉の流出口３３８’が設けられているとともに、貯留部３３８内には、該流出口３３８’に向けて蛇行するように形成された図示しないガイド溝が設けられており、貯留部３３８内に流入したパチンコ玉は、流入した順に該ガイド溝上に整列した状態にて貯留されるようになっていて、先に貯留されたパチンコ玉から順に、流出口３３８’から流出するようになっている。

【０１０３】

また、計数モジュール３３０内にも２条の流路が形成されており、この２条の流路の内、前側の１条の流路については、計数モジュール３３０の下流端位置に流路変更シャッタ３５１が設けられていて、該流路変更シャッタ３５１が出没することによって、パチンコ玉の流下方向を、連結樋３４４側或いは流入路３３９側に切替えることが可能とされている。

【０１０４】

尚、流入路３３９への分流部近傍位置には、図８に示すように、該流入路３３９を流下して貯留部３３８に貯留されるパチンコ玉を検出して計数するための貯留玉センサ３５７が設けられている。

【０１０５】

また、流出口３３８’は、貯留部３３８内に貯留されているパチンコ玉が該流出口３３８’に向けて自然流下するように、その高さ位置が、貯留部３３８において最も低い位置とされていて、該流出口３３８’は、図８に示すように、排出流路３３７に接続されている。

【０１０６】

この排出流路３３７内の流出口３３８’の近傍位置には、図８に示すように、払出モータ３５３の回転軸に装着され、外周に１つのパチンコ玉を収容可能な凹部が形成された払出スプロケット３５３’が配置されていて、該払出スプロケット３５３’によって流出口３３８’からのパチンコ玉の自然流出が規制されているとともに、払出モータ３５３を作動させて払出スプロケット３５３’を回転させることにより、流出口３３８’に流出したパチンコ玉が、１つずつ、払出スプロケット３５３’に形成された凹部に取り込まれるとともに、払出スプロケット３５３’が回転することによって排出流路３３７内に排出され、該排出流路３３７を流下して連結樋３４４に合流して、カードユニット３内に回収されるようになっている。

【０１０７】

この排出流路３３７の途中には、返却貯留部３４２に繋がる返却通路３３５への分流口３３６と、装着されている流路切替板を進退させることにより該排出流路３３７を流下してきたパチンコ玉の流路を、連結樋側または返却通路側に切替え可能とされた流路切替ソレノイド３５８が設けられているとともに、排出流路３３７の該分流口３３６の上流位置には、払出スプロケット３５３’により該排出流路３３７に持ち上げられて供給されたパチンコ玉を検出して計数するための払出センサ３５４が設けられており、該払出センサ３５４により、返却通路３３５を通じて遊技者に払出し（返却）するパチンコ玉数を計数できるとともに、貯留部３３８から連結樋３４４を通じてカードユニット３内に回収（排出）させたパチンコ玉を計数できるようになっている。

【０１０８】

尚、手置き部材３４３が設けられている前述した段部の下方の位置する下部ユニット３４０ｂの内部には、計数・端数払出ユニット３４０の制御を行う制御部３５０となる制御マイコン等が搭載された制御基板３４１が内蔵されている。

【０１０９】

この制御基板３４１には、図３に示すように、計数・端数払出ユニット３４０に内蔵されている前述した流路変更シャッタ３５１、流入口シャッタ３５２、払出モータ３５３、払出センサ３５４、計数スイッチ３５５’、計数センサ３５６、貯留玉センサ３５７並びに流路切替ソレノイド３５８が接続されていて、該制御基板３４１にて計数・端数払出ユニット３４０の各機能が形成されるように制御される。

【０１１０】

また、制御基板３４１は、カードユニット３の本体と連結樋３４４を介して電気的に接続されている。

【０１１１】

具体的には、連結樋３４４の内部には、計数・端数払出ユニット３４０から連結樋装着口３４８’に向けて傾斜するように形成された連結流路が設けられているとともに、該連

結流路の上部を連結樋カバー３４４’が覆うように装着されており、該連結樋カバー３４４’内に、連結ケーブルが架設されている。

【０１１２】

そして、カードユニット３本体内部の回収流路ボックス３４８の前方側上部位置には、制御ユニット３２８や図示しない電源回路に接続ケーブルを介して接続された所定数の金属製の接続端子ピン３４９’を有する接続端子部３４９が設けられている。

【０１１３】

そして、これら接続端子ピン３４９’は、連結樋３４４に装着される連結樋装着口３４８’の上部位置に臨むように設けられている。

【０１１４】

一方、連結樋カバー３４４’の連結樋装着口３４８’への装着端部には、連結樋カバー３４４’内の連結ケーブルに接続された端子挿入部材が設けられている。

【０１１５】

よって、連結樋３４４を連結樋装着口３４８’へ装着すると、接続端子ピン３４９’が端子挿入部材に挿入して、これら接続端子ピン３４９’と端子挿入部材とが導通することによって、カードユニット３本体内部の制御ユニット３２８と制御基板３４１とが通信可能に接続されるとともに、これら制御基板３４１にカードユニット３本体から動作電力が供給される。

【０１１６】

ここで、計数・端数払出ユニット３４０におけるパチンコ玉の流れについて、図９を用いて説明すると、貯留部３３８内にパチンコ玉が貯留されていない状態において、パチンコ玉を計数した場合には、図９（ａ）に示すように、流路変更シャッタ３５１により、流入路３３９側に流路が変更されることにより、計数センサ３５６により計数された計数済みのパチンコ玉が流入路３３９を通じて貯留部３３８内に流入して貯留されていく。

【０１１７】

尚、この際、流入路３３９並びに貯留部３３８内に流入するパチンコ玉は、貯留玉センサ３５７により検出されていき、１球のパチンコ玉が検出される毎に制御基板３４１（制御部３５０）に対して検出信号が出力されていくことにより、制御基板３４１（制御部３５０）において貯留部３３８内並び流入路３３９内に流入したパチンコ玉数である補充玉数が計数されるようになっていて、これら計数された補充玉数を含む補充玉数情報が、制御ユニット３２８に送信されることで、貯留玉数データに該補充玉数が加算更新される。尚、これら補充玉数情報には、制御ユニット３２８にてカードユニット３の装置ＩＤが付与されて管理コンピュータ１５０に送信されることにより、該補充玉数情報に基づいて、貯留・払出履歴テーブルにおいて、該装置ＩＤに対応する貯留・払出履歴として、「貯留」の種別と該補充玉数とを含む貯留・払出履歴が登録される。

【０１１８】

具体的には、貯留玉センサ３５７による新たなパチンコ玉の検出に応じた検出信号の入力の開始から、貯留部３３８内並び流入路３３９内がパチンコ玉により満たされることにより、貯留玉センサ３５７によってパチンコ玉が所定時間以上連続して検出されるか、或いは、所定時間以上連続してパチンコ玉の検出がなされなくなるまでに入力された検出信号の数をカウントし、該カウント数を補充玉数情報として制御ユニット３２８に送信することにより、制御ユニット３２８は、補充玉数情報に含まれるカウント数を貯留玉数データに加算更新する。

【０１１９】

このようにして貯留部３３８内並び流入路３３９内がパチンコ玉により満たされた後は、図９（ｂ）に示すように、流路変更シャッタ３５１による流入路３３９側への流路変更が解除されることで、計数センサ３５６により計数された計数済みのパチンコ玉は全て、連結樋３４４を流下してカードユニット３内部の回収流路ボックス３４８を介して遊技島内に回収される。

【０１２０】

そして、このように貯留部３３８にパチンコ玉が貯留されている状態において、払出単位未満の端数のパチンコ玉数、例えば、端数として２０玉の払出し（返却）がなされる場合、つまり、後述するように、制御ユニット３２８から払出し（返却）する端数である２０玉を含む端数払出要求を受信した場合には、図９（ｃ）に示すように、流路を流路切替ソレノイド３５８により返却通路３３５へ切替えるとともに、該受信した端数払出要求に含まれる払出玉数（端数）である２０の検出信号が払出センサ３５４から入力されてくるまで払出モータ３５３を作動させることにより、該払出玉数（端数）である２０個のパチンコ玉を排出流路３３７に供給することで、これら排出流路３３７に供給された２０個のパチンコ玉が、分流口３３６から返却通路３３５に流入して、返却貯留部３４２に返却されて貯留されるようになる。

【０１２１】

尚、これら端数に相当する数の検出信号が払出センサ３５４から入力されてきた際には、端数払出要求の応答として、端数払出完了通知が制御ユニット３２８に対して送信されることにより、制御ユニット３２８は、端数払出要求に含めて送信した端数である２０を貯留玉数データから減算更新するとともに、後述するように、管理コンピュータ１５０に対して払出完了通知を送信する。

【０１２２】

また、管理コンピュータ１５０からの排出指示の受信に応じて制御ユニット３２８から送信される排出する排出玉数、例えば、５５玉を含む排出要求を受信した場合には、図９（ｄ）に示すように、流路の返却通路３３５への切替えを実施せずに、該受信した排出要求に含まれる排出玉数である５５の検出信号が払出センサ３５４から入力されてくるまで払出モータ３５３を作動させることにより、該排出玉数である５５個のパチンコ玉を排出流路３３７に供給することで、これら排出流路３３７に供給された５５個のパチンコ玉が、連結樋３４４並びにカードユニット３本体内部の回収流路ボックス３４８を通じて遊技島内に回収されるようになる。

【０１２３】

尚、これら排出玉数に相当する数の検出信号が払出センサ３５４から入力されてきた際には、排出要求の応答として、排出完了通知が制御ユニット３２８に対して送信されることにより、制御ユニット３２８においては、排出要求に含めて送信した排出玉数である５５が貯留玉数データから減算更新される。

【０１２４】

また、排出要求に含まれる排出玉数が全数である場合には、払出センサ３５４からのパチンコ玉の検出信号の入力が無くなるまで払出モータ３５３を作動させることにより、貯留部３３８並びに流入路３３９に貯留されている全てのパチンコ玉が連結樋３４４に排出され、貯留部３３８並びに流入路３３９は空状態となる。

【０１２５】

次に、本実施例の振分け装置５について、図１２並びに図１３に基づいて説明すると、振分け装置５は、図１２に示すように、縦長箱状の外観を有しており、その前面には、稼働状況を報知するための稼働報知ランプ５０３と、表面に透明タッチパネル５０２を有する液晶ディスプレイからなる表示装置５０１と、振分け元のビジターカード或いは会員カードが挿入される第１カード挿入口５０４と、該第１カード挿入口５０４に対応して設けられ、該第１カード挿入口５０４からのカードの排出等を点滅等により報知する第１挿入口ＬＥＤ５０６と、振分け先のビジターカード或いは会員カードが挿入されるとともに、新たな振分け先のビジターカードが発行される第２カード挿入口５０５と、該第２カード挿入口５０５に対応して設けられ、該第２カード挿入口５０５からのカードの排出等を点滅等により報知する第２挿入口ＬＥＤ５０７とが設けられている。

【０１２６】

表示装置５０１には、振分け装置５の操作案内が表示されて、該操作案内に沿ってカードの挿入や、メニューの選択を実施することで、簡単に振分けを実施できるようになっている。

【０１２７】
図１３は、本実施例の振分け装置５の構成を示すブロック図であり、装置内部には、前述したカードユニット３に内蔵されているカードリーダライタ３２７（図４参照）とほぼ同じ構成とされた第１カードリーダライタ５０８が、第１カード挿入口５０４に臨むように設けられているとともに、カードリーダライタ３２７（図４参照）と同じ構成とされた第２カードリーダライタ５０９が、第２カード挿入口５０５に臨むように設けられている。
【０１２８】
尚、第２カードリーダライタ５０９は、前述のカードリーダライタ３２７と同様に、発行するビジターカードを貯留するカード貯留部３７０を有していて、新たに振分け先のビジターカードを発行できるようになっているのに対し、第１カードリーダライタ５０８は、これらカード貯留部３７０を省いた構成とされていて、ビジターカードの発行機能を有しないものとされている。
【０１２９】
また、振分け装置５の装置内部には、図１３に示すように、振分け装置５に設けられた各部に接続されて、該振分け装置５が有する各種機能を実現するための制御を行う制御部５１０が設けられており、該制御部５１０は、振分け装置５が有する各種機能を実現するための制御内容が記述された制御プログラムを記憶する図示しないＲＯＭや、該制御プログラムを実行するマイクロコンピュータ（ＣＰＵ）や、該マイクロコンピュータ（ＣＰＵ）が処理に使用可能なＲＡＭ等を有している。尚、ＲＯＭには、カードユニット３と同じく、管理コンピュータ１５０から送信される振分け設定情報が記憶されており、該振分け設定情報によって貯玉数からの直接振分けの許諾が設定されているか否かを特定できるようになっている。
【０１３０】
また、制御部５１０は、前述したローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）に通信部５１１を通じて接続されており、該ローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）上の管理コンピュータ１５０等とのデータ通信が可能とされている。
【０１３１】
次に、本実施例のシステムコントローラ１００について、図１４に基づき説明する。まず、本実施例に用いたシステムコントローラ１００は、図１４に示すように、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス１０１に、該システムコントローラ１００が実施する各種処理を行うＣＰＵ１０２、ワークメモリ等として使用されるＲＡＭ１０３、時刻情報やカレンダ情報を出力するＲＴＣ１０４、ハードディスク等からなる記憶装置１０５、キーボードやマウス等の入力装置１０６、各種の画面を表示出力する表示装置１０７、各種情報をプリント出力するプリンタ１０８、ローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）に接続されたカードユニット３（制御ユニット３２８）や振分け装置５やカード発行・入金機等の各装置とのデータ通信を行う通信部１０９、カード会社に設置された管理サーバ１２とのデータ通信を行うデジタルサービスユニット（ＤＳＵ）１１０が接続された通常のコンピュータである。
【０１３２】
記憶装置１０５には、システムコントローラ１００において実施される各種処理を行うための処理内容が記述された処理プログラムに加えて、会員カードに存在（残存）するプリペイド残額を管理するための会員カードテーブル（図１５（ａ）参照）と、ビジターカードに存在（残存）するプリペイド残額を管理するためのビジターカードテーブル（図１５（ｂ）参照）とが記憶されている。
【０１３３】
会員カードテーブルには、図１５（ａ）に示すように、各会員カードを個々に識別可能な会員カードＩＤに対応付けて、当該会員カードの発行を受けた会員遊技者の会員ＩＤと、プリペイド残額と、当該会員カードが使用不可であるか否かを示す使用不可フラグとが記憶されており、会員カードに記憶されている会員カードＩＤ若しくは会員ＩＤから、プ

リペイド残額や当該会員カードの使用可否を特定できるようになっている。
【０１３４】
また、ビジターカードテーブルには、図１５（ｂ）に示すように、各ビジターカードを個々に識別可能なカードＩＤに対応付けて、当該ビジターカードの状況（利用中であるか保管中であるか）と、当該プリペイドカードが発行された最新の日時である最新発行日時と、プリペイド残額と、当該カードが使用不可であるか否かを示す使用不可フラグとが記憶されており、ビジターカードに記憶されているカードＩＤから、プリペイド残額や当該ビジターカードの使用可否、並びに最新発行日時を特定できるようになっている。
【０１３５】
本実施例のシステムコントローラ１００（ＣＰＵ１０２）は、カードユニット３における会員カードまたはビジターカードの受付けに応じて各カードユニット３から送信される、該カードユニット３の装置ＩＤ並びに該受付けた会員カードまたはビジターカードから読み出した（会員）カードＩＤ並びにプリペイド残額を含むカード受付け通知の受信に応じて、該会員カードまたはビジターカードの使用の可否を判定してカードユニット３に返信するカード受付け処理を実施する。
【０１３６】
また、本実施例のシステムコントローラ１００（ＣＰＵ１０２）は、カードユニット３における貸出処理の実施に伴い送信される後述の貸出完了通知の受信に応じて、該受信した貸出完了通知に含まれる（会員）カードＩＤに対応して会員カードテーブル若しくはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額から、該貸出完了通知に含まれる税込使用額を減算更新する減算更新処理を行う。
【０１３７】
また、本実施例のシステムコントローラ１００（ＣＰＵ１０２）は、カードユニット３或いはカード発行・入金機における発行・入金処理の実施に伴い送信される後述のカード入金通知の受信に応じて、該受信したカード入金通知に含まれる（会員）カードＩＤに対応して会員カードテーブル若しくはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に、該カード入金通知に含まれる入金金額を加算更新する入金更新処理を行う。
【０１３８】
また、本実施例のシステムコントローラ１００（ＣＰＵ１０２）は、カードユニット３や振分け装置５におけるビジターカードの発行に伴って該カードユニット３や振分け装置５から送信される振分け発行通知の受信に応じて、該受信した振分け発行通知に含まれるカードＩＤに対応してビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「０」を記憶するとともに、状況と最新発行日時のデータを更新する更新処理を行う。
【０１３９】
次に、本実施例の管理コンピュータ１５０について、図１６に基づき説明する。まず、本実施例に用いた管理コンピュータ１５０は、図１６に示すように、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス１５１に、該管理コンピュータ１５０が実施する各種処理を行う中央演算処理装置（ＣＰＵ）１５２、ワークメモリ等として使用されるＲＡＭ１５３、時刻情報やカレンダ情報を出力するリアルタイムクロック（ＲＴＣ）１５４、ハードディスク等からなる記憶装置１５５、キーボードやマウス等の入力装置１５６、各種の画面を表示出力する表示装置１５７、各種情報をプリント出力するプリンタ１５８、ローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）に接続されたカードユニット３や振分け装置５や景品交換用ＰＯＳ端末１７０とのデータ通信を行う通信部１５９が接続された通常のコンピュータである。
【０１４０】
記憶装置１５５には、管理コンピュータ１５０において実施される各種処理を行うための処理内容が記述された処理プログラムに加えて、会員カードを所持する会員遊技者が所有する貯蓄玉数である営業当日において当該会員遊技者により獲得された持玉数並びに営業当日前に当該会員遊技者により獲得された貯玉数を管理するための会員貯蓄管理テーブル（図１７（ａ）参照）と、ビジターカードに記録されている該ビジターカードを所持す

る遊技者により営業当日において獲得された持玉数を管理するためのビジター貯蓄管理テーブル（図１７（ｂ）参照）と、会員貯蓄管理テーブル並びにビジター貯蓄管理テーブルにて管理されている持玉数について、各持玉数に含まれる玉数の種別（内訳）を管理するための持玉種別テーブル（図１８参照）と、遊技場内の各カードユニット３におけるその時点の持玉数と各カードユニット３に受付け中のカードとを管理するためのユニット管理テーブル（図１９（ａ）参照）と、各カードユニット３の貯留部３３８にその時点において貯留されている現存貯留数と貯留部３３８からの貯留履歴並びに払出し履歴とを管理するための貯留・払出履歴テーブル（図１９（ｂ）参照）と、遊技場内において振分けがなされた振分け履歴が格納されて管理される振分け履歴テーブル（図２０参照）と、ビジターカードまたは会員カードを所持する各遊技者の計数並びに払出しの履歴を管理するための計数・払出履歴テーブルと、遊技場内において統合処理がなされた統合履歴が格納されて管理される統合履歴テーブル（図２２参照）と、会員カードを所有する会員遊技者に関する会員情報が格納される会員情報テーブル（図２３（ａ）参照）と、会員遊技者を特定可能な会員ＩＤ毎に、当該会員遊技者の遊技情報を含む遊技履歴が格納される会員別遊技履歴テーブル（図２３（ｂ）参照）とが記憶されている。

【０１４１】

会員貯蓄管理テーブルには、図１７（ａ）に示すように、各会員カードＩＤに対応付けて、当該会員カードの発行を受けた会員遊技者を個々に識別可能な会員識別情報である会員ＩＤと、当該会員遊技者がその営業当日において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である４円持玉数並びに１円持玉数と、当該会員遊技者がその営業当日前において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である４円貯玉数と１円貯玉数とが記憶されており、会員カードに記憶されている会員カードＩＤ若しくは会員ＩＤから、当該会員遊技者が所有する貯蓄玉数である各レートの持玉数や貯玉数を特定できるようになっている。

【０１４２】

尚、会員貯蓄管理テーブルに管理されている持玉数は、その営業当日のみ持玉数として管理されており、営業終了後の締め処理において会員貯蓄管理テーブルに存在する持玉数は、貯玉数に加算更新された後、全てリセットされる。

【０１４３】

また、ビジター貯蓄管理テーブルには、図１７（ｂ）に示すように、各ビジターカードを個々に識別可能なカードＩＤに対応付けて、当該ビジターカードの最新発行日時と、該ビジターカードを所持する遊技者がその営業当日において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である１円持玉数と４円持玉数とが記憶されており、ビジターカードに記憶されているカードＩＤから、当該遊技者が所有する各レートの持玉数を特定できるようになっている。尚、本実施例では、持玉数のレート種別を、該持玉数が獲得された遊技機におけるパチンコ玉の貸出レートの種別である１円／玉と４円／玉に基づいて１円持玉数と４円持玉数としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら持玉数のレート種別は、パチンコ玉の貸出レートが１円／玉と４円／玉以外であれば、これらに応じて１円持玉数と４円持玉数以外のレートに応じたレート種別とすれば良い。

【０１４４】

尚、ビジター貯蓄管理テーブルに管理されている持玉数は、その営業当日のみ有効とされており、営業終了後の締め処理においてビジター貯蓄管理テーブルに存在する持玉数が全てリセットされることにより、無効化される。また、ビジターカードに当日前の持玉数が記録されている場合には、該持玉数は無効として消去される。

【０１４５】

持玉種別テーブルには、図１８に示すように、その営業当日に使用されることで、持玉数を生じた会員カード並びにビジターカードのカードＩＤに対応付けて、持玉数が複数のパチンコ機２で獲得された玉数から成る場合には、獲得された各持玉数と、該持玉数が計数されたカードユニット３に対応するパチンコ機２の台番号並びにレートが記憶されるこ

とにより、持玉数に含まれる玉数の種別（内訳）が管理されている。尚、本実施例では、上記のように、持玉数が計数されたカードユニット３に対応するパチンコ機２の台番号を用いているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら台番号に代えて、持玉数が計数されたカードユニット３の装置ＩＤを用いるようにしても良い。

【０１４６】

尚、これら持玉種別テーブルにて管理されている各持玉数は、カードユニット３に接続されている計数・端数払出ユニット３４０にてパチンコ玉が計数されることにより、該当する台番号に対応する持玉数が更新される一方、持玉数を使用しての払出しが実施されたときには、所定の規則、具体的には、該払出されたパチンコ機２の台番号に対応する持玉数があるときは、その持玉数、払出されたパチンコ機２の台番号（或いは、上述したように、台番号に代えて装置ＩＤを用いる場合であれば、払出されたカードユニット３の装置ＩＤ）に対応する持玉数が無い場合には、振分け（台番号として「０００」が格納されている）の持玉数、振分けの持玉数が無い場合には、最も下位に記憶されている持玉数から、払出された玉数が減算更新される。つまり、持玉種別テーブルには、各遊技者の持玉数の内訳が、台番号毎にまとめて管理されており、下位の台番号の種別データの持玉数が使用により減算されて「０」となった場合には、該持玉種別テーブルから削除される。

【０１４７】

また、後述するように統合処理が実施された場合には、統合されるビジターカードのカードＩＤに対応する内訳データは、持玉種別テーブルから削除されるものの、統合先の会員カードのカードＩＤに対応する内訳データに移行されて管理されることで、統合しても、統合された持玉数の内訳を特定できるようになっている。

【０１４８】

ユニット管理テーブルには、図１９（ａ）に示すように、遊技場内に設置された各カードユニット３に固有に付与された装置ＩＤに対応付けて、カードユニット３のローカルＩＰアドレスが格納されるローカルＩＰと、当該カードユニット３が設置されている遊技島の島番号が格納される設置島と、当該カードユニット３がカードの受付中であるか待機中であるかが格納される状況と、当該カードユニット３が対応するパチンコ機２の台番号が格納される対応台番号と、該パチンコ機２において使用されるパチンコ玉を貸し出す貸出レート（４円／玉または１円／玉のいずれか）、受付け中の会員カードまたはビジターカードのカードＩＤが格納される受付ＩＤと、その時点における各カードユニット３の持玉数とが記憶されており、これら持玉数のデータは、管理コンピュータ１５０からの送信要求の受信に応じて定期的に各カードユニット３から送信されるとともに、払出しにより減少したときには該減少時に、パチンコ玉の計数により増加したときには、後述するように、持玉数の変更後の所定時間後（例えば５秒後）に、各カードユニット３から送信されることで、最新の持玉数が管理されるようになっている。

【０１４９】

貯留・払出履歴テーブルには、図１９（ｂ）に示すように、遊技場内に設置された各カードユニット３に固有に付与された装置ＩＤに対応付けて、当該カードユニット３に連結されている計数・端数払出ユニット３４０内部の貯留部３３８に、現時点において貯留されているパチンコ玉数が格納される現在貯留数とともに、日付、貯留或いは払出し（排出を含む）であるかの種別、貯留または払出しされた玉数、当該種別が貯留である場合において該貯留された玉数の内で貯留部３３８に存在（残存）するパチンコ玉数である存在数とから成る貯留・払出履歴が記憶されていて、その時点において各カードユニット３の貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉数を特定できるとともに、何時にパチンコ玉が貯留または払出しされたかを特定できるようになっている。

【０１５０】

尚、種別が「払出」の貯留・払出履歴が新規に登録された場合には、該新規に登録された「払出」の貯留・払出履歴に含まれる玉数を、最も古い種別が「貯留」の貯留・払出履歴の存在数から減算更新（存在数が少ない場合には、次に古い履歴から順に、順次減算更新）していき、存在数が０となった履歴と、当該存在数が０となった履歴前の全ての履歴

を削除するようになっており、このようにすることにより、最も古い種別が「貯留」の貯留・払出履歴によって、最も長く貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉の貯留期間を特定できるとともに、貯留部３３８に存在するパチンコ玉のそれぞれの貯留期間についても特定できるようになっている。

【０１５１】

振分け履歴テーブルには、図２０に示すように、振分けが実施された日付と、振分けが実施されたカードユニット３または振分け装置５の装置ＩＤと、振分け元のカードのカードＩＤと、振分け先のカードのカードＩＤと、振分け先がビジターカードである場合に該ビジターカードが発行されたものであるかを示す発行と、振分けされた持玉数である振分け持玉数と、振分けされた貯玉数である振分け貯玉数と、当該振分けにおいて徴収された手数料玉数（貯玉数）と、振分け先のカードが当該振分け後にカードユニット３に受付けられているか否かを示す利用受付けとから成る振分け履歴が格納されており、本実施例では、後述する振分け設定画面の集計対象期間として選択可能な最大期間である１ヶ月の振分け履歴が記憶されるようになっている。

【０１５２】

尚、「発行」に格納されるデータとしては、ビジターカードの発行があった場合において「１」が格納され、ビジターカードの発行がない場合には「０」が格納される。また、「利用受付け」に格納されるデータとしては、受付け済みである場合において「１」が格納され、受付け済みでない場合において「０」が格納される。

【０１５３】

このように、本実施例では、これら振分け履歴テーブルにより、所定期間、例えば一日において該遊技場において振分けされたパチンコ玉の総数を、当日の日付が格納されている全ての履歴の振分け持玉数と振分け貯玉数とを合計することで特定できるとともに、同様に、振分け元カードに同一のカードＩＤが記憶され、当日の日付が記憶されている全ての履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数を合計することで、該振分け元カードからその当日において振分けられたパチンコ玉の総数を特定でき、更には、振分け先カードに同一のカードＩＤが記憶され、当日の日付が記憶されている全ての履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数を合計することで、該振分け先カードに対してその当日において振分けされたパチンコ玉の総数も特定できるようになっている。

【０１５４】

計数・払出履歴テーブルには、図２０に示すように、その営業当日にパチンコ玉の計数や振分けや統合により持玉数を生じた会員カード並びにビジターカードのカードＩＤに対応付けて、計数または払出しが実施された台番号、該台番号のパチンコ機２におけるレート種別、計数または払出しが実施された時刻、計数または払出し或いは振分けの処理種別、計数または払出し或いは振分けされた玉数である処理玉数、並びに該処理後の新たな持玉数から成る計数・払出履歴が格納されており、各カードの持玉数の変化の詳細な履歴が管理され、これらの履歴を、後述するように、カードユニット３において遊技者が確認できるようになっている。

【０１５５】

尚、本実施例では、振分けによっても持玉数が増加（変化）するので、これらの変化も遊技者がカードユニット３において確認できることが好ましいことから、これら振分けの履歴についても、カードユニット３において遊技者が計数・払出履歴を確認する際に、該カードユニット３に迅速に送信して表示できるようにするために、振分けの履歴を、振分け履歴テーブルとともに、これら計数・払出履歴テーブルにも記憶するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分けの履歴を振分け履歴テーブルのみに記憶し、カードユニット３に計数・払出履歴を送信する際に、振分け履歴テーブルを参照して、同一の会員カードＩＤを含む振分けの履歴を特定し、該特定した振分けの履歴を含む計数・払出履歴を送信するようにしても良い。

【０１５６】

また、本実施例の計数・払出履歴テーブルも、前述した持玉種別テーブルと同様に、後

述する統合処理が実施された場合には、統合されるビジターカードのカードＩＤに対応する履歴データは削除されるものの、統合先の会員カードのカードＩＤに対応する履歴データに移行されて管理されることで、統合しても、統合された持玉数の計数・払出履歴を特定できるようになっている。

【０１５７】

統合履歴テーブルには、図２２に示すように、統合が実施された日時と、統合が実施されたカードユニット３の装置ＩＤと、統合元のビジターカードのカードＩＤと、統合先の会員カードのカードＩＤと、統合された持玉数である統合持玉数（４円）および統合持玉数（１円）から成る統合履歴が格納されており、本実施例では、１ヶ月の統合履歴が記憶されるようになっている。

【０１５８】

会員情報テーブルには、図２３（ａ）に示すように、会員カードを所持する会員遊技者の会員ＩＤに対応付けて、本人確認のための暗証番号と、会員カードの受付けに応じて一日に１回所定の来店ポイントが加算更新される来店ポイントと、来店状況等に基づくランクと、会員の氏名（名字並びに名前）、性別、年齢、誕生日、職業、住所、電子メールアドレスからなる会員属性情報（個人情報）とが登録されている。

【０１５９】

また、会員別遊技履歴テーブルには、図２３（ｂ）に示すように、会員ＩＤ毎に、当該会員遊技者の遊技履歴、具体的には、来店日、遊技を行ったパチンコ機２の台番号、機種名、レート、遊技開始時間（時刻）、遊技終了時間（時刻）、遊技開始から終了までの間の遊技時間、始動回数、大当回数、確率変動回数（確変回数）、獲得玉数、支出金額、再プレイ玉数、使用持玉数からなる遊技履歴が格納されている。会員別遊技履歴テーブルの来店日には、ＲＴＣ１５４から出力されるカレンダ情報に基づく当該遊技履歴の記憶時点の年月日が格納されるとともに、遊技開始時間、遊技終了時間、遊技時間、始動回数、大当回数、確変回数、獲得玉数、支出金額の遊技履歴は、計数・端数払出ユニット３４０を介して会員カードの返却時にカードユニット３から送信される会員遊技履歴データに基づいて記憶される。

【０１６０】

ここで、本実施例の管理コンピュータ１５０にて実施可能な振分け設定について、図２４（ａ）に基づいて説明すると、本実施例の管理コンピュータ１５０では、遊技場内のカードユニット３や振分け装置５にて実施される振分けについての制限に関する各種の設定が、図２４（ａ）に示す振分け設定画面において可能とされている。

【０１６１】

これら制限の内容としては、具体的には、図２４（ａ）に示すように、遊技場全体における振分け総数の制限や、１のビジターカードまたは会員カードから振分けされる総数の制限や、１のビジターカードまたは会員カードに振分けされる総数の制限や、１の振分け後において該カードがカードユニット３に受付けされる以前における再度の振分けの制限と、貯玉数からの直接振分けの制限とが有り、これら各制限の内容を、遊技場の所望する内容に設定できるようになっている。

【０１６２】

本実施例の振分け設定画面には、図２４（ａ）に示すように、画面の上部位置に、「集計対象期間」の設定項目が設けられており、該振分け設定画面において制限する内容と比較するデータを集計する期間を指定できるようになっている。

【０１６３】

例えば、振分けの総数等の制限を、時間帯、例えば営業開始から１５時までにおいて実施したい場合であれば、「始業から１５時」までの内容を選択すれば良く、一日単位にて制限したい場合には、該「集計対象期間」の設定項目において「一日」を選択すれば良く、また、一週間単位にて制限したい場合でれば、「集計対象期間」の設定項目において「一週間」を選択すれば良い。

【０１６４】

尚、本実施例では、これら集計期間を制限する各項目において全て共通としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの集計期間を、振分け総数、振分け元上限制限、振分け先上限制限のそれぞれについて、個別に設定できるようにしても良い。

【０１６５】

振分け総数制限の項目には、図２４（ａ）に示すように、該振分け総数制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が設けられており、該振分け総数制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。

【０１６６】

また、振分け元上限制限の項目には、図２４（ａ）に示すように、該振分け元上限制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が、会員カードとビジターカードのそれぞれに設けられており、該振分け元上限制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、各カードに対応する入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。

【０１６７】

また、振分け先上限制限の項目にも、図２４（ａ）に示すように、該振分け先上限制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が、会員カードとビジターカードのそれぞれに設けられており、該振分け先上限制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、各カードに対応する入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。

【０１６８】

また、連続振分け制限の項目には、該連続振分け制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられており、１回の振分けを実施した際の、該振分け先のカードをカードユニット３に挿入して受付けを実施する前に、他の振分けの実施を制限する場合、つまり、カードユニット３に挿入して受付けを実施する前の複数の振分けを制限する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良く、カードユニット３に挿入して受付けを実施する前の複数の振分けを許容する場合には、「しない」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良い。

【０１６９】

このように、連続振分け制限を実施した場合には、振分けの都度毎に、振分け先のカードをカードユニットに挿入して受付けを実施しないと、再度の振分けが実施できないことで、振分けの頻度を実質的に低下させることができるようになる一方、連続振分け制限を実施しない場合、つまり、連続振分けを許容する場合には、振分け先の遊技者は、複数の振分け元の遊技者から連続して振分けを受けることができるようになり、遊技者の利便性を向上できるようになる。

【０１７０】

また、貯玉直接振分けの項目には、会員遊技者が所有する貯玉数からの直接振分けを許諾するか否か、つまり、貯玉数からの直接振分け制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられており、貯玉数からの直接振分けを許諾する場合には、「許諾」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良く、貯玉数からの直接振分けを許諾しない場合には、「非許諾」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良い。

【０１７１】

以上のように、各設定項目において所望する設定内容を指定・入力した後に、該振分け設定画面の下方に設けられている「設定」の選択入力部を選択入力することで、該振分け設定画面の設定内容が更新記憶される。尚、該振分け設定画面の下方に設けられている「リセット」の選択入力部を選択入力した場合には、画面の各項目の内容が所定のデフォル

ト状態に初期化される。

【０１７２】

そして、このように「設定」の選択入力部が選択入力されたことに応じて管理コンピュータ１５０は、該振分け設定画面における貯玉直接振分けの項目における設定内容を特定可能とされた振分け設定情報を各カードユニット３並びに振分け装置５に送信して、各カードユニット３のＥＥＰＲＯＭ３２８ｃ或いは振分け装置５の制御部５１０（ＲＯＭ）に記憶されている振分け設定情報を、該送信した振分け設定情報に更新させる。

【０１７３】

また、本実施例の管理コンピュータ１５０は、各カードユニット３の貯留部３３８に、予め設定された上限期間を過ぎて貯留されているパチンコ玉を排出させる機能を有しており、これらパチンコ玉を排出させるための上限期間等の設定を、図２４（ｂ）に示す貯留玉排出設定画面において実施可能とされている。

【０１７４】

本実施例の貯留玉排出設定画面には、図２４（ｂ）に示すように、上限期間を指定するための貯留上限期間の設定項目と、上限期間を超過しているか否かの判定を実施する時期を指定するための判定時期の項目と、上限期間を超過しているパチンコ玉のみを排出する形態或いは貯留部３３８に貯留されている全てのパチンコ玉を排出する形態のいずれの排出形態とするかを指定するための排出形態の項目と、排出を実施した場合において、排出が実施されることで貯留部３３８へのパチンコ玉の補充が必要であることを、該排出を実施したカードユニット３において報知する排出報知を実施するか否かを指定するための排出報知の項目と、これら排出報知を実施する実施時期を指定するための報知時期の項目とが設けられている。

【０１７５】

これらの各項目について、所望する内容を選択した後、該貯留玉排出設定画面の下方に設けられている「設定」の選択入力部を選択入力することで、該貯留玉排出設定画面の設定内容が更新記憶される。尚、該貯留玉排出設定画面の下方に設けられている「リセット」の選択入力部を選択入力した場合には、画面の各項目の内容が所定のデフォルト状態に初期化される。

【０１７６】

ここで、これら貯留玉排出設定画面に、例えば、図２４（ｂ）に示すように設定された場合を例に、各カードユニット３の貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉の排出が実施される流れについて、簡単に説明すると、管理コンピュータ１５０は、該貯留玉排出設定画面の判定時期となった時点、つまり、営業終了処理（締め処理）の実施時において、該貯留玉排出設定画面に設定されている貯留上限期間である３日を超えて、パチンコ玉が貯留されているカードユニット３を、貯留・払出履歴テーブル（図１９（ｂ）参照）に記憶されているデータに基づいて特定する。

【０１７７】

具体的には、現存貯留数が存在するとともに、種別が「貯留」である最も古い貯留・払出履歴の日付が、貯留上限期間の項目に設定されている上限期間である「３日」よりも前のものであるか否か、つまり、３日前の日付よりも古い日付を含むとともに種別が「貯留」である貯留・払出履歴が記憶されているカードユニット３の装置ＩＤを、排出指示の送信対象として全て抽出する。

【０１７８】

そして、排出形態として「全部」が選択されている場合には、抽出した全ての装置ＩＤのカードユニット３に対して、排出玉数として全数を含む排出指示を送信する。

【０１７９】

この排出指示の受信に応じてカードユニット３においては、前述したように、制御ユニット３２８から計数・端数払出ユニット３４０の制御基板３４１（制御部３５０）に対して排出玉数である全数を含む排出要求が送信されることにより、貯留部３３８並びに流入路３３９に貯留されている全てのパチンコ玉が、連結樋３４４に排出されて、貯留部３３

８並びに流入路３３９が空とされる。尚、この排出によって現存貯留数が「０」となることに応じて、これら排出を実施した各カードユニット３の装置ＩＤに対応して記憶されている全ての貯留・払出履歴が消去される。

【０１８０】

また、排出形態として「期間超過玉のみ」が選択されている場合には、抽出した各装置ＩＤのカードユニット３のそれぞれについて、期間超過をしているパチンコ玉数（期間超過玉数）を特定し、該特定した期間超過玉数を排出玉数として含む排出指示を送信する。

【０１８１】

これら期間超過玉数は、抽出した各装置ＩＤに対応して記憶されている貯玉の種別を含む貯留・払出履歴の内、上限期間である「３日」よりも前の日付を含む履歴を全て特定し、該特定した貯留・払出履歴における存在数を合計することで特定される。

【０１８２】

そして、該特定された期間超過玉数を排出玉数として含む排出指示が当該カードユニット３に対して送信されることに応じて該カードユニット３においては、前述したように、制御ユニット３２８から計数・端数払出ユニット３４０の制御基板３４１（制御部３５０）に対して排出玉数である期間超過玉数を含む排出要求が送信されることにより、流入路３３９並びに貯留部３３８のガイド溝上に、古い順に整列した状態にて貯留されているパチンコ玉のうち、先頭部分となる流出口３３８’に近い領域に貯留されている期間超過玉数のみが計数されて、連結樋３４４に排出される。尚、この排出により、当該日付と該排出された期間超過玉数と種別である「払出」とを含む貯留・払出履歴が新規に登録されることにより、前述したように、上限期間よりも前の日付を含む種別が貯留の貯留・払出履歴における存在数が「０」となることで、該存在数が「０」となった貯留・払出履歴とともに、これら「０」となった貯留・払出履歴よりも古い種別が払出しの貯留・払出履歴が全て消去される。

【０１８３】

そして、排出指示の送信対象として抽出された装置ＩＤは、排出報知対象のカードユニット３として登録され、貯留玉排出設定画面における報知時期となった時点、つまり、営業開示前（開店処理）の実施時において、排出報知対象として登録されている装置ＩＤのカードユニット３に対して排出報知指示を送信することによって、該排出報知指示を受信したカードユニット３の表示部３１２に、貯留されているパチンコ玉の排出が実施されて貯留部３３８へのパチンコ玉の補充が必要である旨の排出報知メッセージが表示されることにより、貯留されているパチンコ玉の排出が実施されたことが報知される。

【０１８４】

これら排出報知メッセージの表示に応じて遊技場の係員は、携行している図示しないリモコンを操作して加算留保モード操作を実施することにより、カードユニット３を加算留保モードに移行させ、補充するパチンコ玉を投入部３４５に投入した後、計数操作部３５５を操作することで、該投入したパチンコ玉が持玉数に加算されることなく、貯留部３３８に貯留されてパチンコ玉の補充が実施される。これら補充の実施後において係員は、リモコンを再度操作して加算留保モードを解除して通常モードに戻しておく。

【０１８５】

尚、この排出報知メッセージとともに、補充に必要とされるパチンコ玉数、つまり、新たに貯留可能な玉数を、その時点の貯留玉数と最大貯留玉数との差から特定して表示するようにしても良い。

【０１８６】

また、本実施例の管理コンピュータ１５０においては、各カードユニット３における持玉表示に関する各種の設定を、図２５に示す持玉表示設定画面において実施できるようになっている。

【０１８７】

本実施例の持玉表示設定画面には、図２５に示すように、設定を行うカードユニット３を指定するための「設定対象台」の項目と、表示部３１２に表示される表示単位の種別と

、その表示単位が該当する単位玉数を指定するための「表示単位」の項目と、端数表示や他台や振分けの持玉数表示の実施の有無等の各種の表示仕様を指定するための「表示仕様」の項目と、画面下方に「キャンセル」、「設定」の選択入力部とが設けられている。

【０１８８】

「設定対象台」の項目内には、図２５に示すように、「島単位」のメニューと、「機種単位」のメニューと、「台単位」のメニューと、「レート単位」のメニューとが、排他選択可能に設けられており、設定を変更するカードユニット３を各種の単位毎に指定することができるようになっている。つまり、同一の島に設置されている全てのカードユニット３の設定を変更したい場合には、「島単位」のメニューをチェックするとともに、島番号を指定すれば良く、同一の機種のパチンコ機に対応する全てのカードユニット３の設定を変更したい場合には、「機種単位」のメニューをチェックするとともに、機種を指定すれば良く、同一のレートのパチンコ機に対応する全てのカードユニット３の設定を変更したい場合には、「レート単位」のメニューをチェックするとともに、レートを指定すれば良く、或る範囲の台番号のパチンコ機（１台でも良い）に対応するカードユニット３の設定を全て変更したい場合には、「台単位」のメニューをチェックするとともに、台番号の上限と下限とを指定すれば良い。

【０１８９】

「表示単位」の項目内には、図２５に示すように、単位種別１のメニューと、単位種別２のメニューとが設けられており、これら各単位種別において、表示部３１２に表示する単位種別としてどのような単位を使用するかとともに、その単位種別表示に換算するための単位玉数を、各単位種別毎に指定できるようになっている。

【０１９０】

これら単位種別として、本実施例では、図２５においてポップアップメニューとして示すように、表示される大きさが比較的小さい「ドル箱１」と、表示される大きさが比較的大きい「ドル箱２」と、表示される大きさが比較的小さい「特殊景品１」と、表示される大きさが比較的大きい「特殊景品２」等の単位が選択可能とされており、これらポップアップメニュー内の単位種別の内、カードユニット３において使用したい単位種別を選択して指定するとともに、該単位種別の単位玉数を指定することにより、指定した単位玉数にて持玉数を除した数の、例えば「ドル箱１」の表示が、表示部３１２に表示されるようになる。

【０１９１】

尚、指定した単位玉数の大きさによっては、多くの持玉数が獲得された場合に、非常に多くの単位種別である「ドル箱１」等の表示がなされ、獲得した持玉数の量が把握しづらくなる畏れがあるので、複数の単位玉数と、各単位玉数に対応する単位種別（「ドル箱１」と「ドル箱２」…）を選択できるようになっている。

【０１９２】

「表示仕様」の項目内には、図２５に示すように、「端数表示」、「他台表示」、「振分け個別表示」、「レート個別表示」、「自台まとめ表示」、「他台まとめ表示」の各メニューおよび各メニューに対応して「する」、「しない」チェックボックスが設けられている。

【０１９３】

この「端数表示」のメニューは、カードユニット３において、単位種別が該当する単位玉数に満たない端数の持玉数が存在する場合に、端数の持玉数に対応する表示を行うか否かを指定するものであり、端数の持玉数に対応する表示を行う場合には「する」をチェックし、端数の持玉数に対応する表示を行わない場合には「しない」をチェックすれば良い。

【０１９４】

また、「他台表示」のメニューは、カードユニット３において、自台の持玉数表示以外に、自台以外の他のパチンコ機２において獲得した持玉数を、単位種別により表示するか否かを指定するものであり、自台以外の他のパチンコ機２において獲得した持玉数を単位

種別により表示する場合には「する」をチェックし、しない場合には「しない」をチェックすれば良い。尚、本実施例では、後述する振分け処理によって他の遊技者から振分けられた振分け玉数も、自台以外の他のパチンコ機２において獲得した持玉数に含まれるようにされており、上記において「する」をチェックした場合には、振分け玉数が存在する場合には、自台以外の他のパチンコ機２において獲得した持玉数として振分け玉数が、単位種別により表示される。

【０１９５】

また、「振分け個別表示」のメニューは、カードユニット３において、振分けされた持玉数を、他の持玉数とは個別に単位種別により表示するか否かを指定するものであり、振分けされた持玉数を単位種別により表示する場合には「する」をチェックし、しない場合には「しない」をチェックすれば良い。

【０１９６】

また、「レート個別表示」のメニューは、カードユニット３において、持玉数を、持玉数のレート種別毎に個別に表示するか否かを指定するものであり、レート種別毎に個別に表示する場合には「する」をチェックし、しない場合には「しない」をチェックすれば良い。

【０１９７】

また、「自台まとめ表示」のメニューは、カードユニット３において、持玉数の内訳として、該カードユニット３に対応するパチンコ機２における遊技にて獲得された持玉数、つまり、自台において計数された持玉数が複数存在する場合において、これら複数の持玉数を全て合算して、自台における持玉数としてまとめて表示するか否かを指定するものであり、自台における持玉数としてまとめて表示する場合には「する」をチェックし、しない場合には「しない」をチェックすれば良い。

【０１９８】

また、「他台まとめ表示」のメニューは、カードユニット３において、持玉数の内訳として、該カードユニット３に対応するパチンコ機２ではない、他のパチンコ機２における遊技にて獲得された持玉数、つまり、他台において計数された持玉数が複数存在する場合において、これら複数の持玉数を全て合算して、他台における持玉数としてまとめて表示するか否かを指定するものであり、他台における持玉数としてまとめて表示する場合には「する」をチェックし、しない場合には「しない」をチェックすれば良い。尚、これら「他台まとめ表示」のメニューは、「他台表示」のメニューにおいて「する」をチェックしていない場合には、選択不可となるように、「他台表示」のメニューと連動されている。

【０１９９】

以上のように、各設定項目において所望する設定内容を指定・入力した後に、該持玉表示設定画面の下方に設けられている「設定」の選択入力部を選択入力することで、該持玉表示設定画面の設定内容が更新記憶される。尚、該持玉表示設定画面の下方に設けられている「リセット」の選択入力部を選択入力した場合には、画面の各項目の内容が所定のデフォルト状態に初期化される。

【０２００】

そして、このように「設定」の選択入力部が選択入力されたことに応じて管理コンピュータ１５０は、該持玉表示設定画面における設定内容を特定可能とされた持玉表示設定情報を、設定対象に指定された各カードユニット３に送信して、各カードユニット３のＥＥＰＲＯＭ３２８ｃに記憶されている持玉表示設定を、該送信した持玉表示設定に更新させることで、これら持玉表示設定画面における設定内容に基づく持玉表示が、指定された各カードユニット３において実施される。

【０２０１】

また、本実施例の管理コンピュータ１５０は、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け処理がなされたカードユニット３の装置ＩＤを含む振分け履歴や、会員情報テーブルに記憶されている来店ポイント等の会員情報等をシステムコントローラ１００やホールコンピュータ１４０に送信する情報提供機能を有しており、遊技場の係員等が、遊技場内の

パチンコ機２の遊技情報の確認や監視カメラの映像の確認において利用するホールコンピュータ１４０において、これら振分け履歴の情報や会員情報を確認できるようになっている。

【０２０２】

これら情報提供機能について、図４０（ａ）に基づいて、振分け履歴の情報が提供される場合を例に、説明すると、まず、ホールコンピュータ１４０において振分け履歴を表示させるための所定の操作を実施すると、該ホールコンピュータ１４０は、既に、管理コンピュータ１５０から取得して記憶している振分け履歴のうち、最新の振分け履歴の日時情報を特定し、該特定した最新の振分け履歴の日時情報を含む振分け履歴要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０２０３】

この振分け履歴要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した振分け履歴要求に含まれる日時情報以降の日時情報を含む振分け履歴を未送信履歴として特定し、該特定した未送信履歴を全て振分け履歴テーブルから読み出して、振分け履歴情報としてホールコンピュータ１４０に返信する。

【０２０４】

該振分け履歴情報を受信に応じてホールコンピュータ１４０は、受信した振分け履歴を、既に記憶している振分け履歴に追加登録するとともに、該追加登録した振分け履歴を含む振分け履歴の一覧であって、各振分け履歴に含まれる当該振分け処理がなされた装置ＩＤの表示を含む一覧を表示する。

【０２０５】

このようにすることで、パチンコ機２の遊技情報の確認或いは監視カメラの映像の確認において異常の疑いのあるデータや画像を発見した場合等において、これらが異常であるか否かの判断をするために、振分け処理がなされた装置ＩＤの表示を含む振分け履歴の情報をホールコンピュータ１４０において迅速に閲覧できることで、これらの判断を、振分け処理がなされたカードユニット３を特定しながら、迅速かつ正確に実施することができるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分け履歴の提供機能を管理コンピュータ１５０が有しないものであっても良い。

【０２０６】

また、本実施例の管理コンピュータ１５０は、前記情報提供機能の１つとして、統合履歴テーブルに記憶されている統合処理がなされたカードユニット３の装置ＩＤを含む統合履歴についても、システムコントローラ１００やホールコンピュータ１４０に送信できるようになっている。

【０２０７】

これら統合履歴の提供機能について、図４０（ｂ）に基づいて説明すると、例えば、ホールコンピュータ１４０において統合履歴を表示させるための所定の操作を実施すると、該ホールコンピュータ１４０は、統合履歴要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０２０８】

この統合履歴要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、統合履歴テーブルに記憶されている本日の統合履歴を全て読み出して、統合履歴情報としてホールコンピュータ１４０に返信する。

【０２０９】

該統合履歴情報を受信に応じてホールコンピュータ１４０は、受信した統合履歴の一覧であって、各統合履歴に含まれる当該統合処理がなされたカードユニット３の装置ＩＤの表示を含む一覧を表示する。

【０２１０】

このようにすることで、パチンコ機２の遊技情報の確認或いは監視カメラの映像の確認において異常の疑いのあるデータや画像を発見した場合等において、これらが異常であるか否かの判断をするために、統合処理がなされた装置ＩＤの表示を含む統合履歴の情報を

ホールコンピュータ１４０において迅速に閲覧できることで、これらの判断を、統合処理がなされたカードユニット３を特定しながら、迅速かつ正確に実施することができるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら統合履歴の提供機能を管理コンピュータ１５０が有しないものであっても良い。尚、本実施例では、本日の統合履歴を全て提供するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、ホールコンピュータ１４０において異常の疑いのあるパチンコ機２の台番号を含む統合履歴要求の受信に応じて、管理コンピュータ１５０は、受信した統合履歴要求に含まれる台番号のパチンコ機２に対応するカードユニット３の装置ＩＤを含む統合履歴のみを、統合履歴テーブルから抽出して、ホールコンピュータ１４０に提供するようにしても良い。

【０２１１】

以下、本実施例のカードユニット３の動作について、図２６～図３９を用いて説明する。

【０２１２】

まず、カードユニット３の制御ユニット３２８は、カードユニット３への電源投入により起動されることで、Ｓｂ１の起動処理を実施して、各種テーブルの初期化並びに各部の接続状況の確認や、システムコントローラ１００やホールコンピュータ１４０、管理コンピュータ１５０への接続確認要求の送信、並びに該接続確認要求の送信に応じてシステムコントローラ１００、ホールコンピュータ１４０、管理コンピュータ１５０から返信される設定情報に基づく各設定データに初期値等の設定等を実施する。

【０２１３】

そして、該起動処理の完了後においてＳｂ２～Ｓｂ１３の処理を巡回実施することで、カード挿入口３０９への会員カード或いはビジターカードの挿入であるカード受付け、遊技者（会員またはビジター）による貸出ボタンの操作、紙幣挿入口３０２からの紙幣の投入による現金受付け、遊技者による返却ボタンの操作、再プレイボタン３１９の操作（表示制御基板３２９からの再プレイ操作情報の受信）、払出ボタン３１１の操作、係員が所持するリモコンにおける離席操作（表示制御基板３２９からの離席操作情報の受信）、遊技者による振分けメニューの選択操作（表示制御基板３２９からの振分け操作情報の受信）、統合ボタン３１０の操作、台データボタン３１８の操作、カード受付け中画面における計数・払出履歴操作（表示制御基板３２９からの計数・払出履歴操作情報の受信）、メニューボタン３１６の操作（表示制御基板３２９からのメインメニュー表示操作情報の受信）、を検知する待機状態となる。

【０２１４】

尚、制御ユニット３２８は、Ｓｂ１の起動処理の後、これら図２６に示す通常処理と平行して、計数・端数払出ユニット３４０から送信されてくる計数情報の受信を監視する図３２に示す計数情報処理や、前回のカードＩＤを消去するまでのカードの返却からの経過時間を計時する前回カードＩＤ消去タイマのタイマアップを監視する処理や、リモコンにおける加算留保モード操作に応じて該リモコンから送信される加算留保要求の受信を監視する処理や、対応するパチンコ機２やアウト玉計数器１６から出力される、大当り中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号、アウト玉計数信号の入力や変化を監視する図示しない割込監視処理を、これら通常処理を実施する処理タスクとは個別の処理タスクに基づいて実施することで、各対象状態の発生を監視し、持玉数への加算更新や、カードの返却から所定時間が経過したことに伴う該返却されたカードのカードＩＤ（前回のカードＩＤ）の消去や、加算留保モードへの移行やその解除、遊技情報の更新処理を、逐次実施できるようになっている。

【０２１５】

ここで、カードユニット３においてパチンコ玉が計数される流れについて説明すると、パチンコ玉の計数を実施する場合には、まず、遊技者は、パチンコ機２から払出しされて下皿２４に貯留されているパチンコ玉を、該下皿２４に設けられているレバーを操作して投入部３４５に投入する。

【０２１６】
そして、計数したい量のパチンコ玉を投入部３４５に投入した後に、計数操作部３５５を操作して計数流路３４７への流入口３４６に設けられている流入口シャッタ３５２を開放させる。これにより、投入部３４５に一時貯留されているパチンコ玉が、流入口３４６から計数流路３４７へ流入し、該計数流路３４７を流下して計数センサ３５６により検出され、各条について１球のパチンコ玉が検出される毎に、所定パルスの計数センサ信号が制御基板３４１（制御部３５０）に対して出力される。
【０２１７】
制御基板３４１（制御部３５０）は、計数センサ３５６から所定数（例えば１０）の計数センサ信号が、予め設定されている所定時間（例えば１秒）以内に入力された時には、１０個の玉数が計数されたことを示す定数計数コマンドを含む計数情報を、所定数の計数センサ信号がカウントされる毎に制御ユニット３２８に送信する一方、予め設定されている所定時間（例えば１秒）以内に所定数（例えば１０）の計数センサ信号が入力されない場合には、所定時間（例えば１秒）となった時点において入力されてカウントしている計数センサ信号の数に該当する端数計数コマンドを含む計数情報を送信する。尚、これら端数計数コマンドとしては、所定数未満の数に相当する種類のコマンドを予め決めておけば良く、所定数が１０であれば、１に対応する端数計数コマンドから９に対応する端数計数コマンドまでの９種類の端数計数コマンドとすれば良い。
【０２１８】
これら計数情報の受信は、制御ユニット３２８が実施する図３２に示す計数情報処理におけるＳＳ１のステップにて計数情報の受信ありと判定されてＳＳ２のステップに進み、計数・端数払出ユニット３４０に対して計数禁止指示を出力している計数禁止状態であるか否かを判定する。
【０２１９】
計数禁止中である場合には、ＳＳ５のステップに進んで、計数エラーが発生したことを表示部３１２に表示するとともに、多機能ランプ３０１の点灯状態にて報知するエラー報知処理に移行する一方、計数禁止中でない場合には、ＳＳ３のステップに進んで、係員が所持するリモコンによる加算留保モード中であるか否かを判定する。
【０２２０】
尚、これら計数禁止中に受信した計数情報に含まれるコマンドから特定される玉数を、端数の払い出しと同じく、貯留部３３８の貯留されているパチンコ玉を使用して払い出することで、返却貯留部３４２に返却するようにしても良い。
【０２２１】
加算留保モード中でない場合には、ＳＳ４のステップに進んでカードテーブルの持玉数と持玉数内訳テーブルの自台の持玉数に、受信した計数情報に含まれるコマンドの種別に応じた玉数を加算更新した後、これら更新された持玉数に基づいて表示部３１２に表示されているカード受付け中画面（図２９参照）における当台獲得玉数並びに当台が該当するレートの持玉数を、更新後の持玉数に更新するカード受付け中画面更新処理を実施する（ＳＳ５）。
【０２２２】
そして、更新後に当台獲得玉数（持玉数内訳テーブルの自台の持玉数）が該当する玉積み表示情報を玉積み表示ユニット４０１に出力して、玉積み表示ユニット４０１の点灯状態を更新する（ＳＳ６）。これら持玉表示設定情報としては、本実施例では、具体的には、持玉表示設定情報に含まれる単位玉数（Ａ）により、更新後の当台獲得玉数（Ｂ）を除した値である表示値（Ｃ＝Ｂ／Ａ）を含む玉積み表示情報を玉積み表示ユニット４０１に出力するようにしており、玉積み表示ユニット４０１のコントローラ４１１は、該玉積み表示情報に含まれる表示値の整数値を特定して、該整数値分の表示部４０２ａ～４０２ｅを下方側から順次連続点灯させるとともに、小数点１桁の値が存在する場合には、連続点灯されている表示部に次いで点灯されるべき表示部を点滅点灯させる。
【０２２３】

例えば、図２９（ａ）に示すように、台番号００１のパチンコ機２に対応するカードユニット３において当台獲得玉数が「７５３３」であって、単位玉数が「２０００」である場合であれば、７５３３を２０００で除した表示値である３．７７を含む玉積み表示情報が玉積み表示ユニット４０１に出力されることで、コントローラ４１１は、整数値である３に対応する３つの表示部４０２ａ、４０２ｂ、４０２ｃを、１巡目に該当する緑色の連続点灯させるとともに、小数点以下１桁目が「７」で存在するので、表示部４０２ｃに次ぐ表示部４０２ｄを点滅点灯状態とする。

【０２２４】

尚、玉積み表示情報に含まれる表示値が５以下の場合には、表示部４０２ａ～４０２ｅの点灯色を１巡目に該当する緑色に点灯させるとともに、表示値が６～１０の範囲である場合には２巡目に該当する青色に点灯させ、表示値が１１以上の範囲である場合には３巡目に該当する赤色に点灯させる。そして、表示値が１６以上である場合には、下方の表示部４０２ａから上方の表示部４０２ｅに順次、点灯部分が移動するスクロール表示を実施することで、１６単位である３２０００玉以上の玉が獲得されていることを報知する。

【０２２５】

そして、これらＳＳ６の処理の後、ＳＳ１のステップに戻る一方、加算留保モード中である場合には、ＳＳ４のステップを実施することなくＳＳ１のステップに戻る。

【０２２６】

つまり、投入部３４５から流入口３４６を通じて計数流路３４７に流入したパチンコ玉は、１個づつ計数センサ３５６により検出されて持玉数と当台獲得玉数（持玉数内訳テーブルの自台の持玉数）に加算されていく。

【０２２７】

尚、これら加算においては、計数終了を検知するための計数終了検知タイマ（本実施例では５秒が設定されている）が、計数情報の受信による玉数の加算の都度毎にリセットされ、該計数終了検知タイマがタイマアップした時点、つまり、最後の加算が実施されてから計数終了検知タイマに設定されている所定時間が経過した時点において、該カードユニット３の装置ＩＤと、受付け中のカードのカードＩＤと該加算後の持玉数とを含む持玉数更新要求が管理コンピュータ１５０に送信されることで、これら加算後の持玉数が管理コンピュータ１５０の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルの持玉数と、ユニット管理テーブルの持玉数と、持玉種別テーブルの持玉数とが、該持玉数更新要求に含まれる持玉数に遅滞なく更新されるとともに、該持玉数更新要求を受信した時刻、装置ＩＤに対応する台番号、レート、処理種別である計数と、処理玉数並びに持玉数から成る計数履歴が、計数・払出履歴テーブルに記憶される。

【０２２８】

また、計数終了検知タイマに設定されている所定時間が経過した時点において、カードリーダライタ３２７に、何らかの理由により、いずれのカードも受付けていない場合、例えば、他の台のパチンコ玉を譲り受けて遊技して、大当りとなった場合等には、カードリーダライタ３２７の内方側のカード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを、所定の読み取り位置に移動して、該ビジターカードのカードＩＤを読み出し、該読み出したカードＩＤと、加算後の持玉数（計数した計数玉数に等しい）とを含む持玉数更新要求が管理コンピュータ１５０に送信されることで、上述した処理が管理コンピュータ１５０にて実施されるとともに、ビジター貯蓄管理テーブルの最新発行日時がその時点の日時に更新される。

【０２２９】

尚、この際、後述する発行・入金処理と同様に、システムコントローラ１００に対して発行要求が送信されることで、該ビジターカードの「残存金額」が「０」とされる。

【０２３０】

この計数履歴の処理玉数は、本実施例では、持玉数更新要求に含まれる持玉数から、該計数履歴前の直前の履歴の持玉数との差から特定するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら処理玉数をカードユニット３側にて集計して、持玉数更

新要求に含めて送信するようにしても良い。

【０２３１】

また、持玉種別テーブルにおいて、持玉数更新要求に含まれる装置ＩＤに対応する台番号に対応するデータが、持玉数更新要求に含まれる（会員）カードＩＤに対応する持玉種別のデータとして存在しない場合には、該台番号の持玉種別のデータを新たに追加し、該追加した台番号に対応する持玉数とレートに、計数・払出履歴テーブルに記憶した処理玉数を持玉数として、受信した持玉数更新要求に含まれる装置ＩＤに対応してユニット管理テーブルに記憶されているレートを記憶する。

【０２３２】

次に、上記したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、遊技者が、ビジターカードまたは会員カードをカード挿入口３０９に挿入した場合には、該ビジターカード或いは会員カードの挿入に伴う挿入検知情報がカードリーダライタ３２７から制御ユニット３２８に出力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ２においてカード受付け有りと判断してＳｂ２０のステップに進み、図２７に示すカード受付け処理を実施する。

【０２３３】

このＳｂ２０における本実施例のカード受付け処理においては、図２７に示すように、カード挿入口３０９に挿入された会員カードまたはビジターカードの取り込み指示をカードリーダライタ３２７に出力して、挿入された会員カード或いはビジターカードをカードリーダライタ３２７のカードスロット３９２内に取り込んで、該会員カード或いはビジターカードに記憶されている記憶データ、具体的には、当該会員カード或いはビジターカードの（会員）カードＩＤと会員ＩＤ（会員カードのみ）とプリペイド残額データ、持玉数データ（ビジターカードのみ）、振分けフラグ等を読み出す（Ｓｃ１）。

【０２３４】

そして制御ユニット３２８は、受付けた会員カード又はビジターカードから読み出した（会員）カードＩＤとプリペイド残額データと装置ＩＤとを含む認証要求をシステムコントローラ１００に送信し、システムコントローラ１００からの認証結果を受信するカード認証処理を実施する（Ｓｃ２）。

【０２３５】

この認証要求の受信に応じてシステムコントローラ１００は、受信した認証要求に含まれる（会員）カードＩＤが、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに存在するか否かとともに、利用不可フラグに利用不可「１」が記憶されているか否かを判定し、存在するとともに利用不可「１」が記憶されていない、つまり利用不可フラグに「０」が記憶されている場合には、該（会員）カードＩＤに対応付けて会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに記憶、管理されているプリペイド残額が、該受信した認証要求に含まれるプリペイド残額データ、すなわち、受付けた会員カード或いはビジターカードから読み出したプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額に一致するか否かを判定し、一致することを条件に、認証結果として「認証ＯＫ」を返信する一方、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに当該（会員）カードＩＤが存在しない場合や、利用不可フラグに利用不可「１」が記憶されている場合並びにプリペイド残額が一致しない場合には「認証ＮＧ」を返信する。但し、プリペイド残額が一致しない場合であって、認証要求に含まれるプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額の方が少額の場合には、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルにおけるプリペイド残額を、該少額の金額に更新するとともに、「認証ＯＫ」を返信して、当該会員カード又はビジターカードの利用を許諾する。

【０２３６】

システムコントローラ１００から返信された認証結果が「認証ＮＧ」である場合（Ｓｃ２のステップでＮｏ）にカードユニット３は、受付けた会員カード或いはビジターカードの排出指示をカードリーダライタ３２７に出力して、挿入された会員カード或いはビジターカードを返却させてカード受付け処理を終了する一方（Ｓｃ１０）、返信された認証結果が「認証ＯＫ」である場合（Ｓｃ２のステップでＹｅｓ）には、受付けたカードから読

み出した（会員）カードＩＤと会員ＩＤ（会員のみ）とプリペイド残額とをカードテーブルに格納するとともに、図３９に示すように、管理コンピュータ１５０に対して、受付けた会員カード或いはビジターカードから読み出した（会員）カードＩＤと装置ＩＤと持玉数（ビジターカードのみ）と振分けフラグデータを含むカード受付け通知を送信する（Ｓｃ４）。

【０２３７】

このカード受付け通知の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、まず、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数が存在するか否かを判定し、存在する場合には、該持玉数を照合する照合処理を行う。

【０２３８】

具体的には、受信したカード受付け通知に含まれるカードＩＤに対応してビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数とが一致するか否かを判定する。

【０２３９】

該照合判定において一致しない場合には、受信したカード受付け通知の送信元のカードユニット３に対し、持玉数の照合がＮＧである旨の照合エラー情報を返信することで、カードユニット３においてエラー情報の受信と判定されて（Ｓｃ５でＹｅｓ）Ｓｃ１０に進み、カードユニット３において該ビジターカードが返却される。

【０２４０】

一方、該照合判定において一致する場合、或いは、受信したカード受付け通知に持玉数が含まれていない場合（会員カードの場合）に管理コンピュータ１５０は、受信したカード受付け通知に含まれる振分けフラグデータが、振分けの有りを示す「１」であるか否かを判定する。

【０２４１】

該判定において振分けフラグデータが「０」である場合、つまり振分けが無い場合には、通常受付け処理に進む一方、該判定において振分けフラグデータが「１」である場合、つまり振分けが有る場合には、振分け履歴テーブルに受信したカード受付け通知に含まれるカードＩＤを含む振分け履歴であって、利用受付けに「０」が登録されている履歴が存在するか否か、つまり、受信したカード受付け通知に含まれるカードＩＤと、利用受付けに「０」が登録されている振分け履歴に含まれるカードＩＤとが一致するか否かを判定する。

【０２４２】

振分け履歴が存在する、つまり、受信したカード受付け通知に含まれるカードＩＤが、利用受付けに「０」が登録されている振分け履歴に含まれるカードＩＤと一致する場合には、該一致した振分け履歴の振分け数（振分け持玉数と振分け貯玉数との合計）を、該カード受付け通知に含まれるカードＩＤに対応する持玉数、つまり、カードＩＤが会員カードＩＤであれば、会員貯蓄管理テーブルにおいて該会員カードＩＤに対応して記憶されている持玉数または貯玉数に該振分け数を加算更新し、カードＩＤがビジターカードのカードＩＤであれば、ビジター貯蓄管理テーブルにおいて該カードＩＤに対応して記憶されている持玉数に該振分け数を加算更新し、該持玉数の利用を可能化するとともに、該特定した振分け履歴の利用受付けのデータを、利用受付け済みを示す「１」に更新した後、通常受付け処理に進む。

【０２４３】

尚、連続振分けが制限されていない場合であって、特定した振分け履歴が複数存在する場合には、特定した各振分け履歴の振分け数（振分け持玉数と振分け貯玉数との合計）が全て加算更新される。

【０２４４】

また、これら持玉数への加算に伴って、該カードＩＤに対応付けて、計数・払出履歴テーブルに、処理種別として「振分け」を含む、レート並びに時刻および処理玉数と持玉数の履歴が登録されるとともに、持玉種別テーブルにおいても、台番号の項目に振分けを示

す「０００」が追加登録され、該「０００」の台番号に対応する持玉数およびレートに、該振分けされた持玉数とそのレートが記憶される。

【０２４５】

また、振分け履歴の特定に際し、振分け履歴が存在しない場合には、すなわち、振分けフラグデータが「１」であるカード受付け通知に含まれるカードＩＤが、利用受付けに「０」が登録されている振分け履歴に含まれるカードＩＤと一致しない場合には、エラー情報を返信することで、カードユニット３においてエラー情報の受信と判定されて（Ｓｃ５でＹｅｓ）Ｓｃ１０に進み、カードユニット３において受付けたカードが排出されて返却されて、利用が不可とされるとともに、受信したカード受付け通知に含まれる装置ＩＤのカードユニット３が対応するパチンコ機２の台番号を含むエラー情報が、管理コンピュータ１５０の表示装置１５７に表示されて報知される。

【０２４６】

通常受付け処理において管理コンピュータ１５０は、まず、受信したカード受付け通知に含まれる装置ＩＤに対応するユニット管理テーブルの「状況」のデータを「受付中」に更新するとともに、受信したカード受付け通知に含まれる（会員）カードＩＤをユニット管理テーブルの「受付ＩＤ」の項目に格納する。

【０２４７】

次いで、受信したカード受付け通知に含まれる（会員）カードＩＤに対応する持玉数、貯玉数（会員のみ）を、会員貯蓄管理テーブルまたはビジター貯蓄管理テーブルにおいて該（会員）カードＩＤに対応して記憶されている各データから特定するとともに、該カードＩＤが会員カードＩＤである場合には、該会員カードＩＤに対応して会員情報テーブルに記憶されている暗証番号と来店ポイントを特定し、更に、持玉数が存在する場合には、持玉種別テーブルにおいて該（会員）カードＩＤに対応して記憶されているデータ（持玉内訳データ）を特定し、これら特定した持玉数、貯玉数（会員のみ）、来店ポイント（会員のみ）、暗証番号（会員のみ）と、持玉内訳データ、（会員）カードＩＤとを含む受付け処理完了通知を、受信したカード受付け通知の送信元のカードユニット３に対して返信する。

【０２４８】

この受付け処理完了通知を送信する際において、管理コンピュータ１５０は、送信する持玉内訳データを、払出しにおいて持玉数を減算する順となるように変更（並べ替え）して送信する。具体的には、先頭として、受付け通知の送信元のカードユニット３が対応するパチンコ機２の台番号と同一の台番号の内訳データを、次いで、台番号として「０００」が格納されている振分けの内訳データを、次いで、受付け通知の送信元のカードユニット３が対応するパチンコ機２のレートと同一レートの内訳データ、次いで、異なるレートの内訳データとする。尚、同一の台番号の内訳データや、振分けの内訳データや、同一レートの内訳データが複数存在する場合には、これらの内訳データの内で、内訳種別テーブルの下位に記憶されているより古い内訳データを先に配置する。

【０２４９】

この受付け処理完了通知の受信に応じてカードユニット３（制御ユニット３２８）は、受信した受付け処理完了通知に含まれる持玉数、貯玉数（会員のみ）、来店ポイント（会員のみ）、暗証番号（会員のみ）を、カードテーブルに格納し、受信した受付け処理完了通知に含まれる持玉内訳データにおける各内訳データを、持玉内訳データに記述されている順に持玉数数内訳テーブルに格納する（Ｓｃ６）。尚、持玉数数内訳テーブルの先頭の内訳データには、自台の内訳データ（カード挿入時は持玉数「０」）が格納されるので、受信した持玉内訳データにおける各内訳データは、自台の内訳データに次いで、順次格納される。これにより、持玉数数内訳テーブルには、払出しにおいて持玉数を減算する場合には、最も上位（図１０（ｅ）に示す持玉数数内訳テーブルの向かって左）の持玉数から減算すれば良く、これらの減算を容易に実施できるようになっている。

【０２５０】

尚、本実施例は、これら持玉数の使用の優先順位を、自台の持玉数、振分けの持玉数、

他台の持玉数でより古い持玉数、の順としているが、このように自台の持玉数の使用を優先することは、大当りにより一旦持玉数を獲得しても、該持玉数を払出して遊技に使用して無くなった場合には、新たに持玉数の内訳データとして管理されることがないので、内訳データが不必要に多くなることを回避できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの優先順位は、適宜に決定すれば良い。

【０２５１】

次いで、受付け中のカードの振分けフラグを「０」に更新した後、カードテーブルに記憶されているプリペイド残額を対応するパチンコ機２の残額表示器に表示するとともに（Ｓｃ７）、図２８に示すカード受付け中画面表示処理を実施して（Ｓｃ８）、カード受付け中画面を表示部３１２に表示した後、会員遊技情報テーブルをリセットして（Ｓｃ９）Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０２５２】

ここで、Ｓｃ８のステップ並びに後述する統合処理（Ｓｔ２６、Ｓｔ５８、Ｓｔ８２）にて実施されるカード受付け中画面表示処理について、図２８に示すフロー図に基づいて説明すると、カード受付け中画面表示処理において制御ユニット３２８は、まず、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃに記憶されている持玉表示設定情報に基づいて、自台まとめ設定が「する」に設定されているか否かを判定する（Ｓｋ１）。

【０２５３】

自台まとめ設定が「する」に設定されている場合には、Ｓｋ２のステップに進み、持玉数内訳テーブルに、自台の複数の内訳データの記憶が存在するか否か、つまり、営業当日において、当該自台における過去の遊技にて獲得した持玉数が存在するか否かを判定する（Ｓｋ２）。

【０２５４】

該判定において、自台の複数の内訳データの記憶が存在する場合には、持玉数内訳テーブルに記憶されている内訳データの中から、該カードユニット３が対応するパチンコ機２の台番号と同一の台番号の内訳データ、つまり自台の内訳データを全て特定し、該特定した自台の内訳データの持玉数を合算して自台持玉数（当台獲得玉数）を特定する一方（Ｓｋ３）、自台の複数の内訳データの記憶が存在しない場合には、Ｓｋ３のステップを経由することなくＳｋ４のステップに進む。

【０２５５】

一方、自台まとめ設定が「しない」に設定されている場合には、Ｓｋ１２のステップに進み、該カード受付け中画面表示処理が、後述する統合処理内において実施されているものであるか否かを判定し（Ｓｋ１２）、統合処理内において実施されているものでない場合には、Ｓｋ１３のステップに進む一方、統合処理内において実施されているものである場合には、Ｓｋ２のステップに進むことで、自台まとめ設定が「する」に設定されている場合と同じく、自台の内訳データが複数存在する場合には、全ての内訳データが合算されて自台持玉数（当台獲得玉数）が特定される。

【０２５６】

Ｓｋ１３のステップにおいては、所定のアドレスに前回の受付けカードのカードＩＤのデータが記憶されているか否かを判定する。該判定において記憶されていない場合、つまり、前回のカードの返却から、前回カードＩＤ消去タイマに設定されている所定時間（本実施例では３分）、以上が経過している場合には、Ｓｋ４のステップに進み、記憶されている場合、つまり、前回のカードの返却から、前回カードＩＤ消去タイマに設定されている所定時間が経過していない場合には、Ｓｋ１４のステップに進んで、更に、受付けたカードから読み出したカードＩＤと、記憶されているカードＩＤとが同一であるか否かを判定する。

【０２５７】

同一でなければＳｋ４のステップに進む一方、同一であれば、Ｓｋ１５のステップに進んで、持玉数内訳テーブルの内訳データの中から、前回の自台持玉数、具体的には、持玉数内訳テーブルに最上位に次いで上位の内訳テーブルの持玉数を、自台持玉数（当台獲得

玉数）として特定した後、Ｓｋ４のステップに進む。

【０２５８】

このようにして自台持玉数（当台獲得玉数）を特定することで、後述するように、特定した自台持玉数（当台獲得玉数）に基づくカード受付け中画面が生成されて表示部３１２に表示されるようになるので、自台まとめ表示が設定されている場合には、後述する図２９（ｂ）に示すように、営業当日において自台にて獲得された各持玉数が全て合算されて、当台獲得玉数として表示単位である玉箱表示にて表示される。

【０２５９】

また、自台まとめ表示が設定されていない場合であっても、後述する、ビジターカードの持玉数を会員カードの持玉数に統合した場合には、自台まとめ表示が設定されている場合と同じく、統合処理により会員カードの持玉内訳データに移行されたビジターカードの持玉内訳データの内、当該カードユニット３が対応するパチンコ機２の台番号を含む内訳データに含まれる持玉数が、全て合算されて、当台獲得玉数として表示単位である玉箱表示にて表示される。

【０２６０】

さらには、これら自台まとめ表示が設定されていない場合であっても、前回カードのカードＩＤと同一のカードを受付けた場合、すなわち、誤って終了操作である返却ボタンの操作を実施してカードが返却された後、再度、カードを挿入した場合等には、図３０に示すように、返却前に当台獲得玉数として表示されていた持玉数が、同様に自台の持玉数として特定されて当台獲得玉数として再度表示されるようになるので、誤って終了操作を実施しても、当台獲得玉数が「０」になってしまい、正確な当台獲得玉数が不明となってしまうようなことを回避できるようになっている。

【０２６１】

Ｓｋ４のステップにおいては、他台表示設定が「する」に設定されているか否かが判定され、他台表示設定が「しない」に設定されている場合には、Ｓｋ１６のステップに進んで、Ｓｋ３を経由している場合には、Ｓｋ３のステップにて特定した自台持玉数、Ｓｋ３を経由していない場合には、カード挿入時であるので「０」に対応する玉箱表示数と端数とを、玉箱表示に設定されている単位玉数に基づいて特定し、特定した玉箱表示数並びに端数に基づいて、該特定した玉箱表示数の玉箱表示並びに端数表示から成る当台獲得玉数の表示を有するカード受付け中画面を生成して（Ｓｋ１７）、Ｓｋ１０のステップに進む。

【０２６２】

一方、他台表示設定が有る場合には、Ｓｋ５のステップに進み、持玉数内訳テーブルに記憶されている内訳データの内、自台の台番号以外の台番号に対応する持玉数とレートを特定する。尚、この際、Ｓｋ１５のステップにおいて特定された前回以前の自台の持玉数が存在する場合には、これらの持玉数も他台の持玉数として特定する。

【０２６３】

そして、他台まとめ表示設定が「する」に設定されているか否かを判定し、「しない」に設定されている場合には、Ｓｋ７のステップに進み、更に、個別情報設定（本実施例では、レート個別表示または振分け個別表示）に「する」が設定されているか否かを判定する。

【０２６４】

個別情報設定に「しない」が設定されている場合には、Ｓｋ８のステップに進み、Ｓｋ３のステップやＳｋ５のステップやＳｋ１５のステップにて特定した各持玉数に該当する玉箱表示数および端数を、玉箱表示に設定されている単位玉数に基づいて特定し（Ｓｋ８）、該特定した玉箱表示数、端数並びに、Ｓｋ５のステップにて特定した台番号に基づいて、レートや振分け持玉数の個別表示がなく、且つ、他台の持玉数がまとめなれていないカード受付け画面を生成した後（Ｓｋ９）、Ｓｋ１０のステップに進む。

【０２６５】

尚、Ｓｋ８のステップにおいては、自台のレートと異なるレートの持玉数が存在する場

合には、自台のレートの持玉数に換算して、該換算した持玉数が該当する玉箱表示数と端数とが特定される。

【０２６６】

つまり、Ｓｋ９のステップにおいては、自台持玉数（当台獲得玉数）の玉箱表示に加えて、他台の台番号に対応付けて、他台にて獲得した持玉数の玉箱表示数を有するカード受付け中画面が生成されることで、誤操作や統合等がなされても、自台において獲得した持玉数を視覚的に把握できるとともに、自台以外にて獲得した持玉数についても視覚的に把握できるようになる。尚、これら他台における持玉数が、複数存在する場合には、それぞれが個別に玉箱表示数にて表示されるようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら他台における持玉数が複数存在する場合には、自台のまとめ表示と同じく、単一の玉箱表示にまとめて表示するようにしても良い。

【０２６７】

また、Ｓｋ７のステップにおいて、個別情報設定に「する」が設定されていると判断された場合には、Ｓｋ１８のステップに進み、設定されている個別表示に該当する持玉数を持玉数内訳テーブルにて特定する。具体的には、振分け個別表示が設定されている場合には、台番号に振分けを示す「０００」が格納された内訳データの持玉数とレートを特定し、レート個別表示が設定されている場合には、各レート種別毎に持玉数と台番号とを特定する。

【０２６８】

そして、Ｓｋ３のステップやＳｋ１５のステップやＳｋ１８のステップにて特定した各持玉数に該当する玉箱表示数および端数を、玉箱表示に設定されている単位玉数に基づいて特定し（Ｓｋ１９）、該特定した玉箱表示数、端数並びに、Ｓｋ５およびＳｋ１８のステップにて特定した台番号並びにレートに基づいて、各玉箱表示が該当する台番号に対応付けられており、レートや振分け持玉数の個別表示を有し、且つ、他台の持玉数がまとめなれていないカード受付け画面を生成した後（Ｓｋ２０）、Ｓｋ１０のステップに進む。

【０２６９】

つまり、Ｓｋ２０のステップにおいては、図２９に例示すように、自台持玉数（当台獲得玉数）の玉箱表示に加えて、レート個別表示設定が有ればレートの種別毎に、他台の持玉数の玉箱表示が台番号に対応付けて区分けられて個別に表示されるとともに、振分け個別設定があれば、更に、振分けによる持玉数が、単独の玉箱表示にて表示されたカード受付け中画面が生成されるので、各レート毎の持玉数や振分けにて取得した持玉数についても、容易に確認できる。

【０２７０】

一方、Ｓｋ６のステップにおいて、他台まとめ表示設定が「する」に設定されている場合には、Ｓｋ２１のステップに進み、Ｓｋ５のステップにて特定した他台の持玉数の合算値（レートが異なる場合には、自台のレートの持玉数に換算して合算）を特定（算出）し、該特定した合算値および、Ｓｋ３のステップやＳｋ１５のステップにて特定した自台持玉数に該当する玉箱表示数および端数を、玉箱表示に設定されている単位玉数に基づいて特定し（Ｓｋ２２）、該特定した玉箱表示数、端数に基づいて、レートや振分け持玉数の個別表示を有せず、他台の持玉数１の玉箱表示数表示にまとめられているカード受付け画面を生成した後（Ｓｋ２３）、Ｓｋ１０のステップに進む。

【０２７１】

つまり、Ｓｋ２３のステップにおいては、自台持玉数（当台獲得玉数）の玉箱表示に加えて、他台にて獲得した持玉数の合算値に該当する玉箱表示を有するカード受付け中画面が生成されるので、自台持玉数（当台獲得玉数）と他台の持玉数とを容易に比較できるようになる。

【０２７２】

そして、Ｓｋ１０のステップにおいては、Ｓｋ９、Ｓｋ１７、Ｓｋ２０、Ｓｋ２３の各ステップにて生成されたカード受付け画面を表示部３１２に表示し、更に、Ｓｋ１１のステップにおいて、これらカード受付け画面において当台獲得玉数（自台持玉数）として表

示された玉数に該当する玉積み表示情報を玉積み表示ユニット４０１に出力することで、玉積み表示ユニット４０１の点灯状態が、当台獲得玉数の玉箱表示に合致した点灯状態に更新される。

【０２７３】

これら本実施例のカード受付け中画面表示処理が実施されることにより表示部３１２に表示されるカード受付け中画面を図２９（ａ）～（ｃ）、図３０に例示する。

【０２７４】

本実施例では、受付け中のカードがビジターカードである場合には、図２９（ｃ）に示すように、カード受付け中画面の上部位置に、カートテーブルに記憶されている１円の持玉数と、４円の持玉数とが数値にて表示されるようになっているとともに、受付け中のカードが会員カードである場合には、図２９（ａ）に示すように、カード受付け中画面上部の位置に、カートテーブルに記憶されている１円の持玉数と、４円の持玉数並びに１円の貯玉数と４円の貯玉数とが数値にて表示されるようになっている。

【０２７５】

また、本実施例のカード受付け中画面においては、図２９に示すように、自台持玉数である当台獲得玉数の玉箱の表示態様と、他台（振分けを含む）の表示態様とを異なる表示態様、具体的には、表示の大きさを異なる大きさとすることで、自台持玉数と他台持玉数とを容易に区別できるようになっている。

【０２７６】

また、レート個別表示が設定されている場合には、４円のレートに該当する持玉数と、１円のレートに該当する持玉数とが、区別されて表示されるとともに、画面上部に表示される１円の持玉数の数値表示と１円の持玉数の玉箱表示とが同一の色にて表示され、４円の持玉数の数値表示と４円の持玉数の玉箱表示とが同一の色にて表示されることで、レートの種別を容易に認識できるようになっている。

【０２７７】

図２９、図３０はいずれも、端数表示設定に「する」が設定されている場合を例示しているが、端数表示設定に「しない」が設定されている場合には、いずれの玉箱表示についても、端数に該当する玉箱表示については、表示されないことになる。

【０２７８】

ここで、図２９（ａ）、（ｂ）は、対応するパチンコ機２にて、当該営業日において既に持玉数を獲得している会員が、会員カードを挿入した場合における、設定による表示画面の違いを示す図である。

【０２７９】

持玉表示設定として、自台まとめ表示設定に「しない」が設定されている場合には、カードの受付け時には、対応する遊技機における遊技が開始されていないので、当台獲得玉数は「０」であるので、図２９（ａ）に示すように、当台獲得玉数としては「０」が表示され、既に対応するパチンコ機２で獲得した持玉数が存在していても、該持玉数は、他台の持玉数として表示される。また、玉積み表示ユニット４０１の表示も当台獲得玉数は「０」に対応して点灯はなされない。

【０２８０】

一方、持玉表示設定として、自台まとめ表示設定に「する」が設定されている場合には、既に対応するパチンコ機２で獲得した持玉数が、当台獲得玉数として特定されるので、図２９（ｂ）に示すように、既に対応するパチンコ機２で獲得した持玉数が当台獲得玉数とされた玉箱表示が実施されるとともに、玉積み表示ユニット４０１の表示も当台獲得玉数に合致した表示（緑の下段３段点灯、４段目点滅表示）に更新される。

【０２８１】

図２９（ｃ）は、持玉表示設定において振分け個別表示設定に「する」が設定されており、ビジターカードを受け中のカード受付け中画面の一例である。振分け個別表示設定に「する」が設定されていることで、遊技者が所有する持玉数の内、振分けの持玉数が単独の玉箱表示にて表示される。尚、これら振分けの持玉数の玉箱表示は、他台の玉箱表示の

大きさと同じ大きさの玉箱表示にて表示されるものの、他台の玉箱表示とは異なる色、（１円、４円とは個別の色）にて表示される。尚、本実施例では、これら振分け持玉数についても、他の持玉数と同じ表示単位による玉箱表示を実施しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、持玉表示設定画面において、振分け持玉数については、独自に単位表示種別や単位玉数を設定できるようにしても良い。

【０２８２】

また、本実施例のカード受付け中画面では、図２９（ｃ）に示すように、持玉数の大きさが大きい場合、例えば、５０００玉以上である場合には、単位玉数が５０００玉とされた玉箱表示が実施されることで、玉箱表示数が多くなって持玉数が把握し難くなることを防止できるようになっている。これら５０００玉の玉箱表示を実施する場合には、前述のように、持玉表示設定画面において、単位種別として「ドル箱２」に対する単位玉数に「５０００」を設定すれば良い。

【０２８３】

尚、図２９（ｃ）に示すように、当台獲得玉数が「１５２７６」玉である場合における玉積み表示ユニット４０１の表示としては、前述した２巡目の青色による表示となり、青の下段３段点灯、４段目点滅表示となる。

【０２８４】

次に、これらカード受付け中画面が表示されているときに、玉箱表示を選択入力することで実施される、計数・払出履歴表示処理について、図３１に基づき説明する。

【０２８５】

本実施例のカード受付け中画面においては、表示された各玉箱表示が選択可能とされていて、例えば、図３１（ａ）に示すように、レート個別表示設定がなされていることで、レート別に玉箱表示がなされている場合において、当台獲得玉数の玉箱表示を遊技者が指触により選択した場合には、表示制御基板３２９によって、当台獲得玉数の玉箱表示が選択されたことが検知されて、該表示制御基板３２９から、当台獲得玉数が選択された旨を含む計数・払出履歴操作情報が制御ユニット３２８に出力される。

【０２８６】

この計数・払出履歴操作情報の出力は、上記したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態におけるＳｂ１２のステップにて、計数・払出履歴操作有りと判断されてＳｂ３０のステップに進み、計数・払出履歴表示処理が実施される。

【０２８７】

本実施例の計数・払出履歴表示処理では、まず、持玉表示設定においてレート個別表示設定に「する」が設定されているか否かを判定する。レート個別表示設定に「する」が設定されていない場合には、管理コンピュータ１５０の計数・払出履歴テーブルにおいて、受付け中の（会員）カードの（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている全ての履歴の取得を要求する、該受付け中の（会員）カードＩＤおよび装置ＩＤを含む計数・払出履歴要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０２８８】

この計数・払出履歴要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、計数・払出履歴テーブルから、受信した計数・払出履歴要求に含まれる（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている全ての計数・払出履歴を読み出して、計数・払出履歴要求の送信元のカードユニット３（制御ユニット３２８）に対して返信する。

【０２８９】

この計数・払出履歴の受信に応じて制御ユニット３２８は、受信した計数・払出履歴を一覧表示する。尚、この際、自台における計数・払出履歴については、他の計数・払出履歴とは異なる表示色で表示することで、他の計数・払出履歴と容易に区別できるようになっている。

【０２９０】

一方、持玉表示設定においてレート個別表示設定に「する」が設定されている場合には、当台獲得玉数が該当するレート、つまり、対応するパチンコ機２のレートと同一の計数

・払出履歴のみの取得を要求する、該受付け中の（会員）カードＩＤを含む計数・払出履歴要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０２９１】

この計数・払出履歴要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した計数・払出履歴要求の送信元のカードユニット３が対応するパチンコ機のレートをユニット管理テーブルに基づいて特定し、該計数・払出履歴要求に含まれる（会員）カードＩＤに対応付けて計数・払出履歴テーブルに記憶されている計数・払出履歴の内、該レートと同一の計数・払出履歴のみを読み出して、計数・払出履歴要求の送信元のカードユニット３（制御ユニット３２８）に対して返信する。

【０２９２】

この計数・払出履歴の受信に応じて制御ユニット３２８は、受信した計数・払出履歴を、図３１（ｂ）に示すように、一覧表示する。尚、この際、自台における計数・払出履歴については、他の計数・払出履歴とは異なる表示色で表示することで、他の計数・払出履歴と容易に区別できるようになっている。

【０２９３】

また、図３１（ａ）に示すカード受付け中画面において、１円レートの玉箱表示を選択した場合には、表示制御基板３２９によって、１円レートの玉箱表示が選択されたことが検知されて、該表示制御基板３２９から、他レートが選択された旨を含む計数・払出履歴操作情報が制御ユニット３２８に出力される。尚、表示制御基板３２９には、生成されたカード受付け中画面が該表示制御基板３２９に出力される際に、制御ユニット３２８から１円レートの玉箱表示の領域が予め通知されているので、選択入力された範囲が１円レートの玉箱表示の領域であることを認識できるようになっている。

【０２９４】

この計数・払出履歴操作情報の出力に応じて実施する計数・払出履歴表示処理において制御ユニット３２８は、管理コンピュータ１５０の計数・払出履歴テーブルにおいて、受付け中の（会員）カードの（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている履歴の内、対応するパチンコ機２のレート以外の他レートの計数・払出履歴の取得を要求する、該受付け中の（会員）カードＩＤおよび装置ＩＤを含む計数・払出履歴要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０２９５】

この計数・払出履歴要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した計数・払出履歴要求の送信元のカードユニット３が対応するパチンコ機のレートをユニット管理テーブルに基づいて特定し、該計数・払出履歴要求に含まれる（会員）カードＩＤに対応付けて計数・払出履歴テーブルに記憶されている計数・払出履歴の内、該レートと異なるレートの計数・払出履歴のみを読み出して、計数・払出履歴要求の送信元のカードユニット３（制御ユニット３２８）に対して返信する。

【０２９６】

この計数・払出履歴の受信に応じて制御ユニット３２８は、受信した計数・払出履歴を、図３１（ｃ）に示すように、一覧表示する。

【０２９７】

このようにすることで、遊技者は、獲得した持玉数についての詳細な変化の履歴である計数・払出履歴を、容易に確認することができる。

【０２９８】

尚、計数・払出履歴の表示を終了する場合には、計数・払出履歴の一覧表示画面下方に設けられている「戻る」の選択入力部を選択入力するか、或いは、所定時間が経過することで、図３１（ａ）のカード受付け中画面に戻るようになっている。

【０２９９】

また、本実施例の計数・払出履歴表示処理では、レート別の計数・払出履歴のみを可能としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、図３１（ａ）において、「０２５」番台の玉箱表示を選択入力した場合には、該「０２５」番台の計数・払出履

歴のみを、管理コンピュータ１５０から取得して表示するようにしても良い。
【０３００】
前述したカード受付け処理により残額表示器にプリペイド残額が表示された後、遊技者が貸出ボタンの操作を実施した場合には、該遊技者による貸出ボタンの操作を検知するための貸出ボタンスイッチからの信号が制御ユニット３２８に出力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態におけるＳｂ３のステップにおいて貸出ボタンの操作有りと判断してＳｂ２１のステップに進み、貸出処理を実施する。
【０３０１】
この貸出処理においては、まず、挿入された会員カード或いはビジターカード（紙幣挿入により発行されたビジターカードを含む）から読み出してＲＡＭ３２８ｂ（カードテーブル）に記憶しているプリペイド残額が、対応するパチンコ機２における貸出レートである４円／玉の払出単位である２５球に相当する１度数＝１００円未満であるか否かを判定し、プリペイド残額が１度数＝１００円未満である場合には該判定において「Ｙｅｓ」と判定されて、該貸出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る一方、プリペイド残額が１度数＝１００円以上である場合には、次のステップに進み、プリペイド残額が本実施例において貸出処理の使用度数として設定されている５度数＝５００円以上であるか否かを判定する。尚、貸出レートである１円／玉の払出単位である場合には、１００球に相当する１度数＝１００円未満であるか否かを判定し、貸出処理の使用度数として設定されている２度数＝２００円以上であるか否かを判定する。
【０３０２】
プリペイド残額が使用度数である５度数＝５００円以上である場合には、使用金額玉貸処理を実施する一方、使用度数である５度数＝５００円未満である場合には、表示金額玉貸処理を実施する。
【０３０３】
この使用金額玉貸処理においては、使用度数となる５度数＝５００円に相当するパチンコ玉数の払出指示、具体的には、１度数である２５玉の払出を指示する信号を５回出力して、５度数＝５００円分に相当する１２５玉の払出を、対応するパチンコ機２に実施させる。
【０３０４】
具体的には、パチンコ機２より出力されるＰＲＤＹのＨＩＧＨ／ＬＯＷを判定し、ＰＲＤＹがＨＩＧＨである場合には、所定のエラー処理を実施し、貸与処理を終了する。
【０３０５】
また、前記ＰＲＤＹがＬＯＷである場合には、ＢＲＤＹをＬＯＷに切替えた後、ＢＲＱをＬＯＷとして、パチンコ機２からのＥＸＳのＨＩＧＨの検出待ちの状態となり、該ＥＸＳのＬＯＷの検出に基づきＢＲＱをＨＩＧＨに切替え、ＥＸＳのＨＩＧＨの検出待ちの状態となる。
【０３０６】
次いで、パチンコ機２における１度分の払出が完了され、ＥＸＳのＨＩＧＨを検出すると、制御ユニット３２８は、残額表示器に表示されているプリペイド残額と、カードテーブルのプリペイド残額データ並びに受付け中の会員カード或いはビジターカードに記憶されているプリペイド残額データから該１度分に相当する１００円を減算更新し、ＢＲＱの回数をカウントし、該カウントしたＢＲＱの回数を使用度数である５度数に相当する５回と比較する。
【０３０７】
この比較において前記カウントしたＢＲＱの回数が５度数に一致しない場合には、再び前述の１度分の払出処理を実施するようになっており、前記した使用度数との比較においてカウントしたＢＲＱの回数が５度数に一致した場合には、ＢＲＤＹをＨＩＧＨとする。
【０３０８】
そして、システムコントローラ１００に対して、当該カードユニット３に固有に付与された装置ＩＤと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードＩＤと、

使用度数に相当する使用額（５００円）とを含む貸出完了通知を送信して、システムコントローラ１００の会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルにて該（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されているプリペイド残額から該使用額を減算更新させる。

【０３０９】

そして、受付け中のカードがビジターカードであるか否かを判定し、ビジターカードでない場合には該貸出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る一方、ビジターカードを受付け中である場合には、残額表示器に表示されているプリペイド残額（ＲＡＭ３２８ｂのカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に同一）が０であるか否かを判定する。

【０３１０】

そして、該判定においてプリペイド残額が０でない場合には、該貸出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る一方、プリペイド残額が０である場合には、更に、カードテーブルの持玉数が存在するか否かを判定する。

【０３１１】

持玉数が存在する場合には、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る一方、持玉数が存在しない場合には、該プリペイド残額が０となったビジターカードの回収指示をカードリーダライタ３２７に出力して、カードリーダライタ３２７の内方側のカード貯留部３７０に回収するとともに、システムコントローラ１００と管理コンピュータ１５０に対し、該回収したビジターカードのカードＩＤを含む回収通知を送信することで、システムコントローラ１００のビジターカードテーブルの「状況」を「保管中」に更新させるとともに、管理コンピュータ１５０におけるユニット管理テーブルの当該カードユニット３のデータを更新させた後、カードテーブルをリセットして、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０３１２】

一方、表示金額玉貸処理においては、残額表示器に表示されているプリペイド残額（ＲＡＭ３２８ｂのカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に同一）を１度数に相当する１００円で除した度数分の払出指示、例えば、プリペイド残額が４００円であれば、１度数である２５玉の払出を指示する信号を４回出力して、４００円分に相当する４度数＝１００玉の払出を、上述した使用度数の払出の場合と同様にして対応するパチンコ機２に実施させるとともに、残額表示器に表示されているプリペイド残額と、カードテーブルのプリペイド残額データ並びに受付け中の会員カード或いはビジターカードに記憶されているプリペイド残額データをパチンコ玉の玉貸に使用した４度数分に相当する４００円が減算更新された金額、つまり「０」に更新する。

【０３１３】

そして、システムコントローラ１００に対して、当該カードユニット３に固有に付与された装置ＩＤと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードＩＤと、使用金額である４００円とを含む貸出完了通知を送信して、システムコントローラ１００にて（会員）カードＩＤに対応付けて会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額から使用額である４００円を減算更新させる。

【０３１４】

そして、前述した使用度数の場合と同様に、受付け中のカードがビジターカードであってプリペイド残額が０であるか否かを判定し（この場合においては、必ず０であると判定される）、ビジターカードであってプリペイド残額が０である場合には、更に、持玉数が存在しないことを条件にビジターカードを回収した後、該貸出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０３１５】

また、前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、遊技者が紙幣挿入口３０２から現金（紙幣）を投入した場合には、該現金（紙幣）の投入に伴う貨幣識別情報が紙幣識別ユニット３２１から制御ユニット３２８に出力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ４のステップにおいて現金の受付け有りと判断してＳｂ２２のステップに進み、発行・入金処理を実施する。

【０３１６】
この発行・入金処理においては、まず、入力された貨幣識別情報から投入された貨幣の投入金額を特定するとともに、カードリーダライタ３２７に受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在するか否かを判定する。
【０３１７】
そして、受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在しないとの判定の場合に制御ユニット３２８は、カード貯留部３７０に収納されているビジターカードをカードスロット３９２上の所定の読み取り位置に移動させて、当該ビジターカードのカードＩＤを読み出し、該読み出したカードＩＤと、投入金額と、当該カードユニット３の装置ＩＤとを含む発行要求をシステムコントローラ１００に送信する。
【０３１８】
この発行要求の受信に応じてシステムコントローラ１００は、受信した発行要求に含まれるカードＩＤが、ビジターカードテーブルに存在するか否かを判定し、存在する場合には、該カードＩＤに対応するビジターカードテーブルの「状況」を「利用中」に更新し、ＲＴＣ１０４から出力されるその時点の日時を最新発行日時に格納するとともに、受信した投入金額を「残存金額」にプリペイド残額として格納して、「発行許諾」を該発行要求の送信元のカードユニット３に対して返信する。尚、受信したカードＩＤが、ビジターカードテーブルに存在しない場合には、「発行不可」が返信される。
【０３１９】
また、「発行許諾」の送信に伴いシステムコントローラ１００は、管理コンピュータ１５０に対して、格納した最新発行日時と受信した発行要求に含まれるカードＩＤと装置ＩＤとを含む発行通知を管理コンピュータ１５０に通知することで、管理コンピュータ１５０は、受信した発行通知に含まれるカードＩＤに対応するビジター貯蓄管理テーブルの最新発行日時に、該受信した発行通知に含まれる最新発行日時を格納するとともに、受信した発行通知に含まれる装置ＩＤに対応するユニット管理テーブルの「状況」を「受付け中」に更新するとともに、「受付ＩＤ」に当該受信したカードＩＤを格納してユニット管理テーブルを更新する。
【０３２０】
上記した「発行許諾」の受信に応じてカードユニット３（制御ユニット３２８）は、カードスロット３９２に移動させたビジターカードに、投入金額に相当するプリペイド残額を書き込み記憶するとともに、カードテーブルに、該ビジターカードのカードＩＤと投入金額に相当するプリペイド残額とを記憶、並びに残額表示器に該プリペイド残額を表示した後、該発行・入金処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。
【０３２１】
尚、システムコントローラ１００から「発行不可」を受信した場合、並びに、カード貯留部３７０にビジターカードが収納されていない場合には、紙幣挿入口３０２から投入された現金（紙幣）を返却するとともに、多機能ランプ３０１を所定のエラー報知態様にて点灯させるエラー報知処理を、該エラー状態が解消されるまで実施することで、エラーの発生を報知する。
【０３２２】
一方、現金（紙幣）の投入時においてカードスロット３９２に受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在する場合には、上記にて特定した投入金額を、受付け中の会員カード或いはビジターカード並びにカードテーブルに記憶されているプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額に加算して、これら各プリペイド残額データを加算後の新たなプリペイド残額を特定可能なプリペイド残額データに更新した後、該入金金額（投入金額に同じ）と当該カードユニット３の装置ＩＤと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードＩＤとを含むカード入金通知をシステムコントローラ１００に送信して、該システムコントローラ１００の会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルにおいて該（会員）カードＩＤに対応して記憶されているプリペイド残額に該入金金額を加算更新させる。

【０３２３】
そして、残額表示器に表示されているプリペイド残額を、加算更新後の新たな金額に更新表示して、該入金処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。
【０３２４】
また、前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、遊技者が返却ボタンの操作を実施した場合には、遊技者による返却ボタンの操作を検知するための返却ボタンスイッチからの信号が制御ユニット３２８に入力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ５において返却ボタンの操作有りと判断してＳｂ２３に進み、返却処理を実施する。
【０３２５】
この返却処理においては、まず、カードリーダライタ３２７に受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在するか否かを判定し、存在しない場合には、さらに、カードテーブルに持玉数が存在するか否かを判定する。持玉数も存在しない場合には、当該操作を無効とする。一方、受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在する場合には、払出ボタン３１１等の各操作ボタンの操作を無効とするとともに、計数・端数払出ユニット３４０に対して計数禁止指示を出力して、新たな計数を禁止する。
【０３２６】
この計数禁止指示の出力によって計数・端数払出ユニット３４０においては、計数操作部３５５の操作が無効とされることにより、流入口シャッタ３５２の開放が禁止されることで、新たなパチンコ玉の計数が禁止される。
【０３２７】
そして制御ユニット３２８は、管理コンピュータ１５０に対して当該カードユニット３の装置ＩＤと返却するカードのカードＩＤとカードテーブルに記憶されている各レートの持玉数と貯玉数（会員のみ）を含む返却通知を送信する。
【０３２８】
この返却通知の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、会員貯蓄管理テーブルまたはビジター貯蓄管理テーブルにおいて、受信した返却通知に含まれる（会員）カードＩＤに対応して記憶されている各レートの持玉数並びに貯玉数（会員のみ）を、受信した返却通知に含まれる各レートの持玉数並びに貯玉数に更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した装置ＩＤに対応する「状況」を「待機中」に変更し、「受付けＩＤ」に格納されているカードＩＤを削除して、該返却通知の送信元のカードユニット３に対して更新完了通知を送信する。
【０３２９】
この更新完了通知の受信に応じてカードユニット３（制御ユニット３２８）は、受付け中のカードがビジターカードであるか否かを判定し、ビジターカードである場合には、該ビジターカードに、カードテーブルの各レートの持玉数を記録した後、排出指示をカードリーダライタ３２７に出力して受付け中のビジターカードまたは会員カードをカード挿入口３０９から排出させ、カードテーブルをリセットし、表示部３１２におけるカード受付け中画面の表示を終了し、玉積み表示ユニット４０１に対して表示終了を出力して点灯表示を終了させるとともに、払出ボタン３１１等の各操作ボタンの操作無効と計数禁止とを解除してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。
【０３３０】
尚、これらカード返却に際して制御ユニット３２８は、前回カードＩＤ消去タイマをスタートさせるとともに、返却するカードの（会員）カードＩＤを前回のカードＩＤとして、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃの所定のアドレス領域に記憶することで、該前回カードＩＤ消去タイマがタイマアップする間、返却されたカードの（会員）カードＩＤが記憶されるようになっている。
【０３３１】
尚、返却するカードが会員カードである場合に制御ユニット３２８は、会員遊技情報テーブルに記憶されている会員遊技情報データを含む返却通知を送信して該会員遊技情報テーブルをリセットすることで、該会員遊技情報データが会員別遊技履歴テーブルに登録さ

れる。

【０３３２】

一方、受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在せず、且つ、カードテーブルに持玉数が存在する場合には、各操作ボタンの操作を無効とするとともに、計数・端数払出ユニット３４０に対して計数禁止指示を出力して、新たな計数を禁止した後、カードリーダライタ３２７の内方側のカード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを、所定の読み取り位置に移動して、該ビジターカードのカードＩＤを読み出し、前述した発行・入金処理と同様に、システムコントローラ１００に対して該読み出したカードＩＤを含む発行要求が送信されることで、該ビジターカードの「残存金額」が「０」とされる。

【０３３３】

そして、該読み出したカードＩＤと、当該カードユニット３の装置ＩＤと、カードテーブルに記憶されている各レートの持玉数とを含む発行返却通知を送信する。

【０３３４】

この発行返却通知の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、ビジター貯蓄管理テーブルにおいて、受信した返却通知に含まれるカードＩＤに対応して記憶されている各レートの持玉数を、受信した発行返却通知に含まれる各レートの持玉数に更新するとともに、最新発行日時をその時点の日時に更新する。更に、計数・払出履歴テーブルに、発行返却通知に含まれるカードＩＤを新たに追加登録するとともに、該追加登録したカードＩＤに対応するデータとして、発行返却通知に含まれる持玉数、レート、装置ＩＤに対応してユニット管理テーブルに記憶されている台番号を格納し、種別（計数）を、時刻には、その時点の時刻を格納した後、該発行返却通知の送信元のカードユニット３に対して更新完了通知を送信する。

【０３３５】

この更新完了通知の受信に応じてカードユニット３（制御ユニット３２８）は、新たに発行するビジターカードに、カードテーブルの各レートの持玉数を記録した後、排出指示をカードリーダライタ３２７に出力して受付け中のビジターカードをカード挿入口３０９から排出して発行させ、カードテーブルをリセットし、表示部３１２におけるカード受付け中画面の表示を終了し、玉積み表示ユニット４０１に対して表示終了を出力して点灯表示を終了させるとともに、払出ボタン３１１等の各操作ボタンの操作無効と計数禁止とを解除してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０３３６】

つまり、前述した発行・入金処理にて、カードの受付けが無い場合において現金が受付けられた場合にカード貯留部３７０から使用されたビジターカードや、前述した計数情報処理にて、カードの受付けが無い場合において計数された場合にカード貯留部３７０から使用されたビジターカードは、該返却処理においてカード挿入口３０９から排出されることによって、遊技者に対して発行されることになる。すなわち、計数情報処理においては、ビジターカードの持玉数が、計数が実施される毎にほぼリアルタイムにて管理コンピュータ１５０に管理されているが、ビジターカードには、該持玉数の持玉数データが書き込まれておらず、これら持玉数の整合性が保たれていないので、該持玉数を他のカードユニット３において使用できないので発行に該当せず、管理コンピュータ１５０にて管理されている当該ビジターカードの持玉数と同一となる持玉数データが、返却処理においてビジターカードに書き込まれることで、持玉数の整合性が確保されることにより、該ビジターカードの持玉数を他のカードユニット３において使用できるようになるので、該返却処理おけるビジターカードの排出が発行に該当することになる。

【０３３７】

また、前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、遊技者が再プレイボタン３１９の操作を実施した場合には、該再プレイボタン３１９の操作を検知した表示制御基板３２９から再プレイ操作情報が制御ユニット３２８に入力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ６において再プレイボタン３１９の操作有りと判断してＳｂ２４に進み、再プレイ処理を実施する。

【０３３８】
この再プレイ処理においては、まず、対応するパチンコ機２におけるレートの持玉数が「０」であるか否かを判定し、持玉数が「０」でない場合には、該操作を無効とするとともに、「持玉数が有りますので、払出ボタンを操作して下さい。」のメッセージを表示部３１２に表示した後、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る一方、持玉数が「０」である場合には、更に、ＲＡＭ３２８ｂ内に記憶されている暗証番号の照合済みの有無を示す照合済みフラグが、照合済みを示す「１」であるか否かを判定し、「１」でない場合（照合済みでない場合）には、暗証番号の受付け処理を実施する。
【０３３９】
このように、本実施例では、当日において会員遊技者が獲得した持玉数は、貯玉数と異なり、手数料を必要とせずに払出しが実施されることから、これら手数料がかからない持玉数が存在する場合において再プレイ操作を無効とすることで、手数料がかからない持玉数が存在するにもかかわらず、手数料のかかる貯玉数が使用されてしまうことによる会員遊技者の不利益の発生を解消することができるようになっている。
【０３４０】
本実施例の暗証番号の受付け処理においては、まず、テンキーを含む暗証番号の受付け画面並びに暗証番号の入力を促すアナウンス表示を表示部３１２に表示して、暗証番号の受付けを行う。
【０３４１】
そして、受付けた暗証番号とカードテーブルに格納している暗証番号とを比較し、双方が一致した場合において、ＲＡＭ３２８ｂ内の所定領域の照合済みフラグを、照合済みを示す「１」に更新するとともに、カードテーブルに格納している貯玉数が所定の再プレイ単位玉数（１３５玉）以上であることを条件に、再プレイ玉貸処理を実施する。
【０３４２】
一方、照合済みを示す「１」である場合には、さらに、ＬＥＤ３２０ａが点灯状態であるか否か、つまり、貯玉数が所定の再プレイ単位玉数以上であるか否かを判定し、ＬＥＤ３２０ａが点灯状態である場合には、カードテーブルに記憶されている貯玉数から、再プレイ単位数である１３５玉を減算更新し、再プレイ表示部３２０（ＬＥＤ３２０ａ）を消灯した後、再プレイ玉貸処理を実施する。この本実施例の再プレイ玉貸処理においては、再プレイ単位数（１３５玉）に対応するパチンコ玉数、具体的には、再プレイ単位数（１３５玉）から手数料１０玉を除いた１２５玉のパチンコ玉の払出しを、上述した貸出処理の場合と同様に、対応するパチンコ機２における払出単位である２５玉の払出を指示する信号を５回出力することでパチンコ機２に実施させる。
【０３４３】
尚、再プレイ単位玉数の減算更新後の貯玉数が、再プレイ単位玉数以上である場合には、再プレイ玉貸処理の終了後において、再度、再プレイ表示部３２０（ＬＥＤ３２０ａ）が点灯状態とされる。
【０３４４】
そして、管理コンピュータ１５０に対して、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤ並びに会員ＩＤと、貯玉数から減算した再プレイ単位数（１３５玉）と、レート種別を含む再プレイ完了通知を送信した後、該再プレイ処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。
【０３４５】
尚、再プレイ完了通知を受信した管理コンピュータ１５０は、会員貯蓄管理テーブルにおいて、該再プレイ完了通知に含まれる会員カードＩＤ並びに会員ＩＤに対応付けて記憶されている、受信したレート種別に対応する貯玉数から再プレイ単位数（１３５玉）を減算更新する。
【０３４６】
また、前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、払出ボタン３１１を操作した場合には、払出ボタンスイッチ３１１’からの操作信号が制御ユニット３２８に入力される

ことで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ７において払出ボタン３１１の操作有りと判断してＳｂ２５に進み、図３３に示す払出処理を実施する。尚、払出操作が無効とされている場合には、Ｓｂ２５に進むことなく、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態を継続する。

【０３４７】

本実施例の払出処理においては、まず、図３３に示すように、カードテーブルの対応するパチンコ機２のレート（例えば４円）に該当する持玉数が存在するか否かを判定する（Ｓｈ１）。

【０３４８】

このＳｈ１のステップにおける判定において、対応するパチンコ機２のレートの持玉数が存在しない場合には、Ｓｈ６のステップに進んで、表示部３１２に、例えば、「持玉数がありません。」のエラーメッセージを表示して、持玉数が存在しないことを遊技者に報知した後、該払出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。尚、本実施例では、対応するパチンコ機２のレートと同一のレートの持玉数のみを払出しに使用できるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、対応するパチンコ機２のレートと異なるレートの持玉数も、払出しに使用できるようにしても良い。

【０３４９】

一方、持玉数が存在する場合にはＳｈ２のステップに進み、持玉数が、予め設定されている所定の払出設定数である４度数に相当する１００玉以上であるか否かを判定する。

【０３５０】

該判定において１００玉以上である場合には、Ｓｈ８に進み、払出設定数払出処理を実施する。

【０３５１】

具体的に、該払出設定数払出処理においては、前述した使用度数貸出処理の場合と同じく、パチンコ機２より出力されるＰＲＤＹのＨＩＧＨ／ＬＯＷを判定し、ＰＲＤＹがＬＯＷであることを条件に、ＢＲＤＹをＬＯＷに切替えた後、ＢＲＱをＬＯＷとして、パチンコ機２からのＥＸＳのＨＩＧＨの検出待ちの状態となり、該ＥＸＳのＬＯＷの検出に基づきＢＲＱをＨＩＧＨに切替えることにより、１払出単位である１度数に相当する２５玉のパチンコ玉の払出しを実施させ、ＥＸＳのＨＩＧＨの検出待ちの状態となる。

【０３５２】

次いで、パチンコ機２における１払出単位の払出が完了され、ＥＸＳのＨＩＧＨを検出すると、制御ユニット３２８は、ＢＲＱの回数をカウントし、該カウントしたＢＲＱの回数を払出設定数である４度数に相当する４回と比較する。

【０３５３】

この比較において前記カウントしたＢＲＱの回数が５度数に一致しない場合には、再び前述の１度分の払出処理を実施するようになっており、前記した比較においてカウントしたＢＲＱの回数が払出設定数である４度数に一致した場合には、ＢＲＤＹをＨＩＧＨとする。

【０３５４】

そして、制御ユニット３２８は、カードテーブルの対応するパチンコ機２のレートの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードにおける対応するパチンコ機２のレートの持玉数）とから１００玉の玉数を減算更新するとともに、持玉数内訳テーブルの最上位である内訳データの持玉数から１００玉の玉数を減算更新する。尚、最上位の内訳データの持玉数が１００玉に満たない場合には、不足分を順次、下位の内訳データの持玉数から減算して持玉数内訳テーブルを更新する。

【０３５５】

そして、管理コンピュータ１５０に対して、当該カードユニット３に固有に付与された装置ＩＤと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードＩＤと、払出した玉数（１００玉）と、レート種別を含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ１５０の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルにて該（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている、対応するパチンコ機２のレート種別の持玉数、並びに持

玉種別テーブルにおいて該（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている持玉数の内、上述した優先順位の高い持玉数から払出した玉数（１００玉）を減算更新させるとともに、該払出しの履歴を計数・払出履歴テーブルに記憶させた後、Ｓｈ１９のステップに進んで、カード受付け中画面を更新する。

【０３５６】

このカード受付け中画面の更新処理においては、更新後の持玉数内訳テーブルのデータに基づいて、前述したカード受付け中画面表示処理と同じくカード受付け中画面を生成し、該生成したカード受付け中画面を表示部３１２に表示してカード受付け中画面を更新することで、例えば、払出し前の当台獲得玉数から払出された１００玉の持玉数が減算された状態のカード受付け中画面が表示される。

尚、この受付け中画面の更新処理に伴い、当台獲得玉数に変化（減少）がある場合には、変化（減少）後の当台獲得玉数が該当する玉積み表示情報が玉積み表示ユニット４０１に出力されることで、玉積み表示ユニット４０１の点灯状態も更新される。

【０３５７】

次いで、Ｓｈ２０のカード回収判定処理に進む。このカード回収判定処理においては、受付け中のカードが、減算更新後の持玉数が「０」であるビジターカードであるか否かを判定し、持玉数が「０」であるビジターカードである場合には、さらに、プリペイド残額も「０」であることを条件に、前述の貸出処理におけるプリペイド残額が「０」である場合と同じく、当該ビジターカードを回収した後、該払出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０３５８】

一方、Ｓｈ２のステップにおける判定結果が、払出設定数以上でないとの判定結果である場合には、Ｓｈ３のステップに進んで、持玉数が対応するパチンコ機２における払出単位数である２５玉以上であるか否かを判定する。

【０３５９】

該判定において２５玉以上でないと判定された場合、例えば、持玉数が２０玉である場合には、Ｓｈ４のステップに進んで、貯留玉数データから特定される貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）が、該持玉数である２０玉以上であるか否か、つまり、持玉数である２０玉の払出しが可能であるか否かを判定する。

【０３６０】

該判定において、貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）が、該持玉数である２０玉以上でないと判定した場合、つまり、２０玉のパチンコ玉の払出しが不能である場合には、Ｓｈ７のステップに進んで、表示部３１２に、「玉不足のため払出しができません。係員を呼んで下さい。」のメッセージを表示するとともに、多機能ランプ３０１の点灯状態を、貯玉残数エラーが発生したことを報知する所定の点灯態様にて点灯させる貯玉残数エラー報知処理を実施する。

【０３６１】

この報知により貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）が少ないことを把握した係員は、前述したように、リモコンを用いて、加算留保モードに移行して玉貯留部３３８にパチンコ玉を補充することで、貯留部３３８からのパチンコ玉の払出しが可能とされる。

【０３６２】

一方、Ｓｈ４のステップにおける判定において、貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）が、該持玉数である２０玉以上であると判定した場合にはＳｈ５のステップに進んで、該持玉数である２０玉の払出玉数を含む端数払出要求を計数・端数払出ユニット３４０に対して送信する。

【０３６３】

この端数払出要求の受信に応じて計数・端数払出ユニット３４０は、流路切替ソレノイド３５８によって流路を返却通路３３５へ切替えるとともに、該受信した端数払出要求に含まれる払出玉数（端数）である２０の検出信号が出センサ３５４から入力されてくるま

で払出モータ３５３を作動させることにより、該払出玉数（端数）である２０個のパチンコ玉が、排出流路３３７上の分流口３３６から返却通路３３５に流入して、返却貯留部３４２に返却されて貯留されることで、遊技者は、これら払出しされた２０玉のパチンコ玉を該返却貯留部３４２から取り出すことができる。

【０３６４】

そして、端数払出要求に基づく２０玉のパチンコ玉の払出しが完了した段階において計数・端数払出ユニット３４０の制御部３５０は、制御ユニット３２８に対して端数払出完了通知を送信する。

【０３６５】

この端数払出完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの対応するパチンコ機２におけるレートの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの当該レートの持玉数）とから、払出した玉数を減算更新する。これにより、持玉数は「０」となる。尚、これら払出した持玉数の減算は、上述した通常の払出しの場合と同じく、持玉数内訳テーブルの上位の内訳データの持玉数からも実施される。

【０３６６】

そして、管理コンピュータ１５０に対して、当該カードユニット３に固有に付与された装置ＩＤと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードＩＤと、返却した払出玉数（２０玉）と、レート種別を含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ１５０の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルにて該（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている、対応するパチンコ機２のレート種別の持玉数、並びに持玉種別テーブルにおいて該（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている持玉数の内、上述した優先順位の高い持玉数から返却した払出玉数（２０玉）を減算更新させるとともに、該払出しの履歴を計数・払出履歴テーブルに記憶させた後、上述したＳｈ１９のカード受付け中画面の更新処理並びにＳｈ２０のカード回収判定処理を実施した後、該払出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０３６７】

尚、これら払出完了通知を受信した際に管理コンピュータ１５０は、該払出完了通知に基づいて、貯留・払出履歴テーブルにおいて、該装置ＩＤに対応する貯留・払出履歴として、「払出」の種別と該払出玉数（２０玉）とを含む貯留・払出履歴が登録される。

【０３６８】

つまり、持玉数が払出単位である１度数に対応する２５玉未満の端数である場合には、遊技者が払出ボタン３１１を操作することにより、該端数のパチンコ玉が計数・端数払出ユニット３４０内の貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉から払出されることで遊技者に返却されるようになっている。

【０３６９】

一方、Ｓｈ３における判定において、持玉数が２５玉以上であると判定された場合には、Ｓｈ９のステップに進んで、該持玉数の範囲において払出が可能な最大払出単位と払出単位未満の端数とを特定した後、Ｓｈ１０のステップに進むことで、該特定した最大払出単位の玉数を対応するパチンコ機２から払出させるとともに、上述したＳｈ４とＳｈ５のステップを実施することで、特定した端数のパチンコ玉が計数・端数払出ユニット３４０において返却貯留部３４２に払出される。

【０３７０】

具体的に、例えば、持玉数が９０玉である場合であれば、Ｓｈ９のステップにおいては、持玉数である９０玉を払出単位である２５玉で除した値の整数値である３を最大払出単位に相当する払出度数として特定するとともに、該払出単位である２５玉で除した値の余りとなる払出単位未満の１５玉を端数として特定する。

【０３７１】

そして、Ｓｈ１０において、パチンコ機２より出力されるＰＲＤＹのＨＩＧＨ／ＬＯＷを判定し、ＰＲＤＹがＬＯＷであることを条件に、ＢＲＤＹをＬＯＷに切替えた後、ＢＲ

ＱをＬＯＷとして、パチンコ機２からのＥＸＳのＨＩＧＨの検出待ち状態となり、該ＥＸＳのＬＯＷの検出に基づきＢＲＱをＨＩＧＨに切替えることにより、１払出単位である１度数に相当する２５玉のパチンコ玉の払出しを実施させ、ＥＸＳのＨＩＧＨの検出待ち状態となる。

【０３７２】

次いで、パチンコ機２における１払出単位の払出しが完了され、ＥＸＳのＨＩＧＨを検出すると、制御ユニット３２８は、ＢＲＱの回数をカウントし、該カウントしたＢＲＱの回数を、Ｓｈ８のステップにて特定した払出度数である３度数に相当する３回と比較する。

【０３７３】

この比較において前記カウントしたＢＲＱの回数が３度数に一致しない場合には、再び前述の１度分の払出処理を実施する一方、前記した比較においてカウントしたＢＲＱの回数が払出設定数である３度数に一致した場合には、ＢＲＤＹをＨＩＧＨとする。

そして、これら払出単位の払出しの後、Ｓｈ４とＳｈ５のステップを実施することで、残りの端数である１５玉のパチンコ玉が、上述したように、計数・端数払出ユニット３４０において返却貯留部３４２に払出される。

【０３７４】

そして、制御ユニット３２８は、カードテーブルの対応するパチンコ機２のレートの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードにおける対応するパチンコ機２のレートの持玉数）とから、払出した９０玉を減算更新するとともに、持玉数内訳テーブルの最上位（最上位の持玉数が不足する場合は次順位）である内訳データの持玉数から７５玉の玉数を減算更新する。

【０３７５】

そして、管理コンピュータ１５０に対して、当該カードユニット３に固有に付与された装置ＩＤと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードＩＤと、払出した玉数（７５玉）と、レート種別を含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ１５０の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルにて該（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている、対応するパチンコ機２のレート種別の持玉数、並びに持玉種別テーブルにおいて該（会員）カードＩＤに対応付けて記憶されている持玉数の内、上述した優先順位の高い持玉数から払出した玉数（９０玉）を減算更新させるとともに、該払出しの履歴を計数・払出履歴テーブルに記憶させた後、上述したＳｈ１９のカード受付け中画面の更新処理並びにＳｈ２０のカード回収判定処理を実施して、該払出処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０３７６】

つまり、持玉数が、払出単位である１度数に相当する２５玉以上であって、払出設定数に対応する１００玉未満であり、端数が存在する場合には、これら端数の払出すために、個別に払出ボタン３１１を操作することなく、該端数のパチンコ玉が計数・端数払出ユニット３４０内の貯留部３３８に貯留されているパチンコ玉から払出されることで遊技者に返却されるようになっている。尚、これら端数の払出しが実施された場合にも、前述したように、該端数の払出玉数を含む払出完了通知が管理コンピュータ１５０に送信されることにより、該払出完了通知に基づいて、貯留・払出履歴テーブルにおいて、該装置ＩＤに対応する貯留・払出履歴として、「払出」の種別と該払出玉数（１０玉）とを含む貯留・払出履歴が登録される。

【０３７７】

また、遊技者が所用で離席したい場合には、係員を呼んで、該係員が所持するリモコンにおいて離席操作を実施してもらい、離席モードに移行させることが必要となる。

【０３７８】

このリモコンにおいて離席操作があった場合には、該リモコンから離席操作に応じた所定の赤外線信号が出力されることで、該赤外線信号がＩＲ受光ユニット３１５にて離席操作を特定可能な所定の電気信号に変換されて表示制御基板３２９に出力されることで、表

示制御基板３２９から制御ユニット３２８に対し、離席操作があった旨の離席操作情報が出力される。

【０３７９】

この離席操作情報の出力は、前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態におけるＳｂ８において検知されることで離席操作有りと判断され、Ｓｂ２６に進んで離席処理を実施する。

【０３８０】

この離席処理において制御ユニット３２８は、まず、全ての操作を無効とするとともに、計数・端数払出ユニット３４０（制御部３５０）に対して計数禁止指示を出力して、新たなパチンコ玉の計数を禁止する。

【０３８１】

そして制御ユニット３２８は、カードリーダライタ３２７に受付け中の（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）と持玉数とを、長い電源遮断等によりＲＡＭ３２８ｂのカードデータが消失しても、これらの（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤの記憶が残るように、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃの所定記憶領域に記憶した後、排出指示をカードリーダライタ３２７に出力して受付け中の会員カード或いはビジターカードをカード挿入口３０９から排出させ、表示部３１２に「離席中」の表示と経過時間（所定の離席時間の残り時間）の表示を開始するとともに、カード挿入可能化指示をカードリーダライタ３２７に出力することにより、該排出に伴って、シャッタ用ソレノイド３９９によりカード挿入口３０９のシャッタが没状態とされることで、カード挿入口３０９からのカード挿入のみを許可する離席モードに移行する。

【０３８２】

尚、本実施例では、前述したように、制御ユニット３２８のＲＡＭ３２８ｂは、電池によりバックアップされているため、（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員のみ）を離席モードの解消対象とするカードの情報として、ＲＡＭ３２８ｂ内の所定領域に改めて記憶しても良いし、或いは、本実施例のように、会員カード或いはビジターカードの受付け時においてカードテーブルに（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）が既に記憶されている場合には、これら新たな（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤの記憶の実施を省略して、該カードテーブルに既に記憶されている（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）を利用するようにしても良い。

【０３８３】

遊技者は、カード挿入口３０９から排出された会員カード或いはビジターカードを持参して離席すれば良い。

【０３８４】

尚、上述した離席モードへの移行に際して制御ユニット３２８は、装置ＩＤと排出したカードの（会員）カードＩＤとを含む離席通知をシステムコントローラ１００並びに管理コンピュータ１５０に送信することで、これら（会員）カードＩＤが離席カードとして登録されることにより、これら排出したカードが他のカードユニット３や振分け装置５や景品交換用ＰＯＳ端末１７０において受付けられても、該カードの使用が不可とされて返却されるようになっている。

【０３８５】

そして、遊技者が所用を終えて遊技を再開する場合には、離席時に排出された会員カードまたはビジターカードをカード挿入口３０９に挿入すれば良く、該会員カードまたはビジターカードの挿入があった場合に制御ユニット３２８は、挿入された会員カードまたはビジターカードから（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）を読み出して、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃの所定記憶領域に記憶した（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）と一致するか否かを判定する。

【０３８６】

（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）が一致しない場合には、挿入された該会員カードまたはビジターカードを排出して離席モードを継続する一方、（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）が一致した場合には、ＥＥＰＲＯＭ３２８

ｃの所定記憶領域に記憶した（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）を消去するとともに、該離席モードの移行において実施した操作の禁止と計数禁止とを解除することで、離席モードから通常モードに移行して、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０３８７】

尚、離席した遊技者が所定の離席時間を経過しても戻らない場合等においては、離席モードを強制的に解除することができるようになっており、このように、離席モードの強制解除を行う場合において係員は、所持しているリモコンに設けられている強制解除ボタンを操作すれば良く、該強制解除ボタンの操作により、該リモコンから強制解除ボタンの操作（強制解除操作）に応じた所定の赤外線信号が出力されることで、該赤外線信号がＩＲ受光ユニット３１５にて該強制解除操作を特定可能な所定の電気信号に変換されて表示制御基板３２９に出力されることで、表示制御基板３２９から制御ユニット３２８に対し、強制解除操作があった旨の強制解除操作情報が出力される。

【０３８８】

これら離席モード中において該強制解除操作情報の入力があった場合において制御ユニット３２８は、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃの所定記憶領域に記憶した（会員）カードＩＤ並びに会員ＩＤ（会員カードのみ）と持玉数のデータを、強制解除履歴データとしてＥＥＰＲＯＭ３２８ｃの他の所定領域に記憶した後、該データを消去するとともに、カードテーブル並びに持玉数内訳テーブルをリセットする。

【０３８９】

そして、離席モードの移行において実施した操作の禁止と計数禁止を解除することで、離席モードから通常モードに移行して、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻り、新たな会員カード或いはビジターカード並びに紙幣の受付けが可能とされる。

【０３９０】

また、強制解除履歴データは、システムコントローラ１００並びに管理コンピュータ１５０からの送信要求に応じて、或いは営業終了時の締め処理においてシステムコントローラ１００並びに管理コンピュータ１５０の双方に送信され、該システムコントローラ１００並びに管理コンピュータ１５０にて記憶・管理されることで、離席者によるクレームがあった場合でも、これらシステムコントローラ１００或いは管理コンピュータ１５０に記憶・管理されている強制解除履歴データにより、システムコントローラ１００或いは管理コンピュータ１５０のいずれかに障害が発生しても、当該離席者が所有する持玉数を確実に保証することができるようになっている。

【０３９１】

また、前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、遊技者が表示部３１２に表示されている図５に示すメインメニュー中の「振分け」メニューを選択入力した場合には、該「振分け」メニューの選択入力を検知した表示制御基板３２９から振分け操作情報が制御ユニット３２８に入力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ９において振分け操作有りと判断してＳｂ２７に進み、図３４～図３７に示す振分け処理を実施する。

【０３９２】

尚、本実施例では、同一のレートの持玉数または貯玉数からのみ同一のレートの持玉数または貯玉数への振分けのみを実施可能とされているので、以下の説明においては、レートの記述を省略しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、異なるレートの持玉数または貯玉数への振分けを可能としても良い。但し、この場合には、高いレートから低いレートへの振分けについては可能とし、低いレートから高いレートへの振分けについては不可とするようにして、低いレートの遊技で持玉数を獲得しておき、その後に高いレートでの遊技で大当りを狙う等の遊技がなされてしまうことがないようにすることが好ましい。

【０３９３】

まず、本実施例の振分け処理において制御ユニット３２８は、はじめに、持玉数が変化しないように、払出ボタン３１１の操作を無効とするとともに、計数・端数払出ユニット３４０に対して計数禁止指示を出力して新たなパチンコ玉の計数を禁止する（Ｓ１）。

【０３９４】
そして、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃに記憶されている、図２４の振分け設定画面における設定内容を特定可能な振分け設定情報に基づいて、貯玉数からの直接振分けの許諾が設定されているか否かを判定する（Ｓ２）。
【０３９５】
該判定において直接振分けの許諾が設定されていない場合には、図３５のＭに進む一方、直接振分けの許諾が設定されている場合にはＳ３のステップに進んで、会員カードを受付け中であるか否かを判定する。
【０３９６】
該判定において会員カードを受付け中でない場合には図３５のＭに進む一方、会員カードを受付け中である場合には、Ｓ４のステップに進み、図４１（ａ）に示す振分け対象選択受付け画面を表示部３１２に表示して、振分けに使用する対象を、貯玉数或いは持玉数のいずれとするかの選択を受付ける振分け対象選択受付け処理を実施する。
【０３９７】
この振分け対象選択受付け画面は、図４１（ａ）に示すように、「振分けに使用する対象を選択して下さい。」のメッセージを含むとともに、振分けに使用する対象を貯玉数とする際に選択される「貯玉（当日前所有玉数）から振分け」の選択入力部と、振分けに使用する対象を持玉数とする際に選択される「持玉数（本日所有玉数）から振分け」の選択入力部とが設けられており、遊技者は、振分けに使用したい方の選択入力部を選択入力すれば良い。
【０３９８】
そして、Ｓ５のステップに進んで、Ｓ４の振分け対象選択受付け処理において貯玉が選択されたか否かを判定し、貯玉が選択されていない場合、つまり、振分け対象選択受付け画面における「持玉数（本日所有玉数）から振分け」の選択入力部が選択入力された場合には、図３５のＭに進む一方、貯玉が選択された場合、つまり、振分け対象選択受付け画面における「貯玉（当日前所有玉数）から振分け」の選択入力部が選択入力された場合にはＳ６のステップに進み、カードテーブルの持玉数が存在するか否かを判定する。
【０３９９】
該判定において、持玉数が存在しない場合には、図３６のＢに進んで、Ｓｆ３０～Ｓｆ４１のステップから成る処理を実施することにより、貯玉数からの振分けが実施される一方、持玉数が存在する場合には、Ｓ７のステップに進んで、図４１（ｂ）に示す選択確認画面を表示部３１２に表示して、持玉数が存在することを報知するとともに、振分けに使用する対象を貯玉数とすることで良いか否かの確認を、遊技者から受付ける選択確認受付け処理を実施する。
【０４００】
この選択確認画面には、図４１（ｂ）に示すように、持玉数が存在することを報知するための「持玉数がＸＸＸＸ有りますが、貯玉使用で宜しいですか？」のメッセージを含むとともに、「ＯＫ」と「ＮＧ」の選択入力部が設けられており、遊技者は、貯玉使用で良い場合には「ＯＫ」の選択入力部を選択入力する一方、該報知によって存在することを認識した持玉数を振分けに使用したい場合には「ＮＧ」の選択入力部を選択入力すれば良い。
【０４０１】
そして、これら選択確認画面の「ＯＫ」と「ＮＧ」のいずれの選択入力部が選択入力されたかがＳ８のステップにおいて判定され、「ＯＫ」の選択入力部が選択入力された場合には図３６のＢに進んで、Ｓｆ３０～Ｓｆ４１のステップから成る処理を実施することにより、貯玉数からの振分けが実施される一方、「ＮＧ」の選択入力部が選択入力された場合には、図３５のＡ（Ｓｆ２－）に進むことで、後述するように、持玉数からの振分けが実施されるようになる。
【０４０２】
以下、上記したＭに移行することにより実施される図３５のＳｆ１以降の処理について

説明すると、まず、Ｓｆ１のステップにおいては、カードテーブルの持玉数が０で有るか否か、つまり、持玉数が存在するか否かを判定する。

【０４０３】

持玉数が０である場合には、Ｓｆ２１のステップに進み、受付け中のカードが会員カードであるか否かを判定する。

【０４０４】

そして、会員カードでない場合には、該振分け処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る一方、会員カードである場合には、Ｓｆ２１＋のステップに進み、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃに記憶されている振分け設定情報に基づいて、貯玉数からの直接振分けの許諾が設定されているか否かを判定する。

【０４０５】

該判定において直接振分けの許諾が設定されている場合には、図３６のＢに進む一方、直接振分けの許諾が設定されていない場合には、Ｓｆ２２のステップに進んで、カードテーブルに記憶されている貯玉数の表示部と、該貯玉数から持玉数に加算する玉数の入力を受付ける加算貯玉数入力部と、暗証番号とを受付けるための暗証番号受付け部と、加算貯玉数入力部に加算貯玉数を入力するためのテンキー部とを有する図示しない貯玉利用画面を表示部３１２に表示して、持玉数への加算に使用する貯玉数を会員遊技者から受付ける。尚、該貯玉利用画面には、「決定」と「キャンセル」の選択入力部が設けられており、振分けを実施するために貯玉数から持玉数への加算を実施しない遊技者は、該「キャンセル」の選択入力部を選択入力することで、該振分け処理が終了される。

【０４０６】

また、貯玉数から持玉数への加算を実施したい場合において会員遊技者は、貯玉利用画面の下方に設けられているテンキーを操作して、持玉数への加算に使用する貯玉数を加算貯玉数入力部に入力した後、「決定」の選択入力部を選択入力する。

【０４０７】

この「決定」の選択入力に応じて制御ユニット３２８は、Ｓｆ２３のステップに進み、持玉数加算処理を実施した後、Ｓｆ２－のステップに戻る。

【０４０８】

この持玉数加算処理において制御ユニット３２８は、まず、加算貯玉数入力部に入力された玉数が、カードテーブルに記憶されている貯玉数の範囲内であるか否かを判定し、範囲内でない場合には、エラーを表示部３１２に表示して、持玉数加算処理を中止し、Ｓｆ２－のステップに戻る一方、加算貯玉数入力部に入力された玉数が、カードテーブルに記憶されている貯玉数の範囲内である場合には、受付けた暗証番号がカードテーブルに記憶されている暗証番号と一致するか否かを判定する。

【０４０９】

そして、暗証番号が一致する場合において、当該カードユニット３の装置ＩＤと受付け中の会員カードＩＤと加算貯玉数入力部に入力された玉数である持玉加算貯玉数とを含む持玉数加算要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０４１０】

この持玉数加算要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した持玉数加算要求に含まれる持玉加算貯玉数が、該受信した持玉数加算要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数の範囲内であるかを確認して、該貯玉数の範囲内であることを条件に、該貯玉数から持玉加算貯玉数を減算更新するとともに、該持玉加算貯玉数から所定の手数料（本実施例では、上述した再プレイ手数料と同じ）を差し引いた玉数を、該会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に加算更新し、加算更新後の持玉数と減算更新後の貯玉数と、受信した持玉数加算要求に含まれる会員カードＩＤとを含む持玉数加算完了通知を、持玉数加算要求の送信元のカードユニット３に対して返信する。この際、管理コンピュータ１５０は、受信した持玉数加算要求に含まれる装置ＩＤに対応してユニット管理テーブルに記憶されている持玉数を加算更新後の持玉数に更新する。

【０４１１】
該持玉数加算完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数と貯玉数とを、該受信した持玉数加算完了通知に含まれる持玉数と貯玉数とに更新する。
【０４１２】
このようにすることで、会員遊技者は、再プレイ操作により、貯玉数を一旦パチンコ機２において払出し、該払出したパチンコ玉を、下皿２４から投入部３４５に投入して計数させて持玉数に加算をすることなく、簡便かつ迅速に、希望する貯玉数を持玉数に加算して、振分けに使用することができるようになる。
【０４１３】
一方、Ｓｆ１のステップにおける判定において、持玉数が０でない場合には、Ｓｆ２－のステップに進んで、振分け可能玉数を特定する振分け可能玉数特定処理を実施する。
【０４１４】
この振分け可能玉数特定処理においては、前述したＳｆ２１＋のステップと同じく、振分け設定情報に基づいて、貯玉数からの直接振分けの許諾が設定されているか否かを判定し、直接振分けの許諾が設定されていない場合には、その時点の持玉数、つまり、カードテーブルの持玉数を振分け可能玉数として特定する一方、直接振分けの許諾が設定されており、会員カードを受付け中である場合には、貯玉数の全てを持玉数に振分けた場合において徴収される手数料玉数を該貯玉数から減じた玉数を持玉数に加えた合計数を統合振分け可能玉数として特定する。
【０４１５】
そして、Ｓｆ２のステップに進み、図４２（ａ）に示すように、Ｓｆ２－の振分け可能玉数特定処理にて特定した持玉数（直接振分け非許諾時）を含む振分け玉数受付け画面、若しくは、図４２（ｈ）に示すように、Ｓｆ２－の振分け可能玉数特定処理にて特定した統合振分け可能玉数（直接振分け許諾時）を含む振分け玉数受付け画面を表示部３１２に表示して、振分け先に振分ける玉数（振分け玉数）を遊技者から受付ける振分け玉数受付け処理を実施する。
【０４１６】
この本実施例の振分け玉数受付け画面には、図４２（ａ）並びに図４２（ｈ）に示すように、振分けに使用可能な玉数が表示される振分け可能玉数表示部と、振分け玉数を入力するための振分け玉数入力部と、「決定」の選択入力部と、処理を中断するための「キャンセル」の選択入力部と、受付け中のカードが会員カードであるときに、貯玉数を持玉数に加算する際に操作される「貯玉利用」の選択入力部（図４２（ａ）の直接振分け非許諾時のみ）と、０～９までのテンキーと、「半分」、「１／４」、「端数」のキーから成る操作部とが設けられており、遊技者は、これらテンキーや、「半分」、「１／４」、「端数」の各キーを選択入力して、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力する。
【０４１７】
尚、「半分」キーを選択入力した場合には、振分け可能玉数表示部に表示されている持玉数或いは統合振分け可能玉数の半分の玉数（割り切れない場合の端数は切り捨て）が振分け玉数入力部に自動入力され、「１／４」キーを選択入力した場合には、持玉数或いは統合振分け可能玉数の１／４の玉数（割り切れない場合の端数は切り捨て）が振分け玉数入力部に自動入力され、「端数」キーを選択入力した場合には、持玉数或いは統合振分け可能玉数の１０００玉未満の端数の玉数が振分け玉数入力部に自動入力される。
【０４１８】
また、振分け玉数受付け画面において「貯玉利用」の選択入力部が選択入力された場合には、該「貯玉利用」の選択入力がＳｆ３のステップにおいて検知されてＳｆ２１に進むことで、前述したように、受付け中のカードが会員カードであって、直接振分けの許諾が設定されていないことを条件に、貯玉数を持玉数に加算する持玉数加算処理（Ｓｆ２３）が実施されることにより、振分けに使用できる持玉数を、簡便かつ迅速に増やすことができるようになっている。
【０４１９】

また、遊技者が、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力した後に、「決定」の選択入力部を選択入力した場合には、該「決定」の選択入力に応じてＳｆ４のステップにおいて、該振分け玉数入力部にて受付けた振分け玉数が、持玉数以下であるか否かを判定し、持玉数以下でない場合、つまり、受付けた振分け玉数に対して持玉数が不足している場合には、後述するＳｆ２５～Ｓｆ２９のステップの処理を実施する一方、持玉数以下である場合には、Ｓｆ５のステップに進み、図３８（ａ）に示すように、管理コンピュータ１５０に対して、当該カードユニット３の装置ＩＤと、受付け中のカードの（会員）カードＩＤと、振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数と、カードテーブルに記憶されているその時点の持玉数とを含む振分け許諾要求を送信する。

【０４２０】

この振分け許諾要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信した振分け許諾要求に含まれる持玉数とを比較し、双方が一致しないときには、会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルの持玉数、並びにユニット管理テーブルにおける受信した装置ＩＤに対応する持玉数を、受信した振分け許諾要求に含まれる持玉数に更新する。

【０４２１】

そして、前述した振分け設定画面（図２４（ａ）参照）において、振分け総数制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け総数制限に「する」が設定されている場合には、振分け設定画面において集計対象期間として設定されている期間、例えば１日において当該遊技場において振分けされたパチンコ玉の振分け総数（全体）を、振分け履歴テーブルにおいて、その当日の日付を含む全ての振分け履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数を合計することにより特定する。尚、本実施例では、これら振分け総数（全体）の集計を、振分け許諾要求の受信時に実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの集計を事前に実施しておくようにしても良い。

【０４２２】

そして、該特定した振分け総数（全体）に、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け持玉数）を加算した後の振分け総数（全体）が、振分け設定画面において振分け総数制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０４２３】

更に、前述した振分け設定画面において、振分け元上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け元上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け元カードとなる受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードＩＤから特定されるカードから振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け元）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードＩＤを含む全ての振分け履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数を合計することにより特定する。

【０４２４】

尚、これら振分け総数（振分け元）を集計する場合において、カードＩＤがビジターカードのＩＤである場合には、該カードＩＤに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時から、該ビジターカードが最後に発行された日時を特定し、該特定した最後に発行された日時以降の日時情報を含む振分け履歴のみを集計対象とするようになっており、このようにすることで、繰返し利用されるビジターカードが最後に発行された遊技者から振分けされた振分け総数（振分け元）を正確に特定するようになっている。

【０４２５】

そして、該特定した振分け総数（振分け元）に、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け持玉数）を加算した後の振分け総数（振分け元）が、振分け設定画面において振分け元上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０４２６】
これら判定において、いずれかの制限数を超えている場合には、受信した振分け許諾要求に含まれるカードＩＤを含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算する前の振分け総数（全体）と制限数との差数（全体）と、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算する前の振分け総数（振分け元）と制限数との差数（振分け元）とをそれぞれ算出し、これら差数が共に正の値であるときに、これら差数の内の少ない方の差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信する。
【０４２７】
一方、振分け総数制限並びに振分け元上限制限に、共に「しない」が設定されている場合、振分け総数制限および／または振分け元上限制限に「する」が設定されている場合であって、制限数を超えていないと判定した場合には、受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードＩＤを含む振分け許諾を返信する。
【０４２８】
制御ユニット３２８は、管理コンピュータ１５０からの返信が、振分け許諾であるか否かをＳｆ６のステップにて判定し、振分け不可である場合には、Ｓｆ６のステップにて「Ｎｏ」と判定されてＳｆ２４のステップに進んで制限玉数エラー画面表示を実施することにより、表示部３１２には、図４２（ｆ）に示すように、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、Ｓｆ２のステップに戻る。
【０４２９】
尚、この際、Ｓｆ２の振分け玉数受付け処理において表示部３１２に表示される振分け玉数受付け画面においては、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数が振分け可能玉数表示部に表示されるようになっており、遊技者は、これら振分け可能玉数を振分け玉数受付け画面上において把握することができるので、該振分け可能玉数をＳｆ２のステップにおいて再度、振分け玉数として入力することで、繰返し、制限玉数エラーとなってしまうことを回避できる。
【０４３０】
一方、管理コンピュータ１５０からの返信が振分け許諾である場合には、Ｓｆ６のステップにて「Ｙｅｓ」と判定されてＳｆ７のステップに進み、カード挿入可能化指示をカードリーダライタ３２７に出力することで、カード挿入口３０９への新たなカードの挿入を許可するとともに、図４２（ｂ）に示すように、振分け玉数の表示部と、振分け先のカードの挿入を促すメッセージの表示部と、振分け先のカードが無い場合におけるビジターカードの新規発行の操作を受付ける新規発行選択入力部を有する新規発行受付け画面を表示部３１２に表示した後、Ｓｆ８のステップとＳｆ９のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力が有るか、カード挿入口３０９への新たなカードの挿入が有るかを監視する。
【０４３１】
振分け先となる遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していない場合には、新規発行選択入力部を選択入力すれば良く、該新規発行選択入力部が選択入力された場合には、該選択入力がＳｆ８のステップにおいて発行受付け有りと検知されてＳｆ１０のステップに進み、受付け中のカードが会員カードであるか否かを判定し、会員カードでない場合、つまり、受付け中のカードがビジターカードである場合には、Ｓｆ１１に進んでビジター用発行振分け処理を実施する一方、受付け中のカードが会員カードである場合には、Ｓｆ１２に進んで会員用発行振分け処理を実施する。
【０４３２】
Ｓｆ１１のビジター用発行振分け処理において制御ユニット３２８は、まず、受付け中のビジターカードを、カードリーダライタ３２７のカード挿入口３０９側の待避位置に待避させて保持するとともに、カードリーダライタ３２７内の所定の読み出し位置に、カード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカード

ＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。

【０４３３】

そして、該読み出したカードＩＤ（新）と、カードテーブルに記憶されている待避位置に待避させたビジターカードのカードＩＤ（旧）と振分け持玉数と、当該カードユニット３の装置ＩＤを含む発行振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０４３４】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行振分け要求にビジターカードのカードＩＤ（新）とカードＩＤ（旧）とが含まれる、つまり、２つのビジターカードのカードＩＤが含まれることにより、ビジターカードの交換が行われるビジター用発行振分け処理であると判定し、受信した発行振分け要求に含まれるカードＩＤ（旧）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と最新発行日時とを特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、該減算更新後の持玉数と特定した最新発行日時とを、受信した発行振分け要求に含まれるカードＩＤ（新）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と最新発行日時に記憶し、カードＩＤ（旧）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「０」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

【０４３５】

さらに、ユニット管理テーブルにおいて受信した発行振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「受付けＩＤ」のデータにカードＩＤ（新）を更新記憶するとともに、「持玉数」のデータに振分け持玉数が減算された持玉数を更新記憶する。

【０４３６】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（旧）と、振分け元のカードとしてカードＩＤ（新）と、発行を示す「１」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯玉数、手数料玉数には無しを示す「－」を含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

【０４３７】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数から振分け持玉数を減算更新するとともに、一時記憶しているカードＩＤ（新）と、カードテーブルに記憶されているカードＩＤ（旧）とプリペイド残額とを含むカード交換要求をシステムコントローラ１００に送信する。

【０４３８】

このカード交換要求の受信に応じてシステムコントローラ１００は、ビジターカードテーブルにカードＩＤ（旧）に対応付けて記憶されているプリペイド残額と最新発行日時とを特定し、該特定したプリペイド残額が受信したプリペイド残額とが一致することを条件に、該特定したプリペイド残額と最新発行日時とを、受信した発行振分け要求に含まれるカードＩＤ（新）に対応するプリペイド残額と最新発行日時とに記憶し、対応する「状況」を「利用中」に更新するとともに、カードＩＤ（旧）に対応付けて記憶されているプリペイド残額を「０」に、最新発行日時にその時点の日時を更新記憶した後、カード交換完了通知を返信する。

【０４３９】

つまり、カード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを振分け元のカードとし、それまで受付けていたビジターカードを新たに発行して振分け先のカードとするために、データの対応付けの付け替えを実施する。

【０４４０】

このカード交換完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、一時記憶しているカードＩＤ（新）を、カードテーブルのカードＩＤに更新記憶するとともに、該カードＩＤ（新）のカードに対して、カードテーブルに記憶されているプリペイド残額と持玉数とを書き込み記憶した後、該カードＩＤ（新）のカードを、一旦、カード貯留部３７０に待避さ

せることで、カード挿入口３０９側の待機位置に保持しているカードＩＤ（旧）のビジターカードを所定の読み出し位置まで移動させ、プリペイド残額と持玉数とを「０」に更新するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新する。

【０４４１】

そして、これらの更新が完了した後、カードＩＤ（旧）のビジターカード、つまり、振分け操作の受付け時点において受付け中であったビジターカードをカード挿入口３０９から排出するとともに、カード貯留部３７０に待避させていたカードＩＤ（新）のカードを、所定の読み出し位置まで移動させ、表示部３１２に、図４２（ｃ）に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージを、該排出したビジターカードがカード挿入口３０９から取り出されるまで表示して、当該ビジター用発行振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０４４２】

このように、本実施例のビジター用発行振分け処理においては、振分け操作の受付け時点において受付け中であったビジターカードを振分け先のビジターカードとして発行するようにしているので、遊技者は、新たなビジターカードを発行するために、振分け操作の受付け時点において受付け中であったビジターカードを一度排出して、新たなビジターカードを発行させ、該発行の終了後に再度、ビジターカードを挿入する必要（手間）がなく、これらビジターカードの発行をスムーズに行うことができるとともに、一度排出したビジターカードが紛失されてしまうこともない。

【０４４３】

尚、これら発行されたビジターカードは、前述したように、他のカードユニット３に挿入することで、振分けされた振分け持玉数が持玉数に加算され、新たな持玉数として表示部３１２に表示されることで、該持玉数を、払出ボタン３１１を操作して払出すことができる。

【０４４４】

また、Ｓｆ１２の会員用発行振分け処理において制御ユニット３２８は、まず、受付け中の会員カードを、カードリーダライタ３２７のカード挿入口３０９側の待避位置に待避させて保持するとともに、カードリーダライタ３２７内の所定の読み出し位置に、カード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。

【０４４５】

そして、該読み出したカードＩＤと、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤと振分け持玉数と当該カードユニット３の装置ＩＤを含む発行振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０４４６】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行振分け要求にビジターカードのカードＩＤと会員カードＩＤとが含まれることにより、会員用発行振分け処理であると判定し、受信した発行振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新するとともに、受信した発行振分け要求に含まれるビジターカードのカードＩＤに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「０」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

【０４４７】

さらに、ユニット管理テーブルにおいて受信した発行振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「持玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【０４４８】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤと、振分け元のカードとして会員カードＩＤと、発行を示す「１」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯

玉数、手数料玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

【０４４９】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数から振分け持玉数を減算更新するとともに、一時記憶しているビジターカードのカードＩＤを含む振分け発行要求をシステムコントローラ１００に送信する。

【０４５０】

この振分け発行要求の受信に応じてシステムコントローラ１００は、受信した振分け発行要求に含まれるカードＩＤに対応付けてビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「０」を、最新発行日時にその時点の日時を、「状況」に「使用中」を更新記憶した後、振分け発行完了通知を返信する。

【０４５１】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「０」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新する。

【０４５２】

そして、システムコントローラ１００に対して、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤを含む使用留保要求を送信して、該会員カードの他のカードユニット３における利用を不可とした後、カード挿入口３０９側の待機位置に保持している会員カードを、カード挿入口３０９から排出するとともに、図４２（ｄ）に示すように、「返却された会員カードを取り出すと、振分け用のビジターカードが発行されます。」のメッセージを表示部３１２に表示して、排出した会員カードの取り出しを促す。

【０４５３】

このメッセージの表示に応じて会員遊技者が、自身の会員カードをカード挿入口３０９から取り出すと、該取り出しに応じてビジターカードが即座にカード挿入口３０９から排出されるとともに、図４２（ｃ）に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージが表示部３１２に表示される。

【０４５４】

会員遊技者は、カード挿入口３０９に排出されたビジターカードを取り出して振分けをする他の遊技者に手渡すとともに、自身の会員カードを再度カード挿入口３０９から挿入する。

【０４５５】

この会員カードの挿入に応じて制御ユニット３２８は、該再挿入された会員カードから読み出した会員カードＩＤが、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤに一致するか否かを判定し、一致しないときには該カードを返却してエラーを係員に報知するエラー報知状態に移行する一方、一致するときには該会員用発行振分け処理を終了する。

【０４５６】

一方、Ｓｆ８とＳｆ９のステップによる監視状態においてカード挿入口３０９への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入がＳｆ９のステップにおいて検知されてＳｆ１４のステップに進み、受付け中のカードを貯留部３７０に移動して待避させるとともに、新たに挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。

【０４５７】

新たに挿入されたカードが会員カードである場合にはＳｆ１５のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Ｓｆ１６にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードも会員カードである会員対会員振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Ｓｆ１７のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードが会員カードであるビジター対会員振分け処理を実施する。

【０４５８】
一方、新たに挿入されたカードがビジターカードである場合にはＳｆ１８のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Ｓｆ１９にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードがビジターカードである会員対ビジター振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Ｓｆ２０のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードもビジターカードであるビジター対ビジター振分け処理を実施する。
【０４５９】
本実施例のＳｆ１６の会員対会員振分け処理において制御ユニット３２８は、図３８（ｂ）に示すように、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、振分け持玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。
【０４６０】
この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。
【０４６１】
該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む全ての振分け履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数とを合計することにより特定する。
【０４６２】
そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。
【０４６３】
該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、Ｓｆ２のステップに戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。
【０４６４】
一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に対応付けて会

員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「持玉数」のデータを、振分け持玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【０４６５】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとして会員カードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯玉数並びに手数料玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【０４６６】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数から振分け持玉数を減算更新するとともに、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該会員対会員振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０４６７】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数が持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０４６８】

本実施例のＳｆ１７のビジター対会員振分け処理において制御ユニット３２８は、図３８（ｂ）に示すように、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元のビジターカードのカードＩＤ（振分け元）と、振分け持玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０４６９】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【０４７０】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む全ての振分け履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数とを合計することにより特定する。

【０４７１】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した振分け要求に含まれる振分け

持玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０４７２】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、Ｓｆ２のステップに戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

【０４７３】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「持玉数」のデータを、振分け持玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【０４７４】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとして会員カードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとしてカードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯玉数並びに手数料玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【０４７５】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数から振分け持玉数を減算更新するとともに、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元のビジターカードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０４７６】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数が持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０４７７】

本実施例のＳｆ１９の会員対ビジター振分け処理において制御ユニット３２８は、図３８（ｂ）に示すように、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、振分け持玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０４７８】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に

「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【０４７９】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む振分け履歴であって、該カードＩＤ（振分け先）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時以降の日時情報を含む振分け履歴の振分け持玉数を合計することにより特定する。

【０４８０】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０４８１】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、Ｓｆ２のステップに戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

【０４８２】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「持玉数」のデータを、振分け持玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【０４８３】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯玉数並びに手数料玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【０４８４】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数から振分け持玉数を減算更新するとともに、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセー

ジを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該会員対ビジター振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０４８５】

これら返却された振分け先のビジターカードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数が持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０４８６】

本実施例のＳｆ２０のビジター対ビジター振分け処理において制御ユニット３２８は、図３８（ｂ）に示すように、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元のビジターカードのカードＩＤ（振分け元）と、振分け持玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０４８７】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【０４８８】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）から特定されるビジターカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む振分け履歴であって、該カードＩＤ（振分け先）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時以降の日時情報を含む振分け履歴の振分け持玉数を合計することにより特定する。

【０４８９】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０４９０】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、Ｓｆ２のステップに戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

【０４９１】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）に対応付けてビジタ

ー貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「持玉数」のデータを、振分け持玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【０４９２】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとしてカードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯玉数並びに手数料玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【０４９３】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数から振分け持玉数を減算更新するとともに、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元のビジターカードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該ビジター対ビジター振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０４９４】

これら返却された振分け先のビジターカードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数が持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０４９５】

ここで、Ｓｆ４のステップにおける判定において、受付けた振分け玉数が持玉数以下でない場合、つまり、受付けた振分け玉数に対して持玉数が不足している場合において実施されるＳｆ２５～Ｓｆ２９のステップの処理について説明すると、これらの処理においては、まず、受付け中のカードが会員カードであるか否か（Ｓｆ２５）、貯玉数からの直接振分けの許諾が設定されているか否か（Ｓｆ２６）、並びに受付けた振分け玉数に対する持玉数の不足数と当該不足数の貯玉数を持玉数に変更する際に必要とされる手数料（本実施例では、上述した再プレイ手数料と同じ）の玉数（手数料玉数）との合計数以上の貯玉数を当該遊技者が所有しているか否か（Ｓｆ２７）を順次判定する。

【０４９６】

そして、これらＳｆ２５～Ｓｆ２７の各判定においていずれかが否（Ｎｏ）である場合には、Ｓｆ２９のステップに進んで、図４２（ｅ）の持玉数エラー画面を表示して持玉数が不足していることを遊技者に報知するとともに、該持玉数エラー画面の「確認」の選択入力部が、遊技者により選択入力されることに応じて、Ｓｆ２－のステップに戻ることにより、再度、振分け可能玉数が特定されて振分け玉数の受付けが実施される。尚、処理を終了させたい場合には、持玉数エラー画面において「キャンセル」を選択入力すれば良い。

【０４９７】

また、Ｓｆ２５～Ｓｆ２７の各ステップの判定が全てＹｅｓである場合には、Ｓｆ２８のステップに進み、不足分の玉数の振分けに貯玉数を使用して実施して良いかの確認を、図４１（ｃ）に示す確認受付け画面を表示部３１２に表示して遊技者から受付ける確認受付け処理を実施する。

【０４９８】

この確認受付け画面には、持玉数が不足している旨のメッセージと、不足している玉数と、該不足している玉数の振分けによって貯玉数から減算される減算玉数（不足数＋手数

料玉数）と、不足分の玉数の振分けに貯玉数を使用して実施して良いかを確認する確認メッセージを含むとともに、「ＯＫ」と「ＮＧ」の選択入力部が設けられており、遊技者は、不足分の玉数の振分けに貯玉数を使用して良い場合には「ＯＫ」の選択入力部を選択入力する一方、該不足分の玉数の振分けに貯玉数を使用したくない場合には「ＮＧ」の選択入力部を選択入力すれば良い。

【０４９９】

そして、確認受付け画面の「ＯＫ」と「ＮＧ」のいずれの選択入力部が選択入力されたかがＳｆ２８’のステップにおいて判定され、「ＮＧ」の選択入力部が選択入力された場合には、不足分貯玉利用ＮＧとしてＳｆ２－のステップに戻って、再度、振分け可能玉数が特定されて振分け玉数の受付けが実施される一方、「ＯＫ」の選択入力部が選択入力された場合には、不足分貯玉利用ＯＫとして図３７のＣであるＳｆ５０のステップに移行することで、不足分の振分け玉数が貯玉数から自動振分けされる。

【０５００】

このＳｆ５０のステップにおいては、まず、管理コンピュータ１５０に対して、当該カードユニット３の装置ＩＤと、受付け中の会員カードＩＤと、振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数と、カードテーブルに記憶されているその時点の持玉数とを含む統合振分け許諾要求を送信する（図３８（ａ）参照）。

【０５０１】

この統合振分け許諾要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した統合振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信した統合振分け許諾要求に含まれる持玉数とを比較し、双方が一致しないときには、会員貯蓄管理テーブルの持玉数、並びにユニット管理テーブルにおける受信した装置ＩＤに対応する持玉数を、受信した統合振分け許諾要求に含まれる持玉数に更新する。

【０５０２】

更に、受信した統合振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数と持玉数とを特定するとともに、受信した統合振分け許諾要求に含まれる振分け玉数から持玉数を減算した差数の玉数を不足玉数として特定し、貯玉数が該不足玉数並びに該不足玉数の貯玉数を持玉数に変更する際に必要とされる手数料玉数との合計数以上であることを確認する。尚、貯玉数が不足玉数と手数料玉数との合計数以上でない場合には、受信した統合玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む振分け不可を返信する。

【０５０３】

そして、前述した振分け設定画面（図２４（ａ）参照）において、振分け総数制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け総数制限に「する」が設定されている場合には、前述したように、集計対象期間として設定されている期間において当該遊技場において振分けされたパチンコ玉の振分け総数（全体）を特定して、該特定した振分け総数（全体）に、受信した統合振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け貯玉数）を加算した後の振分け総数（全体）が、振分け総数制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０５０４】

更に、前述した振分け設定画面において、振分け元上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け元上限制限に「する」が設定されている場合には、前述したように、集計対象期間として設定されている期間において、振分け元カードとなる受信した統合振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤから特定される会員カードから振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け元）を特定して、該特定した振分け総数（振分け元）に、受信した統合振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け貯玉数）を加算した後の振分け総数（振分け元）が、振分け設定画面において振分け元上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０５０５】

一方、振分け総数制限並びに振分け元上限制限に、共に「しない」が設定されている場合、振分け総数制限および／または振分け元上限制限に「する」が設定されている場合であって、制限数を超えていないと判定した場合には、受信した統合振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む振分け許諾を返信する。

【０５０６】

制御ユニット３２８は、管理コンピュータ１５０からの返信が、振分け許諾であるか否かをＳｆ５１のステップにて判定し、振分け不可である場合には「Ｎｏ」と判定されてＳｆ５９のステップに進んで、図４２（ｆ）に示す制限玉数エラー画面と同様に、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、図３５のＡであるＳｆ２１－のステップに戻る。

【０５０７】

尚、この際において表示部３１２に表示される振分け玉数受付け画面においては、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数が振分け可能玉数表示部に表示されるようになっており、遊技者は、これら振分け可能玉数を振分け玉数受付け画面上において把握することができるので、該振分け可能玉数をＳｆ３１のステップにおいて再度、振分け玉数として入力することで、繰返し、制限玉数エラーとなってしまうことを回避できる。

【０５０８】

一方、管理コンピュータ１５０からの返信が振分け許諾である場合には、Ｓｆ５１のステップにて「Ｙｅｓ」と判定されてＳｆ５２のステップに進み、カード挿入可能化指示をカードリーダライタ３２７に出力することで、カード挿入口３０９への新たなカードの挿入を許可するとともに、図４２（ｂ）に示す、振分け先のカードの挿入を促すメッセージの表示部と振分け先のカードが無い場合におけるビジターカードの新規発行の操作を受付ける新規発行選択入力部を有する新規発行受付け画面を表示部３１２に表示した後、Ｓｆ５３のステップとＳｆ５４のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力が有るか、カード挿入口３０９への新たなカードの挿入が有るかを監視する。

【０５０９】

振分け先となる遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していないことにより、新規発行選択入力部が選択入力された場合には、該選択入力がＳｆ５４のステップにおいて発行受付け有りと検知されてＳｆ５８のステップに進んで、ビジターカードの発行を伴う発行不足自動振分け処理を実施する。

【０５１０】

この発行不足自動振分け処理において制御ユニット３２８は、まず、受付け中の会員カードを、カードリーダライタ３２７のカード挿入口３０９側の待避位置に待避させて保持するとともに、カードリーダライタ３２７内の所定の読み出し位置に、カード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。

【０５１１】

そして、カードテーブルの持玉数を振分け持玉数とするとともに、受付けた振分け玉数と持玉数との差数である不足玉数を振分け貯玉数として特定し、上記にて読み出したカードＩＤと、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤと、該特定した振分け持玉数並びに振分け貯玉数と、当該カードユニット３の装置ＩＤを含む発行不足自動振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０５１２】

尚、本実施例では、管理コンピュータ１５０における処理負荷や通信負荷の軽減を目的として、これら発行不足自動振分け要求に、振分け持玉数と振分け貯玉数の双方を含むことで、１つの振分け要求のみを管理コンピュータ１５０に送信するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分け持玉数を含む発行振分け要求と、後述する振分け貯玉数を含む発行直接振分け要求を個別に送信して、管理コンピュータ１５０において、これら持玉数からの該持玉数の振分け処理と、貯玉数からの不足玉数との振

分け処理とを個別に実施するようにしても良いことは言うまでもない。

【０５１３】

この発行不足自動振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と貯玉数とを特定し、該特定した持玉数から受信した発行不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新、つまり「０」とし、該特定した貯玉数から受信した発行不足自動振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新するとともに、受信した発行直接振分け要求に含まれる振分け先のカードとなるビジターカードのカードＩＤに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「０」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

【０５１４】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行不足自動振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてビジターカードのカードＩＤと、振分け元のカードとして会員カードＩＤと、発行を示す「１」と、振分け持玉数と、振分け貯玉数と、手数料玉数と、利用受付け無しを示す「０」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

【０５１５】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数を振分け持玉数を減算した玉数に、カードテーブルの貯玉数を振分け貯玉数と手数料玉数を減算した玉数に更新するとともに、一時記憶しているビジターカードのカードＩＤを含む振分け発行要求をシステムコントローラ１００に送信することで、システムコントローラ１００は、前述した振分け発行要求の受信時と同一の処理を実施して振分け発行完了通知を返信する。

【０５１６】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「０」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新する。

【０５１７】

そして、システムコントローラ１００に対して、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤを含む使用留保要求を送信して、該会員カードの他のカードユニット３における利用を不可とした後、カード挿入口３０９側の待機位置に保持している会員カードを、カード挿入口３０９から排出して一時返却するとともに、図４２（ｄ）に示すように、「返却された会員カードを取り出すと、振分け用のビジターカードが発行されます。」のメッセージを表示部３１２に表示して、排出した会員カードの取り出しを促す。

【０５１８】

このメッセージの表示に応じて会員遊技者が、自身の会員カードをカード挿入口３０９から取り出すと、該取り出しに応じてビジターカードが即座にカード挿入口３０９から排出されるとともに、図４２（ｃ）に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージが表示部３１２に表示される。

【０５１９】

会員遊技者は、カード挿入口３０９に排出されたビジターカードを取り出して振分けをする他の遊技者に手渡すとともに、自身の会員カードをカード挿入口３０９から再度挿入する。

【０５２０】

この会員カードの挿入に応じて制御ユニット３２８は、該再挿入された会員カードから読み出した会員カードＩＤが、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤに一致するか否かを判定し、一致しないときには該カードを返却してエラーを係員に報知するエラー報知状態に移行する一方、一致するときには該発行不足自動振分け処理を終了する。

【０５２１】

一方、Ｓｆ５３とＳｆ５４のステップによる監視状態においてカード挿入口３０９への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入がＳｆ５３のステップにおいて検知されてＳｆ５５のステップに進み、受付け中の会員カードを貯留部３７０に移動して待避させるとともに、新たに挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。

【０５２２】

新たに挿入されたカードが会員カードである場合にはＳｆ５６のステップに進んで会員不足自動振分け処理を実施する一方、新たに挿入されたカードが会員カードでない場合には、Ｓｆ５７のステップに進んでビジター不足自動振分け処理を実施する。

【０５２３】

本実施例のＳｆ５６の会員不足自動振分け処理において制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数を振分け持玉数とするとともに、受付けた振分け玉数と持玉数との差数である不足玉数を振分け貯玉数として特定し、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、該特定した振分け持玉数並びに振分け貯玉数とを含む会員不足自動振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。尚、前述した発行不足自動振分け要求と同じく、これら会員不足自動振分け要求を、振分け持玉数を含む振分け要求と、振分け貯玉数を含む後述する会員直接振分け要求として個別に送信するようにしても良い。

【０５２４】

この会員不足自動振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【０５２５】

該検索により存在する場合には、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間において、振分け先カードとなる受信した会員不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）から特定される会員カードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、前述した会員対会員振分け処理における振分け要求の受信時と同じく特定する。

【０５２６】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数と振分け貯玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０５２７】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数と振分け貯玉数とを加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、図３５のＡ（Ｓｆ２－のステップ）に戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを

受けることができる。

【０５２８】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と貯玉数とを特定し、該特定した持玉数から受信した会員不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新、つまり「０」とし、該特定した貯玉数から受信した会員不足自動振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新する。

【０５２９】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとして会員カードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け持玉数と、振分け貯玉数と、手数料玉数と、利用受付け無しを示す「０」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、振分け完了通知を返信する。

【０５３０】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数を振分け持玉数を減算した玉数に、カードテーブルの貯玉数を振分け貯玉数と手数料玉数を減算した玉数に更新するとともに、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該会員不足自動振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０５３１】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数と振分け貯玉数とが持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０５３２】

次に、Ｓｆ５７のビジター不足自動振分け処理について説明すると、本実施例のＳｆ５７のビジター不足自動振分け処理において制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数を振分け持玉数とするとともに、受付けた振分け玉数と持玉数との差数である不足玉数を振分け貯玉数として特定し、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、該特定した振分け持玉数並びに振分け貯玉数とを含むビジター不足自動振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。尚、前述した発行不足自動振分け要求と同じく、これらビジターカード不足自動振分け要求を、振分け持玉数を含む振分け要求と、振分け貯玉数を含む後述するビジター直接振分け要求として個別に送信するようにしても良い。

【０５３３】

このビジター不足自動振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【０５３４】

該検索により存在する場合には、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定

画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間において、振分け先カードとなる受信したビジター不足自動振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）から特定されるビジターカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、前述した会員対ビジター振分け処理における振分け要求の受信時と同じく特定する。

【０５３５】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数と振分け貯玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０５３６】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数と振分け貯玉数とを加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、図３５のＡ（Ｓｆ２－のステップ）に戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

【０５３７】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と貯玉数とを特定し、該特定した持玉数から受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新、つまり「０」とし、更に、特定した貯玉数から受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新する。

【０５３８】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け持玉数と、振分け貯玉数と、手数料玉数と、利用受付け無しを示す「０」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、振分け完了通知を返信する。

【０５３９】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの持玉数を振分け持玉数を減算した玉数に、カードテーブルの貯玉数を振分け貯玉数と手数料玉数を減算した玉数に更新するとともに、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該ビジター不足自動振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０５４０】

これら返却された振分け先のビジターカードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数と振分け貯玉数とが持玉数に加

算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０５４１】

次に、図３４のＳ８のステップまたは図３５のＳｆ２１＋のステップから移行する、図３６に示すＳｆ３０～Ｓｆ４１のステップから成る、貯玉数からの振分けが実施される処理について以下に説明する。

【０５４２】

まず、Ｓｆ３０のステップでは、振分け可能玉数を特定する。具体的には、これらＳｆ３０のステップが実施される場合は、必ず、貯玉数からの直接振分けの許諾が設定されていて、会員カードを受付け中であるので、貯玉数から貯玉数への振分けを実施する際の対貯玉振分け可能玉数となる貯玉数と、貯玉数から持玉数への振分けを実施する際の対持玉振分け可能玉数となる、貯玉数の全てを持玉数に振分けた場合において徴収される手数料玉数を該貯玉数から減じた玉数とを特定する。

【０５４３】

そして、Ｓｆ３１のステップに進み、図４１（ｄ）に示すように、Ｓｆ３０の振分け可能玉数特定処理にて特定した対貯玉振分け可能玉数並びに対持玉振分け可能玉数を含む振分け玉数受付け画面を表示部３１２に表示して、振分け先に振分ける玉数（振分け玉数）を遊技者から受付ける振分け玉数受付け処理を実施する。

【０５４４】

この振分け玉数受付け画面には、図４１（ｄ）に示すように、前述した図４２（ａ）並びに図４２（ｈ）に示す振分け玉数受付け画面と同様とされ、対貯玉振分け可能玉数並びに対持玉振分け可能玉数が表示される振分け可能玉数表示部と、振分け玉数を入力するための振分け玉数入力部と、「決定」の選択入力部と、処理を中断するための「キャンセル」の選択入力部と、０～９までのテンキーと、「半分」、「１／４」、「端数」のキーから成る操作部とが設けられており、遊技者は、これらテンキーにて、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力する。尚、図４１（ｄ）に示す振分け玉数受付け画面においては、振分け可能玉数表示部に表示される玉数が複数種類であるので、「半分」、「１／４」、「端数」の各キーは非アクティブ状態とされ、これらの各キーの選択入力が不可とされている。

【０５４５】

遊技者が、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力した後に、「決定」の選択入力部を選択入力した場合には、該「決定」の選択入力に応じてＳｆ３２のステップにおいて、該振分け玉数入力部にて受付けた振分け玉数が、貯玉数以下であるか否かを判定し、貯玉数以下でない場合には、Ｓｆ４５のステップに進んで、前述した図４２（ｅ）に示す持玉数エラー画面と同様の貯玉数エラー画面を表示して、貯玉数が不足していることを遊技者に報知するとともに、該貯玉数エラー画面の「確認」の選択入力部が、遊技者により選択入力されることに応じて、Ｓｆ３１のステップに戻ることにより、再度、振分け玉数の受付けが実施される。尚、処理を終了させたい場合には、貯玉数エラー画面において「キャンセル」を選択入力すれば良い。

【０５４６】

一方、Ｓｆ３２のステップの判定において、該振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数が、貯玉数以下である場合には、Ｓｆ３３のステップに進み、管理コンピュータ１５０に対して、当該カードユニット３の装置ＩＤと、受付け中の会員カードＩＤと、振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数とを含む貯玉振分け許諾要求を送信する（図３８（ａ）参照）。

【０５４７】

この貯玉振分け許諾要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数と、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる振分け玉数とを比較し、貯玉数が振分け玉数以上であることを確認する。尚、貯玉数が振分け玉数以上でない場合には、受信

した貯玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む振分け不可を返信する。

【０５４８】

そして、前述した振分け設定画面（図２４（ａ）参照）において、振分け総数制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け総数制限に「する」が設定されている場合には、前述したように、集計対象期間として設定されている期間に該当する振分け履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数を合計することにより、該期間において当該遊技場において振分けされたパチンコ玉の振分け総数（全体）を特定して、該特定した振分け総数（全体）に、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け貯玉数）を加算した後の振分け総数（全体）が、振分け総数制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０５４９】

更に、前述した振分け設定画面において、振分け元上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け元上限制限に「する」が設定されている場合には、前述したように、集計対象期間として設定されている期間において、振分け元カードとなる受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤから特定される会員カードから振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け元）を、該期間に該当する日付を含むとともに受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む全ての振分け履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数を合計することにより特定して、該特定した振分け総数（振分け元）に、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け貯玉数）を加算した後の振分け総数（振分け元）が、振分け設定画面において振分け元上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０５５０】

これら判定において、いずれかの制限数を超えている場合には、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け貯玉数）を加算する前の振分け総数（全体）と制限数との差数（全体）と、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる振分け玉数（振分け貯玉数）を加算する前の振分け総数（振分け元）と制限数との差数（振分け元）とをそれぞれ算出し、これら差数が共に正の値であるときに、これら差数の内の少ない方の差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信する。

【０５５１】

一方、振分け総数制限並びに振分け元上限制限に、共に「しない」が設定されている場合、振分け総数制限および／または振分け元上限制限に「する」が設定されている場合であって、制限数を超えていないと判定した場合には、受信した貯玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む振分け許諾を返信する。

【０５５２】

制御ユニット３２８は、管理コンピュータ１５０からの返信が、振分け許諾であるか否かをＳｆ３４のステップにて判定し、振分け不可である場合には「Ｎｏ」と判定されてＳｆ４３のステップに進んで、図４２（ｆ）に示す制限玉数エラー画面と同様に、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、Ｓｆ３１のステップに戻る。

【０５５３】

尚、この際において表示部３１２に表示される振分け玉数受付け画面においては、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数が振分け可能玉数表示部に表示されるようになっており、遊技者は、これら振分け可能玉数を振分け玉数受付け画面上において把握することができるので、該振分け可能玉数をＳｆ３１のステップにおいて再度、振分け玉数として入力することで、繰返し、制限玉数エラーとなってしまうことを回避できる。

【０５５４】

一方、管理コンピュータ１５０からの返信が振分け許諾である場合には、Ｓｆ３４のステップにて「Ｙｅｓ」と判定されてＳｆ３５のステップに進み、カード挿入可能化指示を

カードリーダライタ３２７に出力することで、カード挿入口３０９への新たなカードの挿入を許可するとともに、図４２（ｂ）に示す、振分け先のカードの挿入を促すメッセージの表示部と振分け先のカードが無い場合におけるビジターカードの新規発行の操作を受付ける新規発行選択入力部を有する新規発行受付け画面を表示部３１２に表示した後、Ｓｆ３６のステップとＳｆ３７のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力が有るか、カード挿入口３０９への新たなカードの挿入が有るかを監視する。

【０５５５】

振分け先となる遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していないことにより、新規発行選択入力部が選択入力された場合には、該選択入力がＳｆ３７のステップにおいて発行受付け有りと検知されてＳｆ４０のステップに進み、貯玉数が、受付けた振分け玉数（振分け貯玉数）と該振分け玉数（振分け貯玉数）を持玉数に振分けた場合において徴収される手数料玉数との合計数以上であるか否かを判定する。

【０５５６】

そして、合計数以上である場合にはＳｆ４２のステップに進み、発行直接振分け処理を実施する一方、合計数以上でない場合には、Ｓｆ３１のステップに戻って、再度、振分け玉数（振分け貯玉数）の受付けを実施する。尚、この際において表示部３１２に表示される振分け玉数受付け画面においては、対持玉振分け可能玉数のみが振分け可能玉数表示部に表示されるようになっており、遊技者は、これら対持玉振分け可能玉数の範囲内の玉数を、振分け玉数として的確に入力することができる。

【０５５７】

この発行直接振分け処理において制御ユニット３２８は、まず、受付け中の会員カードを、カードリーダライタ３２７のカード挿入口３０９側の待避位置に待避させて保持するとともに、カードリーダライタ３２７内の所定の読み出し位置に、カード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。

【０５５８】

そして、該読み出したカードＩＤと、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤと振分け貯玉数と当該カードユニット３の装置ＩＤを含む発行直接振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０５５９】

この発行直接振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数を特定し、該特定した貯玉数から受信した発行直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新するとともに、受信した発行直接振分け要求に含まれる振分け先のカードとなるビジターカードのカードＩＤに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「０」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

【０５６０】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行直接振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてビジターカードのカードＩＤと、振分け元のカードとして会員カードＩＤと、発行を示す「１」と、振分け貯玉数と、手数料玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け持玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行直接振分け完了通知を返信する。

【０５６１】

この発行直接振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの貯玉数を振分け貯玉数と手数料玉数を減算した玉数に更新するとともに、一時記憶しているビジターカードのカードＩＤを含む振分け発行要求をシステムコントローラ１００に送信することで、システムコントローラ１００は、前述した振分け発行要求の受信時と同一の処理を実施して振分け発行完了通知を返信する。

【０５６２】
この振分け発行完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「０」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新する。
【０５６３】
そして、システムコントローラ１００に対して、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤを含む使用留保要求を送信して、該会員カードの他のカードユニット３における利用を不可とした後、カード挿入口３０９側の待機位置に保持している会員カードを、カード挿入口３０９から排出して一時返却するとともに、図４２（ｄ）に示すように、「返却された会員カードを取り出すと、振分け用のビジターカードが発行されます。」のメッセージを表示部３１２に表示して、排出した会員カードの取り出しを促す。
【０５６４】
このメッセージの表示に応じて会員遊技者が、自身の会員カードをカード挿入口３０９から取り出すと、該取り出しに応じてビジターカードが即座にカード挿入口３０９から排出されるとともに、図４２（ｃ）に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージが表示部３１２に表示される。
【０５６５】
会員遊技者は、カード挿入口３０９に排出されたビジターカードを取り出して振分けをする他の遊技者に手渡すとともに、自身の会員カードを再度カード挿入口３０９から挿入する。
【０５６６】
この会員カードの挿入に応じて制御ユニット３２８は、該再挿入された会員カードから読み出した会員カードＩＤが、カードテーブルに記憶されている会員カードＩＤに一致するか否かを判定し、一致しないときには該カードを返却してエラーを係員に報知するエラー報知状態に移行する一方、一致するときには該発行直接振分け処理を終了する。
【０５６７】
一方、Ｓｆ３６とＳｆ３７のステップによる監視状態においてカード挿入口３０９への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入がＳｆ３６のステップにおいて検知されてＳｆ３８のステップに進み、受付け中のカードを貯留部３７０に移動して待避させるとともに、新たに挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。
【０５６８】
新たに挿入されたカードが会員カードである場合にはＳｆ３９のステップに進んで、会員直接振分け処理を実施する一方、新たに挿入されたカードが会員カードでない場合には、Ｓｆ４０のステップに進み、貯玉数が、受付けた振分け玉数（振分け貯玉数）と該振分け玉数（振分け貯玉数）を持玉数に振分けた場合において徴収される手数料玉数との合計数以上であるか否かを判定する。
【０５６９】
そして、合計数以上である場合にはＳｆ４１のステップに進んで、ビジター直接振分け処理を実施する一方、合計数以上でない場合には、Ｓｆ３１のステップに戻って、再度、振分け玉数（振分け貯玉数）の受付けを実施する。
【０５７０】
本実施例のＳｆ３９の会員直接振分け処理において制御ユニット３２８は、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、振分け貯玉数とを含む会員直接振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。
【０５７１】
この会員直接振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分

け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【０５７２】

該検索により存在する場合には、受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け先カードとなる受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）から特定される会員カードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む全ての振分け履歴の振分け持玉数並びに振分け貯玉数とを合計することにより特定する。

【０５７３】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した会員直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【０５７４】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した会員直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数を加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、Ｓｆ３１のステップに戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に貯玉数からの直接振分けを受けることができる。

【０５７５】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数を特定し、該特定した貯玉数から受信した会員直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数を減算更新する。

【０５７６】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した会員直接振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとして会員カードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け貯玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け持玉数並びに手数料玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む会員直接振分け完了通知を返信する。

【０５７７】

この会員直接振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの貯玉数を振分け貯玉数を減算した玉数に更新するとともに、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該会員直接振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０５７８】
これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け貯玉数が貯玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。
【０５７９】
次に、Ｓｆ４１のビジター直接振分け処理について説明すると、本実施例のＳｆ４１のビジター直接振分け処理において制御ユニット３２８は、前述したＳｆ１９の会員対ビジター振分け処理と同じく、当該カードユニット３の装置ＩＤと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、振分け貯玉数とを含むビジター直接振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。
【０５８０】
このビジター直接振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信したビジター直接振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「０」である振分け履歴が存在するかを検索する。
【０５８１】
該検索により存在する場合には、受信したビジター直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け先カードとなる受信したビジター直接振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）から特定されるビジターカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信したビジター直接振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む振分け履歴であって、該カードＩＤ（振分け先）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時以降の日時情報を含む振分け履歴の振分け持玉数を合計することにより特定する。
【０５８２】
そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信したビジター直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。
【０５８３】
該判定において、制限数を超えている場合には、受信したビジター直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信したビジター直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数を加算する前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図４２（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、Ｓｆ３１のステップに戻って、振分け可能玉数表示部に該返信されてきた振分け不可に含まれる振分け可能数を有する振分け玉数受付け画面が表示部３１２に表示され、該振分け玉数受付け画面において、再度、該表示されている振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に貯玉数からの直接振分けを受けることができる。
【０５８４】
一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信したビジター直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に

対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数を特定し、該特定した貯玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新する。

【０５８５】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信したビジター直接振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け貯玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、手数料玉数と、振分け持玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信したビジター直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含むビジター直接振分け完了通知を返信する。

【０５８６】

このビジター直接振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、カードテーブルの貯玉数から振分け貯玉数と手数料玉数とを減算更新するとともに、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時待避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図４２（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該会員対ビジター振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Ｓ１にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

【０５８７】

これら返却された振分け先のビジターカードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け貯玉数が持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０５８８】

また、前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、遊技者がメニューボタン３１６の操作を実施した場合には、該メニューボタン３１６の操作を検知した表示制御基板３２９からメインメニュー表示操作情報が制御ユニット３２８に入力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ１３においてメニューボタン３１６の操作有りと判断してＳｂ３１に進み、図示しないメニュー表示処理を実施する。

【０５８９】

このメニュー表示処理において制御ユニット３２８は、まず、カードテーブルに記憶されているデータに基づいて、対応するパチンコ機２で遊技中の遊技者が会員であるか否か（会員ＩＤが記憶されているか否か）を判定し、遊技者が会員でない場合（会員ＩＤが記憶されていない場合）には、会員固有のメニュー項目を含まない「台データ」、「ランキング」、「島出玉状況」、「お知らせ」、「振分け」の各メニュー項目のみを含むビジターメインメニュー（図５参照）を、ビジターメインメニュー表示指示を表示制御基板３２９に出力することにより、表示部３１２に表示させる一方、遊技者が会員である場合には、会員固有のメニュー項目である「ポイント表示」、「再プレイ」のメニュー項目とをさらに含む、図５に示す会員メインメニューを、会員メインメニュー表示指示を表示制御基板３２９に出力することにより表示部３１２に表示させる。

【０５９０】

これら表示部３１２に表示された各メニュー項目は、遊技者が選択操作可能とされており、所定時間内にいずれかのメニュー項目が選択されない場合には、メニュー表示終了指示を表示制御基板３２９に出力することでメインメニューの表示を終了させた後、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る一方、所定時間内にいずれかのメニュー項目が選択された場合には、該選択されたメニュー項目に該当する処理を実行した後、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０５９１】

尚、メインメニュー中の「再プレイ」メニューが選択された場合には、前述したＳｂ２

４の再プレイ処理が実行される。

【０５９２】

また、「台データ」のメニューが選択された場合には、台データボタン３１８が操作された場合と同じく、遊技情報テーブルに記憶されている本日の各データが表示され、「ランキング」のメニューが選択された場合には、ランキングの種別、具体的には、出玉ランキング、大当りランキング、連荘ランキング等を選択するサブメニュー画面が表示され、該サブメニュー画面にて選択された種別のランキングデータがホールコンピュータ１４０から取得されて表示部３１２に表示される。

【０５９３】

また、「ポイント表示」のメニューが選択された場合には、カードテーブルに記憶されている来店ポイントのポイント数（来店ポイントの記憶がない場合には、来店ポイント取得要求を管理コンピュータ１５０に対して送信することにより、該管理コンピュータ１５０から来店ポイント数を取得する）が表示部３１２に表示され、「お知らせ」のメニューが選択された場合には、ＲＡＭ３２８ｂ内に記憶されているお知らせ情報が表示部３１２に表示される。

【０５９４】

また、図４８（ａ）に示すように、「島出玉状況」のメニューが選択された場合には、該カードユニット３が設置されている遊技島の同一側面に設けられている各カードユニット３における当台獲得玉数が、カード受付け中画面と同様に玉箱表示態様にて表示される島出玉状況画面が表示される。

【０５９５】

この島出玉状況画面が表示される流れとしては、「島出玉状況」のメニューが選択されたことに応じて、制御ユニット３２８は、ＥＥＰＲＯＭ３２８ｃに記憶されている同じ遊技島の同一側面に設けられている各カードユニット３の装置ＩＤ及び台番号の情報に基づき、各カードユニット３に対して、順次、自台持玉数データ要求を送信して、各カードユニット３から自台持玉数（当台獲得玉数）を取得する。

【０５９６】

このように、本実施例では、自台持玉数（当台獲得玉数）は、各カードユニット３に対する持玉表示設定の内容や遊技者の遊技履歴の内容等によって持玉数と必ずしも同一とはならないことから、これら自台持玉数（当台獲得玉数）を、同じ遊技島の同一側面に設けられている他のカードユニット３から直接取得するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら自台持玉数データ要求を管理コンピュータ１５０に送信することで、該自台持玉数データ要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０が、自台持玉数データ要求の送信元のカードユニット３が設置されている遊技島の同一側面に設けられている他の全てのカードユニット３から、自台持玉数（当台獲得玉数）を取得し、該取得した自台持玉数（当台獲得玉数）を自台持玉数データ要求の送信元のカードユニット３に対して送信するようにしても良い。

【０５９７】

このようにして他のカードユニット３から取得した自台持玉数（当台獲得玉数）は、台番号に対応付けて一時記憶するとともに、それぞれの自台持玉数（当台獲得玉数）が該当する玉箱表示数と端数とを特定して、これら特定した玉箱表示数と端数とが該当する台番号に対応付けられた図４８（ｂ）の島出玉状況画面を生成して、表示部３１２に表示する。

【０５９８】

このようにすることで、同一の遊技島で遊技している他の遊技者の出玉状況を、離席して玉積み表示ユニット４０１の表示状態等を確認することなく、その場において容易に把握することができる。

【０５９９】

尚、本実施例の島出玉状況画面においては、自台の台番号は反転表示されることにより、他の台と容易に判別することができる。

【０６００】
次に、本実施例の振分け装置５の動作について図４３を用いて以下に説明する。本実施例の振分け装置５は、前述したカードユニット３において振分け操作が実施された際に実施される図３４に示す振分け処理と同様の処理を行うものであり、その特徴としては、カードユニット３と異なり、パチンコ機２間に設置されていないので、その横幅を大きく取ることができることから、前述したように、左右に配置された２つのカード挿入口を有していて、振分け元のカードと、振分け先のカードとを個別のカード挿入口にて受付けすることができるようになっている。
【０６０１】
通常において、振分け装置５の表示装置５０１には、図４３（ａ）に示すように、カードを挿入して下さいのメッセージが表示されているとともに、装置に向かって左の第１カード挿入口５０４に対応する第１挿入口ＬＥＤ５０６が点滅点灯されることで、該第１カード挿入口５０４への振分け元のカードの挿入を促すようになっている。
【０６０２】
振分けを実施したい遊技者は、自身が所持しているビジターカード或いは会員カードを第１カード挿入口５０４に挿入する。
【０６０３】
このカード挿入に応じて、該挿入されたカードに記憶されている（会員）カードＩＤや持玉数等の情報が該第１カード挿入口５０４に対応する第１カードリーダライタ５０８により読み出されて制御部５１０に出力される。
【０６０４】
この出力を受けて制御部５１０は、挿入されたカードから読み出した情報を図示しないＲＡＭの所定の記憶領域に記憶するとともに、挿入されたカードの（会員）カードＩＤ、持玉数（ビジターカードのみ）、当該振分け装置の装置ＩＤとを含むカード受付け通知を管理コンピュータ１５０に送信する。
【０６０５】
このカード受付け通知の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、まず、受信したカード受付け通知に持玉数が含まれるか否かを判定し、含まれている場合には、該持玉数を照合する照合処理を行う。
【０６０６】
具体的には、受信したカード受付け通知に含まれるカードＩＤに対応してビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数とが一致するか否かを判定する。
【０６０７】
該照合判定において一致しない場合には、受信したカード受付け通知の送信元の振分け装置５に対し、持玉数の照合がＮＧである旨の照合エラー情報を返信することで、該振分け装置５において該ビジターカードが返却される。
【０６０８】
一方、該照合判定において一致する場合には受付け処理完了通知を返信するとともに、受信したカード受付け通知に持玉数が含まれていない場合、つまり、挿入されたカードが会員カードである場合には、受信したカード受付け通知に含まれる会員カードＩＤに対応する持玉数、貯玉数を、会員貯蓄管理テーブルにおいて該会員カードＩＤに対応して記憶されている各データから特定するとともに、該会員カードＩＤに対応して会員情報テーブルに記憶されている暗証番号を更に特定し、これら特定した持玉数、貯玉数、暗証番号と、会員カードＩＤとを含む受付け処理完了通知を、受信したカード受付け通知の送信元の振分け装置５に対して返信する。
【０６０９】
この受付け処理完了通知の受信に応じて制御部５１０は、カードから読み出したカードＩＤが会員カードＩＤである場合には、受信した受付け処理完了通知に含まれる持玉数、貯玉数、暗証番号を、図示しないＲＡＭの所定の記憶領域に格納する。

【０６１０】
そして、ＲＡＭの所定の記憶領域に記憶している持玉数が０であるか否か、つまり、持玉数が存在するか否かを判定する（Ｓｆ１）。
【０６１１】
持玉数が０である場合には、カードユニット３の場合と同じく、前述したＳｆ２１～Ｓｆ２３の処理を実施することにより、挿入されたカードが会員カードであって、貯玉数からの直接振分けが許諾されていない場合において、貯玉数を使用して持玉数を増加させることができ、貯玉数からの直接振分けが許諾されている場合には、前述した図３６に示す処理を実施することで、貯玉数を使用しての直接振分けが実施できる。
【０６１２】
一方、Ｓｆ１のステップにおける判定において、持玉数が０でない場合には、Ｓｆ２－のステップに進んで、振分け可能玉数を特定する振分け可能玉数特定処理を実施する。
【０６１３】
この振分け可能玉数特定処理においては、制御部５１０のＲＯＭに記憶されている振分け設定情報に基づいて、貯玉数からの直接振分けの許諾が設定されているか否かを判定し、直接振分けの許諾が設定されていない場合には、持玉数を振分け可能玉数として特定する一方、直接振分けの許諾が設定されており、受付けたカードが会員カードである場合には、貯玉数の全てを持玉数に振分けた場合において徴収される手数料玉数を該貯玉数から減じた玉数を持玉数に加えた合計数を統合振分け可能玉数として特定する。
【０６１４】
そして、Ｓｆ２のステップに進み、図４３（ｂ）に示すように、Ｓｆ２－の振分け可能玉数特定処理にて特定した持玉数（直接振分け非許諾時）を含む振分け玉数受付け画面、若しくは、図４３（ｅ）に示すように、Ｓｆ２－の振分け可能玉数特定処理にて特定した統合振分け可能玉数（直接振分け許諾時）を含む振分け玉数受付け画面を表示装置５０１に表示して、振分け先に振分ける玉数（振分け玉数）を遊技者から受付ける振分け玉数受付け処理を実施する。
【０６１５】
この本実施例の振分け玉数受付け画面は、カードユニット３における振分け玉数受付け画面（図４２（ａ）、図４２（ｈ））に同じであるので、ここでの説明は省略する。
【０６１６】
また、遊技者が、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力した後に、「決定」の選択入力部を選択入力した場合には、該「決定」の選択入力に応じてＳｆ４のステップにおいて、該振分け玉数入力部にて受付けた振分け玉数が、持玉数以下であるか否かを判定し、持玉数以下でない場合、つまり、受付けた振分け玉数に対して持玉数が不足している場合には、Ｓｆ２５のステップに進んでＳｆ２５～Ｓｆ２９のステップの処理を実施されることにより、受付けたカードが会員カードであって、貯玉数からの直接振分けが許諾されており、不足分と該不足分に相当する手数料玉数との合計数以上の貯玉数が存在する場合であって、遊技者からの不足分への貯玉の使用ＯＫの確認受付けがあった場合（Ｓｆ２８’）に限って不足分の自動振分けの処理が可能とされる一方、これらの条件を満たさない場合には、Ｓｆ２９のステップに進んで、カードユニット３における図４２（ｅ）と同様の持玉数エラー画面を表示して持玉数が不足していることを遊技者に報知するとともに、該持玉数エラー画面の「確認」の選択入力部が、遊技者により選択入力されることに応じて、Ｓｆ２－のステップに戻ることにより、再度、振分け可能玉数が特定されて振分け玉数の受付けが実施される（Ｓｆ２）。尚、処理を終了させたい場合には、持玉数エラー画面において「キャンセル」を選択入力すれば良い。
【０６１７】
一方、持玉数以下である場合には、Ｓｆ５のステップに進み、図３８（ａ）に示すように、管理コンピュータ１５０に対して、当該振分け装置５の装置ＩＤと、受付け中のカードの（会員）カードＩＤと、振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数（この場合には振分け持玉数となる）とを含む振分け許諾要求を送信することで、前述したカードユニ

ット３の場合と同様に、振分け総数制限や振分け元上限制限の設定の有無に応じて、振分け総数制限や振分け元上限制限に該当するか否かが判定され、該当する場合には振分け不可が管理コンピュータ１５０から返信され、該当しない場合または振分け総数制限や振分け元上限制限が設定されていない場合には、振分け許諾が管理コンピュータ１５０から返信される。尚、これら振分け許諾要求の受信においては、カードユニット３からの振分け許諾要求の場合と異なり、持玉数の照合がカードの受付け時において実施済みであるので、持玉数の更新については実施されない。

【０６１８】

制御部５１０は、管理コンピュータ１５０からの返信が、振分け許諾であるか否かをＳｆ６のステップにて判定し、振分け不可である場合には、Ｓｆ６のステップにて「Ｎｏ」と判定されてＳｆ２４のステップに進んで制限玉数エラー画面表示を実施することにより、表示装置５０１には、図４２（ｆ）と同じく、振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、Ｓｆ２のステップに戻る。

【０６１９】

尚、この際、Ｓｆ２の振分け玉数受付け処理において表示装置５０１に表示される振分け玉数受付け画面においては、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数が振分け可能玉数表示部に表示されるようになっており、遊技者は、これら振分け可能玉数を振分け玉数受付け画面上において把握することができるので、該振分け可能玉数をＳｆ２のステップにおいて再度、振分け玉数として入力することで、繰返し、制限玉数エラーとなってしまうことを回避できる。

【０６２０】

一方、管理コンピュータ１５０からの返信が振分け許諾である場合には、Ｓｆ６のステップにて「Ｙｅｓ」と判定されてＳｆ７のステップに進んで、図４３（ｃ）に示すように、振分け玉数の表示部と、振分け先のカードの挿入を促すメッセージの表示部と、振分け先のカードが無い場合におけるビジターカードの新規発行の操作を受付ける新規発行選択入力部を有する新規発行受付け画面を表示装置５０１に表示し、第２挿入口ＬＥＤ５０７を点滅状態として、該第２挿入口ＬＥＤ５０７が対応する第２カード挿入口５０５への振分け先カードの挿入を促した後、Ｓｆ８のステップとＳｆ９のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力が有るか、第２カード挿入口５０５への新たなカードの挿入が有るかを監視する。

【０６２１】

振分け先となる遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していない場合には、新規発行選択入力部を選択入力すれば良く、該新規発行選択入力部が選択入力された場合には、該選択入力がＳｆ８のステップにおいて発行受付け有りと検知されてＳｆ１０のステップに進み、受付け中のカードが会員カードであるか否かを判定し、会員カードでない場合、つまり、受付け中のカードがビジターカードである場合には、Ｓｆ１１に進んでビジター用発行振分け処理を実施する一方、受付け中のカードが会員カードである場合には、Ｓｆ１２に進んで会員用発行振分け処理を実施する。

【０６２２】

Ｓｆ１１のビジター用発行振分け処理において制御部５１０は、第２カードリーダライタ５０９のカード貯留部（図示せず）に貯留されているビジターカードを所定の読み出し位置に移動させて、該ビジターカードのカードＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。

【０６２３】

そして、該読み出したカードＩＤ（振分け先）と、第１カードリーダライタ５０８に受付け中のビジターカードのカードＩＤ（振分け元）と振分け持玉数と、装置ＩＤとを含む発行振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０６２４】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け

持玉数を減算更新する。

【０６２５】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとしてカードＩＤ（振分け元）と、発行を示す「１」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯玉数並びに手数料玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

【０６２６】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、振分け元のビジターカードに記憶されている持玉数を、振分け玉数を減じた持玉数に更新した後、振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤを含む振分け発行要求をシステムコントローラ１００に送信する。

【０６２７】

この振分け発行要求の受信に応じてシステムコントローラ１００は、受信した振分け発行要求に含まれるカードＩＤに対応付けてビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「０」を、最新発行日時にその時点の日時を、「状況」に「使用中」を更新記憶した後、振分け発行完了通知を返信する。

【０６２８】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御部５１０は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「０」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新した後、第１カード挿入口５０４から振分け元のビジターカードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して発行し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出されたビジターカードの取り出しを促し、該ビジター用発行振分け処理を終了する。

【０６２９】

尚、これら発行されたビジターカードは、前述したように、他のカードユニット３に挿入することで、振分けされた振分け持玉数が持玉数に加算されて、新たな持玉数として表示部３１２に表示されることで、該持玉数を、払出ボタン３１１を操作して払出すことができる。

【０６３０】

また、Ｓｆ１２の会員用発行振分け処理において制御部５１０は、第２カードリーダライタ５０９のカード貯留部（図示せず）に貯留されているビジターカードを所定の読み出し位置に移動させて、該該ビジターカードのカードＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。

【０６３１】

そして、該読み出したカードＩＤ（振分け先）と、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と振分け持玉数と、装置ＩＤとを含む発行振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０６３２】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新する。

【０６３３】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、発行を示す「１」と、振分け持玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け貯玉数並びに手数料玉数には無しを示す「－」を含む振分け履歴を、

振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

【０６３４】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤを含む振分け発行要求をシステムコントローラ１００に送信する。

【０６３５】

この振分け発行要求の受信に応じてシステムコントローラ１００は、受信した振分け発行要求に含まれるカードＩＤに対応付けてビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「０」を、最新発行日時にその時点の日時を、「状況」に「使用中」を更新記憶した後、振分け発行完了通知を返信する。

【０６３６】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御部５１０は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「０」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して発行し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出されたビジターカードの取り出しを促し、該会員用発行振分け処理を終了する。

【０６３７】

一方、Ｓｆ８とＳｆ９のステップによる監視状態において第２カード挿入口５０５への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入がＳｆ９のステップにおいて検知されてＳｆ１４のステップに進み、第２カード挿入口５０５に挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。

【０６３８】

挿入されたカードが会員カードである場合にはＳｆ１５のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に第１カードリーダライタ５０８に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Ｓｆ１６にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードも会員カードである会員対会員振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Ｓｆ１７のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードが会員カードであるビジター対会員振分け処理を実施する。

【０６３９】

一方、挿入されたカードがビジターカードである場合にはＳｆ１８のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に第１カードリーダライタ５０８に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Ｓｆ１９にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードがビジターカードである会員対ビジター振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Ｓｆ２０のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードもビジターカードであるビジター対ビジター振分け処理を実施する。

【０６４０】

これら振分け装置５において実施されるＳｆ１６の会員対会員振分け処理は、カードユニット３における会員対会員振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ１５０から振分け完了通知の受信した場合において制御部５１０は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先の会員カードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口Ｌ

ＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該会員対会員振分け処理を終了する。

【０６４１】

また、振分け装置５において実施されるＳｆ１７のビジター対会員振分け処理も、カードユニット３におけるビジター対会員振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ１５０から振分け完了通知の受信した場合において制御部５１０は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更した後、第１カード挿入口５０４から、振分け玉数が持玉数から減算更新された振分け元のビジターカードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先の会員カードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。

【０６４２】

また、振分け装置５において実施されるＳｆ１９の会員対ビジター振分け処理も、カードユニット３における会員対ビジター振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ１５０から振分け完了通知の受信した場合において制御部５１０は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。

【０６４３】

また、振分け装置５において実施されるＳｆ２０のビジター対ビジター振分け処理も、カードユニット３におけるビジター対ビジター振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ１５０から振分け完了通知の受信した場合において制御部５１０は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更した後、第１カード挿入口５０４から、振分け玉数が持玉数から減算更新された振分け元のビジターカードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。

【０６４４】

このようにして発行または返却された振分け先の会員カードまたはビジターカードは、カードユニット３に挿入されることで、持玉数に振分け持玉数が加算されることで、該加算後の持玉数を払出しに使用することができるようになる。

【０６４５】

また、本実施例の振分け装置５も、カードユニット３と同じく、図３６に示すＳｆ３０～Ｓｆ４１のステップから成る、貯玉数からの直接振分けを行うための各処理を実施する。

【０６４６】

これらＳｆ３０～Ｓｆ４１のステップの内、Ｓｆ３９の会員直接振分け処理、Ｓｆ４１のビジター直接振分け処理、Ｓｆ４２の発行直接振分け処理以外の処理については、カードユニット３と処理内容が同一であるので、ここでの説明は省略する。尚、先述したこれらの処理の説明中において、カードユニット３は振分け装置５に、制御ユニット３２８は制御部５１０に、表示部３１２は表示装置５０１に、Ｓｆ３５のステップにおけるカードリーダライタ３２７並びにカード挿入口３０９は第２カードリーダライタ５０９並びに第２カード挿入口５０５に、読み替えるものとする。

【０６４７】

Ｓｆ４２の発行直接振分け処理において制御部５１０は、まず、第２カードリーダライタ５０９内の所定の読み出し位置に、図示しないカード貯留部に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。

【０６４８】

そして、該読み出したカードＩＤと、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の会員カードの会員カードＩＤと振分け貯玉数と当該振分け装置５の装置ＩＤを含む発行直接振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０６４９】

この発行直接振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数を特定し、該特定した貯玉数から受信した発行直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新するとともに、受信した発行直接振分け要求に含まれる振分け先のカードとなるビジターカードのカードＩＤに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「０」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

【０６５０】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行直接振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてビジターカードのカードＩＤと、振分け元のカードとして会員カードＩＤと、発行を示す「１」と、振分け貯玉数と、手数料玉数と、利用受付け無しを示す「０」と、振分け持玉数には無しを示す「－」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行直接振分け完了通知を返信する。

【０６５１】

この発行直接振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、一時記憶しているビジターカードのカードＩＤを含む振分け発行要求をシステムコントローラ１００に送信することで、システムコントローラ１００は、前述した振分け発行要求の受信時と同一の処理を実施して振分け発行完了通知を返信する。

【０６５２】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御部５１０は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「０」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して発行し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された会員カードとビジターカードの取り出しを促し、該発行直接振分け処理を終了する。

【０６５３】

一方、Ｓｆ３６とＳｆ３７のステップによる監視状態において第２カード挿入口５０５への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入がＳｆ３６のステップにおいて検知されてＳｆ３８のステップに進み、新たに挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。

【０６５４】

新たに挿入されたカードが会員カードである場合にはＳｆ３９のステップに進んで、会員直接振分け処理を実施する一方、新たに挿入されたカードが会員カードでない場合には、Ｓｆ４０のステップに進み、貯玉数が、受付けた振分け玉数（振分け貯玉数）と該振分け玉数（振分け貯玉数）を持玉数に振分けた場合において徴収される手数料玉数との合計数以上であるか否かを判定する。

【０６５５】

そして、合計数以上である場合にはＳｆ４１のステップに進んで、ビジター直接振分け処理を実施する一方、合計数以上でない場合には、Ｓｆ３１のステップに戻って、再度、振分け玉数（振分け貯玉数）の受付けを実施する。

【０６５６】
本実施例のＳｆ３９の会員直接振分け処理において制御部５１０は、当該振分け装置５の装置ＩＤと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードＩＤ（振分け先）と、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の振分け元会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、振分け貯玉数とを含む会員直接振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。
【０６５７】
この会員直接振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、振分け設定画面における設定内容に応じて、前述した連続振分け制限に関する処理並びに振分け先上限制限に関する処理を実施し、制限に該当する場合には振分け不可を返信する一方、制限に該当しない場合或いは制限が設定されていない場合には、受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数を特定し、該特定した貯玉数から受信した会員直接振分け要求に含まれる振分け貯玉数を減算更新するとともに、当該振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録した後、受信した会員直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む会員直接振分け完了通知を返信する。
【０６５８】
この会員直接振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先の会員カードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該会員直接振分け処理を終了する。
【０６５９】
また、本実施例のＳｆ４１のビジター直接振分け処理において制御部５１０は、当該振分け装置５の装置ＩＤと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤ（振分け先）と、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の振分け元である会員カードの会員カードＩＤ（振分け元）と、振分け貯玉数とを含むビジター直接振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。
【０６６０】
このビジター直接振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、振分け設定画面における設定内容に応じて、前述した連続振分け制限に関する処理並びに振分け先上限制限に関する処理を実施し、制限に該当する場合には振分け不可を返信する一方、制限に該当しない場合或いは制限が設定されていない場合には、受信したビジター直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数を特定し、該特定した貯玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新するとともに、当該振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録した後、受信したビジター直接振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む会員直接振分け完了通知を返信する。
【０６６１】
このビジター直接振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジター直接振分け処理を終了する。
【０６６２】
また、本実施例の振分け装置５も、カードユニット３と同じく、図３７に示すＳｆ５０

～Ｓｆ５９のステップから成る、不足分の自動振分けを行うための各処理を実施する。
【０６６３】
つまり、Ｓｆ５０のステップにおいては、まず、管理コンピュータ１５０に対して、当該振分け装置の装置ＩＤと、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の会員カードＩＤと、振分け玉数入力部において受付けた持玉数よりも多い振分け玉数とを含む統合振分け許諾要求を送信する（図３８（ａ）参照）。
【０６６４】
この統合振分け許諾要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した統合振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数と持玉数とを特定するとともに、受信した統合振分け許諾要求に含まれる振分け玉数から持玉数を減算した差数の玉数を不足玉数として特定し、貯玉数が該不足玉数並びに該不足玉数の貯玉数を持玉数に変更する際に必要とされる手数料玉数との合計数以上であることを確認する。尚、貯玉数が不足玉数と手数料玉数との合計数以上でない場合には、受信した統合玉振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む振分け不可を返信する。
【０６６５】
そして、前述したように、振分け設定画面における設定内容に応じて、前述した振分け総数制限に関する処理並びに振分け元上限制限に関する処理を実施し、制限に該当する場合には振分け不可を返信する一方、制限に該当しない場合或いは制限が設定されていない場合には、受信した統合振分け許諾要求に含まれる会員カードＩＤを含む振分け許諾を返信する。
【０６６６】
制御部５１０は、管理コンピュータ１５０からの返信が、振分け許諾であるか否かをＳｆ５１のステップにて判定し、振分け不可である場合には「Ｎｏ」と判定されてＳｆ５９のステップに進んで、図４２（ｆ）に示す制限玉数エラー画面と同様に、受信した振分け不可に含まれる振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、図３５のＡであるＳｆ２１－のステップに戻る。
【０６６７】
一方、管理コンピュータ１５０からの返信が振分け許諾である場合には、Ｓｆ５１のステップにて「Ｙｅｓ」と判定されてＳｆ５２のステップに進み、図４３（ｃ）に示す、新規発行受付け画面を表示装置５０１に表示するとともに、第２挿入口ＬＥＤ５０７を点滅状態として、該第２挿入口ＬＥＤ５０７が対応する第２カード挿入口５０５への振分け先カードの挿入を促した後、Ｓｆ８のステップとＳｆ９のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力が有るか、第２カード挿入口５０５への新たなカードの挿入が有るかを監視する。
【０６６８】
振分け先となる遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していないことにより、新規発行選択入力部が選択入力された場合には、該選択入力がＳｆ５４のステップにおいて発行受付け有りと検知されてＳｆ５８のステップに進んで、ビジターカードの発行を伴う発行不足自動振分け処理を実施する。
【０６６９】
この発行不足自動振分け処理において制御部５１０は、第２カードリーダライタ５０９内の所定の読み出し位置に、図示しないカード貯留部に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードＩＤの読み出しを実施して一時記憶する。
【０６７０】
そして、持玉数を振分け持玉数とするとともに、受付けた振分け玉数と持玉数との差数である不足玉数を振分け貯玉数として特定し、上記にて読み出したカードＩＤと、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の会員カード（振分け元）の会員カードＩＤと、該特定した振分け持玉数並びに振分け貯玉数と、当該振分け装置の装置ＩＤを含む発行不足自動振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０６７１】
この発行不足自動振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、受信した発行不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と貯玉数とを特定し、該特定した持玉数から受信した発行不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新、つまり「０」とし、該特定した貯玉数から受信した発行不足自動振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新するとともに、受信した発行直接振分け要求に含まれる振分け先のカードとなるビジターカードのカードＩＤに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「０」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

【０６７２】
そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行不足自動振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてビジターカードのカードＩＤと、振分け元のカードとして会員カードＩＤと、発行を示す「１」と、振分け持玉数と、振分け貯玉数と、手数料玉数と、利用受付け無しを示す「０」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

【０６７３】
この発行振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、カードテーブルの持玉数を振分け持玉数を減算した玉数に、カードテーブルの貯玉数を振分け貯玉数と手数料玉数を減算した玉数に更新するとともに、一時記憶しているビジターカードのカードＩＤを含む振分け発行要求をシステムコントローラ１００に送信することで、システムコントローラ１００は、前述した振分け発行要求の受信時と同一の処理を実施して振分け発行完了通知を返信する。

【０６７４】
この振分け発行完了通知の受信に応じて制御部５１０は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「０」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して発行し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された会員カードとビジターカードの取り出しを促し、該発行不足自動振分け処理を終了する。

【０６７５】
一方、Ｓｆ５３とＳｆ５４のステップによる監視状態において第２カード挿入口５０５への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入がＳｆ５３のステップにおいて検知されてＳｆ５５のステップに進み、新たに挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。

【０６７６】
新たに挿入されたカードが会員カードである場合にはＳｆ５６のステップに進んで会員不足自動振分け処理を実施する一方、新たに挿入されたカードが会員カードでない場合には、Ｓｆ５７のステップに進んでビジター不足自動振分け処理を実施する。

【０６７７】
本実施例のＳｆ５６の会員不足自動振分け処理において制御部５１０は、受付け中の会員カードの会員カードＩＤから特定された持玉数を振分け持玉数とするとともに、受付けた振分け玉数と持玉数との差数である不足玉数を振分け貯玉数として特定し、当該振分け装置５の装置ＩＤと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードＩＤ（振分け先）と、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の会員カード（振分け元）の会員カードＩＤ（振分け元）と、該特定した振分け持玉数並びに振分け貯玉数とを含む会員不足自動振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０６７８】

この会員不足自動振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した連続振分け制限に関する処理並びに振分け先上限制限に関する処理を実施し、制限に該当する場合には振分け不可を返信する一方、制限に該当しない場合或いは制限が設定されていない場合には、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と貯玉数とを特定し、該特定した持玉数から受信した会員不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新、つまり「０」とし、該特定した貯玉数から受信した会員不足自動振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新するとともに、当該振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録した後、受信した会員不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【０６７９】

この振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先の会員カードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該会員不足自動振分け処理を終了する。

【０６８０】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数と振分け貯玉数とが持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０６８１】

また、Ｓｆ５７のビジター不足自動振分け処理において制御部５１０は、受付け中の会員カードの会員カードＩＤから特定された持玉数を振分け持玉数とするとともに、受付けた振分け玉数と持玉数との差数である不足玉数を振分け貯玉数として特定し、当該振分け装置５の装置ＩＤと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤ（振分け先）と、第１カードリーダライタ５０８に受付け中の会員カード（振分け元）の会員カードＩＤ（振分け元）と、該特定した振分け持玉数並びに振分け貯玉数とを含むビジター不足自動振分け要求を管理コンピュータ１５０に対して送信する。

【０６８２】

このビジター不足自動振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、前述した連続振分け制限に関する処理並びに振分け先上限制限に関する処理を実施し、制限に該当する場合には振分け不可を返信する一方、制限に該当しない場合或いは制限が設定されていない場合には、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と貯玉数とを特定し、該特定した持玉数から受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる振分け持玉数を減算更新、つまり「０」とし、該特定した貯玉数から受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる振分け貯玉数と該振分け貯玉数を持玉数に移行するのに必要となる手数料玉数とを減算更新するとともに、当該振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録した後、受信したビジター不足自動振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【０６８３】

この振分け完了通知の受信に応じて制御部５１０は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新した後、第１カード挿入口５０４から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第２カード挿入口５０５から振分け先のビジターカードを排出して返却し、表示装置５０１に、図４３（ｄ）に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第１挿入口ＬＥＤ５０６と第２挿入口ＬＥＤ５０７とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジ

ター不足自動振分け処理を終了する。

【０６８４】

これら返却された振分け先のビジターカードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け持玉数と振分け貯玉数とが持玉数に加算されて使用可能となるとともに、これら持玉数の加算の履歴が計数・払出履歴テーブルに記憶され、更に、加算された持玉数とレートが持玉種別テーブルに記憶、管理される。

【０６８５】

次に、統合ボタン３１０が操作されたときに実施される本実施例の統合処理について、図４４～４７に基づいて、以下に説明する。

【０６８６】

前述したＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態において、統合ボタン３１０を操作した場合には、統合ボタンスイッチ３１０’からの操作信号が制御ユニット３２８に入力されることで、制御ユニット３２８は、Ｓｂ１０において統合ボタン３１０の操作有りと判断してＳｂ２８に進み、図４４に示す統合処理を実施する。尚、統合操作が無効とされている場合には、Ｓｂ２８に進むことなく、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態を継続する。

【０６８７】

本実施例の統合処理においては、まず、図４４に示すように、他の操作ボタンの操作を無効とするとともに、計数・端数払出ユニット３４０に対して計数禁止指示を出力して新たなパチンコ玉の計数を禁止する（Ｓｔ１）。

【０６８８】

そして、該統合ボタン３１０の操作（統合操作）が実施されてからの経過時間が会員カードの受付けについての所定の上限時間に到達したか否かを判定するためのカード受付タイマのカウントを開始させた後（Ｓｔ２）、その時点においてカードリーダライタ３２７にカードを受付け中であるか否か、具体的には、ＲＡＭ３２８ｂに記憶されているカードテーブルにカードＩＤの記憶が存在するか否かを判定する（Ｓｔ３）。

【０６８９】

該判定においてカードを受付け中である場合には、Ｓｔ４のステップに進んで、更に、受付け中のカードが会員カードであるか否かを、カードテーブルに会員ＩＤが記憶されているか否か等により判定し、会員カードでない場合、すなわち、ビジターカードを受付け中である場合には、Ｓｔ５のステップに進んで、図４５に示す第１統合処理を実施し、会員カードである場合には、Ｓｔ６のステップに進んで、図４６に示す第２統合処理を実施する。

【０６９０】

一方、Ｓｔ３のステップにおいて、カードが受付け中でないと判断された場合には、Ｓｔ７のステップに進み、図４７に示す第３統合処理を実施する。

【０６９１】

はじめに第１統合処理について図４５に基づき説明する。第１統合処理において制御ユニット３２８は、まず、受付け中のビジターカードに持玉数が存在しない場合には、統合することができないので、持玉数が０であるか否かを判定する（Ｓｔ１０）。

【０６９２】

持玉数が０ではない、つまり、持玉数が存在する場合には、Ｓｔ１１のステップに進み、プリペイド残額が０であるか否かを判定する。このようにすることは、統合によってビジターカードが回収されることにより、該ビジターカードに存在しているプリペイド残額を遊技者が使用できなくなってしまう不都合の発生を確実に防止できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらプリペイド残額が存在していても統合処理を実施するようにしても良い。この場合には、その時点の持玉数を統合玉数として特定するとともに、ビジターカードのプリペイド残額をそのまま維持しつつ、持玉数を０に更新して、カード挿入口３０９から返却した後、カード挿入口３０９から会員カードを受付けることで、該受付けた会員カードの持玉数に、特定した統合玉数を加算して統合するようにすれば良い。

【０６９３】
Ｓｔ１０のステップにて「Ｙｅｓ」と判定された場合並びにＳｔ１１のステップにて「Ｎｏ」と判定された場合には、Ｓｔ２１のステップに進み、持玉数が存在しない或いはプリペイド残額が存在するために統合操作が無効とされたことを表示部３１２に表示した後、会員カードの受付け待機中であれば、会員カードの受付け待機を解除して（Ｓｔ２２）、Ｓｔ２７に進んで、図２８に示すカード受付け中画面表示処理を実施することで、統合操作前のカード受付け中画面が表示部３１２に表示された状態に戻る。
【０６９４】
一方、持玉数が存在し、且つプリペイド残額が存在していない場合には、Ｓｔ１２のステップに進んで、受付け中のビジターカードをカード貯留部３７０に回収して、カード挿入口３０９から会員カードの受付けを可能とする。
【０６９５】
尚、制御ユニット３２８は、該ビジターカードを回収した際に、表示部３１２に「会員カードを挿入して下さい」の案内メッセージ並びに統合操作を中止するための「キャンセル」の選択入力部を有する画面を表示して、カード挿入口３０９への会員カードの挿入を促すようにすることが好ましい。
【０６９６】
そして、Ｓｔ１３～Ｓｔ１５のステップを巡回実施する会員カードの受付け待機状態に移行する。
【０６９７】
この会員カードの受付け待機状態では、Ｓｔ２のステップにてスタートされたカード受付タイマがタイマ（カウント）アップしたか否か（Ｓｔ１３）、表示部３１２に表示する「キャンセル」の選択入力部が選択入力されたか否か（Ｓｔ１４）、カードの受付けが有るか否か（Ｓｔ１５）の判定が繰返し実施される。
【０６９８】
つまり、本実施例の第１統合処理においては、統合操作の受付け時においてカード挿入口３０９に受付け中のビジターカードを回収して、カード挿入口３０９から新たな記録媒体の挿入を可能とすることによって、所定の無効条件の成立であるカード受付けタイマのタイマアップやキャンセル受付けがあるまで、会員カードを受付けるようになっている。
【０６９９】
この会員カードの受付け待機状態において、所定の無効条件の成立である、カード受付タイマがタイマ（カウント）アップした場合、つまり、統合操作がなされてから所定の上限時間が経過するまでにカードの受付けがなかった場合、および、「キャンセル」の選択入力部が選択入力された場合には、Ｓｔ２０のステップに進み、Ｓｔ１２のステップにてカード貯留部３７０に回収したビジターカードを、通常の読み取り位置に復帰させる復帰処理を実施した後、Ｓｔ２１のステップに移行して、所定の上限時間までに会員カードが挿入されなかったことにより統合操作が無効とされたことを表示部３１２に表示した後、会員カードの受付け待機を解除し（Ｓｔ２２）、Ｓｔ２７に進んでカード受付け中画面表示処理を実施することで、統合操作前のカード受付け中画面が表示部３１２に表示された状態に戻る。尚、本実施例では、統合処理後にＳｔ２２のステップにおいて会員カードの受付け待機を解除しているが、これらＳｔ２２の受付け待機の解除を、統合処理前に実施するようにしても良い。
【０７００】
また、本実施例では、カードリーダライタ３２７が、回収したビジターカードを直近に回収した順に取り出し可能な回収機能を有していることから、所定の無効条件の成立であるカード受付けタイマのタイマアップやキャンセル受付けがあった場合には、何らの更新もすることなく回収したビジターカードを、該ビジターカードを使用可能な状態であるカードリーダライタ３２７の通常の読み取り位置に戻すことで、統合操作時の持玉数を特定可能な記録情報であるカードＩＤが同一のビジターカードを受付け中の状態としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、カードリーダライタ３２７が、回収

したビジターカードをカード貯留部３７０に貯留するのではなく、外部に排出するものであって、回収したビジターカードを発行に使用しないものである場合には、回収したビジターカードとは異なるビジターカードをカード貯留部３７０から取り出してカードリーダライタ３２７の通常の読み取り位置に戻すとともに、回収したビジターカードのカードＩＤに対応付けてシステムコントローラ１００や管理コンピュータ１５０に管理されているプリペイド残額や持玉数等の各データを、該ビジターカードから読み出したカードＩＤに対応するプリペイド残額や持玉数等の各データに移行させるとともに、該移行したプリペイド残額や持玉数に合致するプリペイド残額データや持玉数データを該ビジターカードに書込ことにより、統合操作時の持玉数を特定可能な記録情報が記録されたビジターカードを受付け中の状態とするようにしても良い。

【０７０１】

尚、本実施例では実施していないが、ビジターカードによる持玉数と、カードユニット３において新たに計数した計数玉数を、該ビジターカードの排出時まで、個別に管理する場合であって、これらカードの持玉数のみを統合する場合については、統合操作時のカードの持玉数を特定可能な記録情報が記録された、回収したビジターカード自体若しくは、上述したように、システムコントローラ１００や管理コンピュータ１５０の管理データを移行した回収されたビジターカードとは異なるビジターカードを受付け中の状態とすれば良い。

【０７０２】

また、本実施例では、上述したように、所定の無効条件の成立であるカード受付けタイマのタイマアップやキャンセル受付けがあった場合には、回収したビジターカードを使用可能な受付け状態としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら回収したビジターカードを返却するようにしても良い。

【０７０３】

一方、統合操作がなされてから所定の上限時間が経過するまでにカードの受付けがあった場合には、Ｓｔ１５のステップにて「Ｙｅｓ」と判断されてＳｔ１６のステップに進み、受付けたカードに記録されているカードＩＤ等の記録データを、カードリーダライタ３２７により読み出して、該受付けたカードが会員カードであるか否かを判定する（Ｓｔ１６＋）。

【０７０４】

受付けたカードが会員カードでない場合、例えば、ビジターカードである場合には、受付けたカードをカード挿入口３０９から排出した後（図示略）、Ｓｔ１３～Ｓｔ１５の受付け待機状態に戻る一方、受付けたカードが会員カードである場合には、Ｓｔ１７に進んで、会員カード受付け処理を実施する。

【０７０５】

この会員カード受付け処理は、通常の会員カードの受付けの場合と同様に、認証要求をシステムコントローラ１００に送信し、システムコントローラ１００からの認証結果を受信するとともに、受付けた会員カードから読み出した会員カードＩＤと装置ＩＤとを含む統合カード受付け通知を送信して、会員カードＩＤの照合による認証結果を取得する。

【０７０６】

これら統合カード受付け通知を受信した管理コンピュータ１５０は、通常のカード受付け通知を受信した場合と同じく、会員カードＩＤの登録が会員貯玉管理テーブルに存在するか否かを判定し、存在する場合において認証ＯＫを返信する。但し、通常の会員カードの受付けの場合のように、持玉数や貯玉数や暗証番号やポイント並びに持玉種別データ等を含む受付け処理完了通知は、カートテーブル等がこの時点で更新されてしまい、ビジターカードの持玉数等を特定できなくなってしまうことから、送信しない。

【０７０７】

そして、Ｓｔ１８のステップに進んで、会員カード受付け処理にて管理コンピュータ１５０から返信された認証結果が認証ＯＫであるか否か、つまり、正規の会員カードであるか否かを判定する。

【０７０８】
該判定において、認証結果が認証ＮＧ（エラー情報を含む）である場合には、Ｓｔ１９のステップに進み、受付けたカードをカード挿入口３０９から排出した後（図示略）、Ｓｔ１３～Ｓｔ１５の受付け待機状態に戻る一方、認証結果が認証ＯＫである場合には、Ｓｔ２３に進んで、カードテーブルに記憶されている持玉数（１円、４円）、つまり、受付け中のビジターカードの持玉数と、該カードユニット３にて計数された計数玉数との合計玉数を統合玉数として特定する。尚、本実施例では、受付け中のビジターカードの持玉数と、該カードユニット３にて計数された計数玉数との合計玉数を統合玉数として特定しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら統合玉数として、持玉数から該カードユニット３にて計数された計数玉数（持玉数内訳テーブルの自台－１の持玉数）を除いたビジターカードの持玉数のみを統合玉数として統合し、該カードユニット３にて計数された計数玉数を、例えば、新たに受付けた会員カードの返却時に、該会員カードの持玉数に加算するようにしても良い。

【０７０９】
尚、受付けた会員カードの振分けフラグが振分けを示す「１」である場合には、Ｓｔ１８のステップにおいて、統合処理が可能な会員カードではないとして認証ＮＧと見なして、Ｓｔ１９にて該会員カードを返却することで、未加算の振分けされた持玉数や貯玉数が存在する会員カードへの統合がされることで、振分けされた持玉数や貯玉数の照合等の確認が困難となってしまうことや、管理コンピュータ１５０におけるデータ管理が複雑化することを回避できるようになっている。

【０７１０】
次いで、Ｓｔ２３＋のステップに進み、管理コンピュータ１５０に対して、Ｓｔ２３のステップにて特定した統合玉数、回収したビジターカード（統合元カード）のカードＩＤ、受付け中の会員カード（統合先カード）の会員カードＩＤとを含む統合要求を送信するとともに、表示部３１２に「処理中」の表示を開始した後、Ｓｔ２４に移行して統合完了通知の受信待ち状態となる。尚、本実施例では、統合元カードのカードＩＤと統合先カードの会員カードＩＤの双方を含む統合要求を送信するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、統合操作受付け時に、統合元のビジターカードのカードＩＤを含む統合許諾要求を管理コンピュータ１５０に送信し、該管理コンピュータ１５０から統合許諾要求に対する許諾ＯＫが返信されてきたことを条件に、統合元のビジターカードを回収して統合先の会員カードを受付けて、該受付けた統合先の会員カードの会員カードＩＤを含む統合実行要求を送信するように、統合元のビジターカードのカードＩＤと、統合先の会員カードの会員カードＩＤとを個別に送信するようにしても良い。

【０７１１】
この統合要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、統合要求に含まれる統合玉数が、該統合要求に含まれる統合元のビジターカードのカードＩＤに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶、管理されている持玉数（１円、４円）と一致するか否かを確認する。

【０７１２】
持玉数と一致する場合には、該持玉数を受信した統合要求に含まれる統合先の会員カードの会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶、管理されている持玉数（１円、４円）に、統合玉数を加算更新するとともに、統合履歴テーブルの処理装置ＩＤ、統合元ビジターカード、統合先会員カード、統合持玉数（４円）、統合持玉数（１円）に、受信した統合要求に含まれる装置ＩＤ、ビジターカードＩＤ、会員カードＩＤ、統合玉数（４円）、統合玉数（１円）を格納して統合履歴を登録する。

【０７１３】
尚、持玉数と一致しない場合には、統合不可通知を、統合要求の送信元のカードユニット３に対して返信する。

【０７１４】
更に、統合元のビジターカードＩＤに対応付けて計数・払出履歴テーブルに記憶されて

いる計数・払出履歴を、統合先の会員カードＩＤの計数・払出履歴に移行して消去するとともに、統合元のビジターカードＩＤに対応付けて持玉種別テーブルに記憶されている持玉の種別データを、統合先の会員カードＩＤの種別データに移行して消去する。

【０７１５】

次いで、これら持玉数の更新やデータの移行を実施した後、通常のカード受付け通知を受信した場合と同じく、ユニット管理テーブルの「受付ＩＤ」を更新するとともに、統合先の会員カードＩＤに対応する更新後の持玉数（４円、１円）、貯玉数４円、１円）、暗証番号、来店ポイントを特定するとともに、更新後の持玉種別テーブルにおける該会員カードＩＤに対応して記憶されているデータ（持玉内訳データ）を特定し、これら特定した持玉数、貯玉数、来店ポイント、暗証番号と、持玉内訳データ、会員カードＩＤとを含む統合完了通知を、統合要求の送信元のカードユニット３に対して返信する。尚、これら統合完了通知を送信する際においても、受付け処理完了通知を送信する場合と同じく、使用の優先順に従って持玉内訳データの変更（並べ替え）を実施する。

【０７１６】

該統合完了通知の受信は、Ｓｔ２４にて検知されてＳｔ２５に進み、表示部３１２に統合が完了した旨のメッセージ表示を表示した後、カードテーブル並びに持玉数内訳テーブル、会員遊技情報テーブルをリセットするとともに、受付けた会員カードから読み出して既に認証済みであるプリペイド残額および受信した統合完了通知に含まれる各レートの持玉数、貯玉数、来店ポイント、暗証番号を、カードテーブルに格納して、プリペイド度数を表示するとともに、更に、受信した統合完了通知に含まれる持玉内訳データにおける各内訳データを、持玉内訳データに記述されている順に持玉数数内訳テーブルに格納して、各テーブルを更新する（Ｓｔ２６）。

【０７１７】

そして、該更新の後、Ｓｔ２７に進んで、図２８に示す前述したカード受付け画面表示処理を実施することで、統合前に受付けられていたビジターカードにて獲得された自台持玉数（当台獲得玉数）が、該会員カードにおいても、当台獲得玉数として特定されることで、統合前のビジターカードの受付け時においてカード受付け画面と同じ当台獲得玉数の玉箱表示を有するカード受付け画面が表示部３１２に表示され後、該第１統合処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０７１８】

尚、管理コンピュータ１５０から統合不可が返信されてきた場合には、図４５には図示しないが、統合処理を中止して会員カードを返却し、統合処理前の状態に戻る。

【０７１９】

次に、第２統合処理について図４６に基づき説明する。第２統合処理において制御ユニット３２８は、まず、装置ＩＤと受付け中の会員カードの会員カードＩＤとを含む会員カード利用禁止要求をシステムコントローラ１００並びに管理コンピュータ１５０に送信することで、これら会員カードＩＤを利用禁止カードとして登録させる（Ｓｔ２９）。これにより、一時返却する会員カードが他のカードユニット３や振分け装置５や景品交換用ＰＯＳ端末１７０において受付けられても、該会員カードの使用が不可とされて返却されるようになる。

【０７２０】

この会員カード利用禁止要求の送信した後、受付け中の会員カードをカード挿入口３０９から一時返却して、会員カードへの統合を行うビジターカードの受付けを可能とする。

【０７２１】

尚、制御ユニット３２８は、該会員カードを排出した際に、表示部３１２に「会員カードを取り出して、統合するビジターカードを挿入して下さい」の案内メッセージ並びに統合操作を中止するための「キャンセル」の選択入力部を有する画面を表示して、カード挿入口３０９へのビジターカードの挿入を促すようにすることが好ましい。

【０７２２】

そして、Ｓｔ３１～Ｓｔ３３のステップを巡回実施するビジターカードの受付け待機状

態に移行する。

【０７２３】

このビジターカードの受付け待機状態では、Ｓｔ２のステップにてスタートされたカード受付タイマがタイマ（カウント）アップしたか否か（Ｓｔ３１）、表示部３１２に表示する「キャンセル」の選択入力部が選択入力されたか否か（Ｓｔ３２）、カードの受付けが有るか否か（Ｓｔ３３）の判定が繰返し実施される。

【０７２４】

このビジターカードの受付け待機状態において、カード受付タイマがタイマ（カウント）アップした場合、つまり、統合操作がなされてから所定の上限時間が経過するまでにカードの受付けがなかった場合、および、「キャンセル」の選択入力部が選択入力された場合には、Ｓｔ５０のステップに進み、所定の上限時間までにビジターカードが挿入されなかったことにより統合操作が無効とされたことを表示部３１２に表示した後、ビジターカードの受付け待機を解除して、後述するＳｔ５１～Ｓｔ５６の処理から成る会員カードの再受付け待機状態に進む。

【０７２５】

一方、統合操作がなされてから所定の上限時間が経過するまでにカードの受付けがあった場合には、Ｓｔ３３のステップにて「Ｙｅｓ」と判断されてＳｔ３４のステップに進み、受付けたカードに記憶されているカードＩＤ等の記憶データを、カードリーダライタ３２７により読み出して、該受付けたカードがビジターカードであるか否かを判定し（Ｓｔ３４＋）、ビジターカードである場合には、該ビジターカードから読み出したプリペイド残額が０であるか否かを判定する（Ｓｔ３５）。

【０７２６】

受付けたカードがビジターカードでない場合、および、受付けたカードがビジターカードであってプリペイド残額が０でない場合には、Ｓｔ３８に進んで、受付けたカードまたはビジターカードをカード挿入口３０９から排出した後、Ｓｔ３１～Ｓｔ３３の受付け待機状態に戻る一方、受付けたカードがプリペイド残額が０であるビジターカードである場合には、Ｓｔ３６に進んで、該ビジターカードから読み出した持玉数（１円、４円）を照合する持玉数照合処理を実施した後、照合結果の受信待ち状態に移行する（Ｓｔ３７）。

【０７２７】

この持玉数照合処理において制御ユニット３２８は、受付けたビジターカードから読み出したカードＩＤと持玉数（１円、４円）と装置ＩＤを含む持玉照合要求を管理コンピュータ１５０に送信することで、管理コンピュータ１５０において、持玉照合要求に含まれているカードＩＤに対応してビジター貯蓄管理テーブルに記憶、管理されている各レートの持玉数と、持玉照合要求に含まれている持玉数とが一致するか否かを照合し、照合結果を返信する。

【０７２８】

管理コンピュータ１５０からの照合結果が照合ＮＧである場合には、Ｓｔ３７で「Ｎｏ」と判定されてＳｔ３８のステップに進んで、受付けたビジターカードをカード挿入口３０９から排出した後、Ｓｔ３１～Ｓｔ３３の受付け待機状態に戻る一方、照合結果が照合ＯＫである場合には、Ｓｔ３７で「Ｙｅｓ」と判定されてＳｔ３９のステップに進んで、該照合ＯＫとされたビジターカードの持玉数（１円、４円）を統合玉数として特定する。

【０７２９】

尚、受付けたビジターカードの振分けフラグが振分けを示す「１」である場合には、Ｓｔ３５＋のステップにおいて、統合処理が可能なビジターカードではないと見なして、Ｓｔ３８にて該ビジターカードを返却することで、未加算の振分けされた持玉数が存在するビジターカードを統合することで、振分けが不能となったり、或いは振分けされた持玉数の照合等の確認が困難となってしまうことや、管理コンピュータ１５０におけるデータ管理が複雑化することを回避できるようになっている。

【０７３０】

次いで、Ｓｔ３９＋のステップに進み、管理コンピュータ１５０に対して、Ｓｔ３９の

ステップにて特定した統合玉数、受付けたビジターカード（統合元カード）のカードＩＤ、一時返却した会員カード（統合先カード）の会員カードＩＤとを含む統合要求を送信するとともに、表示部３１２に「処理中」の表示を開始した後、Ｓｔ４０に移行して統合完了通知の受信待ち状態となる。尚、本実施例では、統合元カードのカードＩＤと統合先カードの会員カードＩＤの双方を含む統合要求を送信するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、統合操作受付け時に、統合先の会員カードの会員カードＩＤを含む統合許諾要求を管理コンピュータ１５０に送信し、該管理コンピュータ１５０から統合許諾要求に対する許諾ＯＫが返信されてきたことを条件に、統合先の会員カードを一時返却して統合元のビジターカードを受付けて、該受付けたビジターカードのカードＩＤを含む統合実行要求を送信するように、統合元のビジターカードのカードＩＤと、統合先の会員カードの会員カードＩＤとを個別に送信するようにしても良い。

【０７３１】

この統合要求を受信した場合の管理コンピュータ１５０の処理は、第１統合処理と同一であるので、ここでの説明は省略する。

【０７３２】

管理コンピュータ１５０からの統合完了通知の受信は、Ｓｔ４０にて検知されてＳｔ４１に進み、表示部３１２に統合が完了した旨のメッセージ表示を表示した後、カードテーブル並びに持玉数内訳テーブル、会員遊技情報テーブルをリセットせずに、受信した統合完了通知に含まれる各レートの持玉数を、カードテーブルに格納してカードテーブルを更新するとともに、受信した統合完了通知に含まれるプリペイドカードの持玉内訳データが反映された持玉内訳データにおける各内訳データに基づいて、持玉数数内訳テーブルを更新する（Ｓｔ４２）。

【０７３３】

そして、該更新の後、Ｓｔ４３に進んで、受付け中のビジターカードを回収して、一時返却した会員カードを受付け可能とした後、Ｓｔ５１～Ｓｔ５６の処理から成る会員カードの再受付け待機状態に進む。

【０７３４】

この会員カードの再受付け待機状態においては、まず、表示部３１２に、一時返却した会員カードの再挿入を要求するメッセージを表示するとともに（Ｓｔ５１）、カード受付タイマのカウントをリスタートする（Ｓｔ５２）。

【０７３５】

そして、Ｓｔ５３、Ｓｔ５４のステップを巡回実施する会員カードの受付け待機状態に移行する。尚、Ｓｔ５４のステップは、詳細には、前述したＳｔ１５、Ｓｔ１６、Ｓｔ１６＋のステップに示す構成であるが、紙面の都合上、略記している。

【０７３６】

この状態においてカード受付タイマがタイマ（カウント）アップした場合、つまり、統合が完了されてから所定の上限時間が経過するまでに会員カードの受付けがなかった場合には、Ｓｔ５９のステップに進んで、カートテーブルに記憶されている会員カードＩＤが離席カードとして記憶されることで、該会員カードＩＤの挿入のみが許諾される前述した離席モードに移行する。このように、本実施例では、統合が完了されてから所定の上限時間が経過するまでに会員カードの受付けがなかった場合には、離席モードに移行するようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、統合が完了した段階において、会員カード利用禁止解除要求をシステムコントローラ１００並びに管理コンピュータ１５０に送信することで、該会員カードを、統合処理を実施したカードユニット３に再度挿入することなく、他のカードユニット３において利用できるようにしても良い。

【０７３７】

一方、統合が完了されてから所定の上限時間が経過するまでに会員カードの受付けがあった場合には、Ｓｔ５４にて「Ｙｅｓ」と判定されてＳｔ５５のステップに進み、受付けた会員カードの会員カードＩＤが、カートテーブルに記憶されている会員カードＩＤと一致するか否か、つまり、一時返却した会員カードと同一の会員カードであるかを照合する

。
【０７３８】
会員カードＩＤが一致しない場合には、該会員カードをカード挿入口３０９から排出した後、Ｓｔ５３、Ｓｔ５４の待機状態に移行する一方、会員カードＩＤが一致する場合には、Ｓｔ５４のステップに進んで、会員カード利用禁止解除要求をシステムコントローラ１００並びに管理コンピュータ１５０に送信することで、Ｓｔ２９にて実施した会員カードの利用禁止を解除した後、Ｓｔ５８に進んで、図２８に示す前述したカード受付け画面表示処理を実施することで、統合前の会員カードによるカード受付け画面に、統合されたビジターカードの持玉の内訳が反映されたカード受付け画面、例えば、自台まとめ表示設定に「する」が設定されていて、ビジターカードの持玉の内訳に、自台の持玉数の内訳データが存在している場合には、統合前の当台獲得玉数に、ビジターカードにて獲得した自台の持玉数が加算された当台獲得玉数の玉箱表示を有するカード受付け画面が表示部３１２に表示された後、該第２統合処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。
【０７３９】
次に、第３統合処理について図４７に基づき説明する。第３統合処理において制御ユニット３２８は、まず、表示部３１２に「統合するビジターカードを挿入して下さい」の案内メッセージ並びに統合操作を中止するための「キャンセル」の選択入力部を有する画面を表示して、カード挿入口３０９へのビジターカードの挿入を促すようにする。
【０７４０】
そして、Ｓｔ６０～Ｓｔ６２のステップを巡回実施するビジターカードの受付け待機状態に移行する。
【０７４１】
このビジターカードの受付け待機状態では、Ｓｔ２のステップにてスタートされたカード受付タイマがタイマ（カウント）アップしたか否か（Ｓｔ６０）、表示部３１２に表示する「キャンセル」の選択入力部が選択入力されたか否か（Ｓｔ６１）、カードの受付けが有るか否か（Ｓｔ６２）の判定が繰返し実施される。
【０７４２】
このビジターカードの受付け待機状態において、カード受付タイマがタイマ（カウント）アップした場合、つまり、統合操作がなされてから所定の上限時間が経過するまでにカードの受付けがなかった場合、および、「キャンセル」の選択入力部が選択入力された場合には、Ｓｔ９０のステップに進み、所定の上限時間までにビジターカードが挿入されなかったことにより統合操作が無効とされたことを表示部３１２に表示した後、ビジターカードの受付け待機を解除して（Ｓｔ６１）、当該処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。
【０７４３】
一方、統合操作がなされてから所定の上限時間が経過するまでにカードの受付けがあった場合には、Ｓｔ６２のステップにて「Ｙｅｓ」と判断されてＳｔ６３のステップに進み、受付けたカードに記憶されているカードＩＤ等の記憶データを、カードリーダライタ３２７により読み出して、該受付けたカードがビジターカードであるか否かを判定し（Ｓｔ６３＋）、ビジターカードである場合には、該ビジターカードから読み出したプリペイド残額が０であるか否かを判定する（Ｓｔ３５）。
【０７４４】
受付けたカードがビジターカードでない場合、および、受付けたカードがビジターカードであってプリペイド残額が０でない場合には、Ｓｔ６７に進んで、受付けたカードまたはビジターカードをカード挿入口３０９から排出した後、Ｓｔ６０～Ｓｔ６２の受付け待機状態に戻る一方、受付けたカードがプリペイド残額が０であるビジターカードである場合には、Ｓｔ６５に進んで、該ビジターカードから読み出した持玉数（１円、４円）を照合する持玉数照合処理を実施した後、照合結果の受信待ち状態に移行する（Ｓｔ６６）。
【０７４５】
この持玉数照合処理において制御ユニット３２８は、受付けたビジターカードから読み

出したカードＩＤと持玉数（１円、４円）と装置ＩＤを含む持玉照合要求を管理コンピュータ１５０に送信することで、管理コンピュータ１５０において、持玉照合要求に含まれているカードＩＤに対応してビジター貯蓄管理テーブルに記憶、管理されている各レートの持玉数と、持玉照合要求に含まれている持玉数とが一致するか否かを照合し、照合結果を返信する。

【０７４６】

管理コンピュータ１５０からの照合結果が照合ＮＧである場合には、Ｓｔ６６で「Ｎｏ」と判定されてＳｔ６７のステップに進んで、受付けたビジターカードをカード挿入口３０９から排出した後、Ｓｔ６０～Ｓｔ６２の受付け待機状態に戻る一方、照合結果が照合ＯＫである場合には、Ｓｔ６６で「Ｙｅｓ」と判定されてＳｔ６８のステップに進んで、該照合ＯＫとされたビジターカードの持玉数（１円、４円）を統合玉数として特定した後、受付け中のビジターカードをカード貯留部３７０に回収して、カード挿入口３０９から会員カードの受付けを可能とする（Ｓｔ６８＋）。

【０７４７】

尚、受付けたビジターカードの振分けフラグが振分けを示す「１」である場合には、Ｓｔ６３＋のステップにおいて、統合処理が可能なビジターカードではないと見なして、Ｓｔ６７のステップに移行して該ビジターカードを返却することで、未加算の振分けされた持玉数が存在するビジターカードを統合することで、振分けが不能となったり、或いは振分けされた持玉数の照合等の確認が困難となってしまうことや、管理コンピュータ１５０におけるデータ管理が複雑化することを回避できるようになっている。

【０７４８】

そして、Ｓｔ６９のステップに進み、表示部３１２に「会員カードを挿入して下さい」の案内メッセージ並びに統合操作を中止するための「キャンセル」の選択入力部を有する画面を表示して、カード挿入口３０９への会員カードの挿入を促すとともに、カード受付タイマのカウントをリスタートする（Ｓｔ７０）。

【０７４９】

そして、Ｓｔ７１～Ｓｔ７３のステップを巡回実施する統合先の会員カードの受付け待機状態に移行する。

【０７５０】

この会員カードの受付け待機状態では、Ｓｔ７０のステップにてリスタートされたカード受付タイマがタイマ（カウント）アップしたか否か（Ｓｔ７１）、表示部３１２に表示する「キャンセル」の選択入力部が選択入力されたか否か（Ｓｔ７２）、カードの受付けが有るか否か（Ｓｔ７３）の判定が繰返し実施される。

【０７５１】

この会員カードの受付け待機状態において、カード受付タイマがタイマ（カウント）アップした場合、および、「キャンセル」の選択入力部が選択入力された場合には、Ｓｔ９２のステップに進み、所定の上限時間までに会員カードが挿入されなかったことにより統合操作が無効とされたことを表示部３１２に表示した後（Ｓｔ９２）、会員カードの受付け待機を解除するとともに（Ｓｔ９３）、Ｓｔ６８のステップにてカード貯留部３７０に回収したビジターカードを、通常の読み取り位置に復帰させた後、該ビジターカードを通常の挿入と同様に受付けた場合と同様に、Ｓｂ２０のカード受付け処理を実施した後（Ｓｔ９４）、Ｓｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に移行する。

【０７５２】

このようにすることで、例えば、会員カードの挿入に手間取った場合や、他の遊技場の会員カード等を間違えて挿入してしまった場合でも、既にビジターカードが受付けられている状態となっているので、該状態において統合操作することにより、前述した第１統合処理が実施されるようになるので、再度、ビジターカードを投入する遊技者の手間を省くことができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、Ｓｔ９４のステップにおいては、統合元のビジターカードも、カード挿入口３０９から返却するようにしても良い。

【０７５３】
一方、所定の上限時間が経過するまでにカードの受付けがあった場合には、Ｓｔ７３のステップにて「Ｙｅｓ」と判断されてＳｔ７４のステップに進み、受付けたカードに記憶されているカードＩＤ等の記憶データを、カードリーダライタ３２７により読み出して、該受付けたカードが会員カードであるか否かを判定する（Ｓｔ７４＋）。
【０７５４】
受付けたカードが会員カードでない場合、例えば、ビジターカード等である場合には、受付けたカードをカード挿入口３０９から排出した後（図示略）、Ｓｔ７１～Ｓｔ７３の受付け待機状態に戻る一方、受付けたカードが会員カードである場合には、Ｓｔ７５に進んで、会員カード受付け処理を実施する。
【０７５５】
この会員カード受付け処理は、通常の会員カードの受付けの場合と同様に、認証要求をシステムコントローラ１００に送信し、システムコントローラ１００からの認証結果を受信するとともに、受付けた会員カードから読み出した会員カードＩＤと装置ＩＤとを含む統合カード受付け通知を送信して、会員カードＩＤの照合による認証結果を取得する。
【０７５６】
これら統合カード受付け通知を受信した管理コンピュータ１５０は、通常のカード受付け通知を受信した場合と同じく、会員カードＩＤの登録が会員貯玉管理テーブルに存在するか否かを判定し、存在する場合において認証ＯＫを返信する。但し、受付け処理完了通知は送信しない。
【０７５７】
そして、Ｓｔ７６のステップに進んで、会員カード受付け処理にて管理コンピュータ１５０から返信された認証結果が認証ＯＫであるか否か、つまり、正規の会員カードであるか否かを判定する。
【０７５８】
該判定において、認証結果が認証ＮＧ（エラー情報を含む）である場合には、Ｓｔ７７のステップに進み、受付けたカードをカード挿入口３０９から排出した後、Ｓｔ７１～Ｓｔ７３の受付け待機状態に戻る一方、認証結果が認証ＯＫである場合には、Ｓｔ７８＋に進む。
【０７５９】
尚、受付けた会員カードの振分けフラグが振分けを示す「１」である場合には、Ｓｔ７６のステップにおいて、統合処理が可能な会員カードではないとして認証ＮＧと見なして、Ｓｔ７７にて該会員カードを返却することで、未加算の振分けされた持玉数や貯玉数が存在する会員カードへの統合がされることで、振分けされた持玉数や貯玉数の照合等の確認が困難となってしまうことや、管理コンピュータ１５０におけるデータ管理が複雑化することを回避できるようになっている。
【０７６０】
次いで、Ｓｔ７８＋のステップでは、管理コンピュータ１５０に対して、Ｓｔ６８のステップにて特定した統合玉数、回収したビジターカード（統合元カード）のカードＩＤ、受付け中の会員カード（統合先カード）の会員カードＩＤとを含む統合要求を送信するとともに、表示部３１２に「処理中」の表示を開始した後、Ｓｔ７９４に移行して統合完了通知の受信待ち状態となる。
【０７６１】
この統合要求の受信に応じて管理コンピュータ１５０は、既にビジターカードの持玉数の照合を実施済みであるので、持玉数の確認をすることなく、受信した統合要求に含まれる統合先の会員カードの会員カードＩＤに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶、管理されている持玉数（１円、４円）に、受信した統合要求に含まれる統合玉数を加算更新するとともに、統合履歴テーブルの処理装置ＩＤ、統合元ビジターカード、統合先会員カード、統合持玉数（４円）、統合持玉数（１円）に、受信した統合要求に含まれる装置ＩＤ、ビジターカードＩＤ、会員カードＩＤ、統合玉数（４円）、統合玉数（１円）を格納し

て統合履歴を登録する。

【０７６２】

更に、統合元のビジターカードＩＤに対応付けて計数・払出履歴テーブルに記憶されている計数・払出履歴を、統合先の会員カードＩＤの計数・払出履歴に移行して消去するとともに、統合元のビジターカードＩＤに対応付けて持玉種別テーブルに記憶されている持玉の種別データを、統合先の会員カードＩＤの種別データに移行して消去する。

【０７６３】

次いで、これら持玉数の更新やデータの移行を実施した後、通常のカード受付け通知を受信した場合と同じく、ユニット管理テーブルの「受付ＩＤ」を更新するとともに、統合先の会員カードＩＤに対応する更新後の持玉数（４円、１円）、貯玉数４円、１円）、暗証番号、来店ポイントを特定するとともに、更新後の持玉種別テーブルにおける該会員カードＩＤに対応して記憶されているデータ（持玉内訳データ）を特定し、これら特定した持玉数、貯玉数、来店ポイント、暗証番号と、持玉内訳データ、会員カードＩＤとを含む統合完了通知を、統合要求の送信元のカードユニット３に対して返信する。尚、これら統合完了通知を送信する際においても、受付け処理完了通知を送信する場合と同じく、使用の優先順に従って持玉内訳データの変更（並べ替え）を実施する。

【０７６４】

該統合完了通知の受信は、Ｓｔ７９にて検知されてＳｔ８０に進み、表示部３１２に統合が完了した旨のメッセージ表示を表示した後、受付けた会員カードから読み出したプリペイド残額および受信した統合完了通知に含まれる各レートの持玉数、貯玉数、来店ポイント、暗証番号を、カードテーブルに格納して、プリペイド度数を表示するとともに、更に、受信した統合完了通知に含まれる持玉内訳データにおける各内訳データを、持玉内訳データに記述されている順に持玉数数内訳テーブルに格納して、各テーブルを更新する（Ｓｔ８１）。

【０７６５】

そして、該更新の後、Ｓｔ８２に進んで、図２８に示す前述したカード受付け画面表示処理を実施することで、統合されたビジターカードの持玉の内訳が反映されたカード受付け画面、例えば、自台まとめ表示設定に「する」が設定されていて、ビジターカードの持玉の内訳に、自台の持玉数の内訳データが存在している場合には、これらビジターカードにて獲得した自台の持玉数を含む当台獲得玉数の玉箱表示を有するカード受付け画面が表示部３１２に表示された後、該第３統合処理を終了してＳｂ２～Ｓｂ１３の待機状態に戻る。

【０７６６】

以上、本発明の実施例を図面により説明してきたが、具体的な構成はこれら実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれる。

【０７６７】

例えば、前記実施例では、カードユニットにおいて、カードが挿入されていない状態において紙幣を受付けた際に、必ずビジターカードを発行してプリペイド残額を記録するようにしており、このようにすることで、パチンコ機２の遊技においてパチンコ玉が獲得されて計数がなされた際に、カードリーダライタ３２７に、持玉数を記録するためのビジターカードが存在しない状況の発生を回避できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、たとえば、低額紙幣である１０００円を受付けた場合には、該１０００円に相当するパチンコ玉を全て、対応するパチンコ機２から払出させるようにすることで、ビジターカードを発行せず、計数が実施された際に、カードユニット３にビジターカードの受付けがない場合には、プリペイド残額が０のビジターカードを発行して、該ビジターカードに持玉数を書込記憶するようにしても良い。

【０７６８】

尚、これらビジターカードを発行しない場合にあっては、ビジターカードが受付け中でない状態において、持玉数が存在し、該持玉数を振分けに使用することが考えられるが、

この場合には、これら振分けの処理に際してビジターカードを発行し、該発行したビジターカードを振分け元のカードとするようにしても良いし、本実施例のように、管理コンピュータ１５０のユニット管理テーブルにおいて、各カードユニット３の装置ＩＤに対応付けて持玉数を記憶、管理している場合であれば、振分けの処理に際してビジターカードを発行せずに、該ユニット管理テーブルにおける持玉数から振分け玉数を減算更新して、振分け先のカードのカードＩＤを含む振分け履歴を振分け履歴に登録するようにしても良い。この場合においては、管理コンピュータ１５０においては、各所有遊技媒体数特定情報となる装置ＩＤに対応付けて所有遊技媒体数となる持玉数を管理しているので、該装置ＩＤが所有遊技媒体数特定情報に該当することとなる。

【０７６９】

また、前記実施例では、カードユニット３におけるビジター用発行振分け処理において、受付け中のビジターカードを振分け先のビジターカードとして使用し、カード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを振分け元のカードとするように、カードの入替えを実施しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら入替えを実施せずに、会員用発行振分け処理の場合と同じく、受付け中のビジターカードを振分け元のカードとし、カード貯留部３７０に貯留されているビジターカードを振分け先のカードとし、受付け中のビジターカードを一旦排出して、振分け先のビジターカードを発行し、再度、振分け元のビジターカードを受付けるようにしても良い。

【０７７０】

また、前記実施例では、カードユニット３のカードリーダライタ３２７として、受付け中のカードをカード挿入口３０９から排出することなく、カード挿入口３０９側に待避させた状態で、カード貯留部３７０に貯留しているビジターカードを所定の読み出し位置に移動させて、当該ビジターカードの読み出しを実施できるようにしており、このようにすることは、振分け先のビジターカードを発行する際に、該発行するビジターカードのカードＩＤを読み出すために、受付け中のカードがカード挿入口３０９から排出されてしまうことがなく、これら発行するビジターカードの読み出しやデータの更新記憶が完了した状態まで、カードを内部に保持しておくことができることから、これら排出することに伴う不都合の発生を回避できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら受付け中のカードをカード挿入口側に待避させる機能を有しないカードリーダライタとしても良い。

【０７７１】

また、前記実施例では、管理コンピュータ１５０において、会員の管理も実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら会員の管理については、個別のコンピュータにおいて実施するようにしても良い。

【０７７２】

また、前記実施例では、会員の貯蓄玉数として、当日に獲得した持玉数と当日前に獲得した貯玉数とを個別に管理する形態を例示しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら、当日に獲得した玉数も一元的に貯玉数として管理するものであっても良い。

【０７７３】

また、前記実施例では、繰返し利用されるビジターカードについても振分け元総数制限や振分け先総数制限の対象とするために、最新発行日時を管理して、各ビジターカードの振分け総数（振分け元）や振分け総数（振分け先）を正確に集計できるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらビジターカードについては、振分け元総数制限や振分け先総数制限の対象としないようにしても良い。

【０７７４】

また、前記実施例では、振分け玉数が持玉数の範囲内であるか否かの判定を、各カードユニット３または振分け装置５側において実施し、該判定において振分け玉数が持玉数の範囲内であることを条件に送信される振分け要求の受信に応じて振分けとなる、振分け履歴への登録を実施するようにしており、このようにすることは、これら判定処理を分散し

て実施することで管理コンピュータ１５０の処理負荷を低減できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの振分け玉数が持玉数の範囲内であるか否かの判定を、管理コンピュータ１５０において、一元的に実施するようにしても良い。

【０７７５】

また、前記実施例では、貯玉数を持玉数に移行する際に、手数料を徴収するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら手数料を徴収しない構成としても良い。また、振分けにおいて貯玉数を持玉数に移行する際の手数料を、振分けを伴わない通常の貯玉数から持玉数への移行における手数料と異なるものとしても良い。

【０７７６】

また、前記実施例では、各種制限における振分け総数として、振分け持玉数と振分け貯玉数との合計を用いるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、貯玉数からの振分けと、持玉数からの振分けと、貯玉数と持玉数との振分けとで、個別に制限数を設定しておき、貯玉数からの直接振分けであれば、振分け貯玉数のみの合計と制限数とに基づいて判断を実施し、持玉数からの振分けであれば、振分け持玉数のみの合計と制限数とに基づいて判断を実施し、貯玉数と持玉数との振分けであれば、振分け持玉数と振分け貯玉数との合計と制限数とに基づいて判断を実施するようにしても良い。

【０７７７】

また、前記実施例では、集計対象期間を１日とした例を示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら集計対象期間に例えば３日間が設定されている場合であれば、振分け総数（全体）、振分け総数（振分け元）、振分け総数（振分け先）の集計にあっては、これら対象期間であるその当日を含む最近３日間に該当する日付を含む振分け履歴を集計の対象とすれば良いし、これら集計対象期間に例えば１週間が設定されている場合であれば、振分け総数（全体）、振分け総数（振分け元）、振分け総数（振分け先）の集計にあっては、これら対象期間であるその当日を含む１週間に該当する日付を含む振分け履歴を集計の対象とすれば良く、つまり、集計方法としては、集計対象期間に該当する日時情報を含む振分け履歴を集計の対象とすれば良い。

【０７７８】

また、前記実施例では、遊技媒体としてパチンコ玉を使用するものを例示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、遊技機がメダルを遊技媒体として使用するスロットマシンである場合であれば、計数・端数払出ユニット３４０に代えて、該メダルを計数するメダル計数ユニットを設けて、各スロットマシンで獲得されたメダル数を、各スロットマシンに対応するカードユニットにて計数するようにしても良い。

【０７７９】

また、前記実施例では、玉積み表示ユニット４０１を使用した形態を例示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、前記実施例のように、カードユニット３に表示部３１２を有して、該表示部３１２に、玉箱表示を含むカード受付け中画面を表示する場合には、これら玉積み表示ユニット４０１を用いない構成として良いし、逆に、カードユニット３の表示部３１２にカード受付け中画面を表示せずに、玉積み表示ユニット４０１にのみ有することで、当台獲得玉数を玉積み表示ユニット４０１において、当台獲得玉数に応じた単位表示を実施するようにしても良い。

【０７８０】

また、前記実施例では、玉積み表示ユニット４０１として、ＬＥＤモジュール４１２ａ～４１２ｅを各表示部４０２ａ～４０２ｅに有することで、段階的に多色の点灯が可能とされることで、従来の玉箱の積み上げと同様に、視覚的に獲得玉数を把握し易いものを使用しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら幕板４に配置されるものとしては、たとえば、比較的大型の平面ディスプレイを配置して、表示部３１２におけるカード受付け中画面と同様の画面を表示するようにしても良い。

【０７８１】

また、前記実施例のカード受付け中画面においては、自台持玉数（当台獲得玉数）と、他台の持玉数との表示態様を、玉箱表示の大きさが異なるようにしているが、本発明はこ

れに限定されるものではなく、例えば、色や玉箱画像等を異なるものにしても良い。

【０７８２】

また、前記実施例では、持玉数の種別としてレートの種別や台番号、振分け等を例示しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの種別として、例えば、台の機種や、遊技機が設置されているコーナーの種別（甘デジコーナー、バトルタイプコーナー等）や、１円や４円以外の貸出レートや、貸出レートではなく景品との景品交換レートや、常時設定されているものではなく、特定のイベント期間において設定された特別の貸出レートや景品交換レート等であっても良い。

【０７８３】

また、前記実施例では、統合ボタン３１０を個別に設けて、統合操作の受付けを実施しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら統合操作の受付けを、ビジターカードや会員カードの受付け中における、他の種別のカードの受付けを統合操作の受付けとするようにしても良い。

【０７８４】

また、前記実施例では、第２統合処理において、統合先の会員カードを、カード挿入口３０９から一時返却する形態を例示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら統合先の会員カードを、カードリーダライタ３２７内に待避部を設けて、該待避部に待避させた状態で統合元のビジターカードを受付けるようにしても良い。

【０７８５】

また、前記実施例では、統合処理において、無効条件となる統合操作からの所定時間の経過やキャンセル操作がなされたことにより、統合操作を無効とする形態を例示しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら無効条件として、例えば、会員カードが一時返却される第２統合処理においては、該一時返却された会員カードが、統合処理中に他のカードユニット３や振分け装置５に受付けられることに応じて、統合操作を無効として統合処理を中止するようにしても良い。

【０７８６】

また、前記実施例では、統合処理における統合の具体的な処理、つまり、持玉数を移行する処理を、主に管理コンピュータ１５０が主体として実施する形態を例示しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、カードユニット３において、管理コンピュータ１５０から、統合元のビジターカードの持玉数と、統合先の会員カードの持玉数とを取得して、カードユニット３側において双方の持玉数を統合し、統合した持玉数と統合先の会員カードの会員カードＩＤを含む統合更新要求を管理コンピュータ１５０に送信して会員カードの持玉数を、統合後の持玉数に更新させるようにすることで、カードユニット３が統合の主体として動作するようにしても良い。

【０７８７】

また、前記実施例の第３統合処理では、統合先の会員カードを統合元のビジターカードよりも先に挿入した場合には、該統合先の会員カードを返却するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、カードリーダライタ３２７内に待避部を設けて、該待避部に先に受付けた会員カードを待避させた状態で統合元のビジターカードを受付けることで、統合処理を実施するようにしても良い。

【０７８８】

また、前記実施例では、各カードユニット３をパチンコ機２に１対１に設けた形態を例示しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、計数・端数払出ユニット３４０については、各パチンコ機２に１対１に対応して設けるが、カードユニット３については、２つのパチンコ機２間に、これら２つのパチンコ機２に共通に設けるようにしても良い。つまり、遊技用装置を複数の遊技機に対応して設けるようにしても良い。

【０７８９】

また、前記実施例では、パチンコ玉が計数されて持玉数が変化したときに、該変化後の所定時間である５秒が経過した時点で、変化後の持玉数に、管理コンピュータ１５０において受付け中のビジターカードまたは会員カードの（会員）カードＩＤに対応して管理さ

れている持玉数を更新することで、これら変化後の新たな持玉数を、受付け中のビジターカードまたは会員カードから特定可能としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら管理コンピュータ１５０における持玉数の更新を、ビジターカードの持玉数データの更新記録と同じく、ビジターカードや会員カードの返却時においてのみ、実施するようにしても良い。

【０７９０】

尚、上記したように、管理コンピュータ１５０における持玉数の更新を、ビジターカードや会員カードの返却時においてのみ実施する場合にあっては、遊技によって新たに獲得して計数した計数玉数は、返却時までビジターカードや会員カードから特定される持玉数（カードの持玉数）とはならないので、遊技によって新たに獲得して計数した計数玉数が統合ボタンの操作時に存在している場合には、統合ボタンの操作に応じて返却時と同じく、管理コンピュータ１５０における持玉数の更新を実施して、これら計数玉数をビジターカードや会員カードから特定される持玉数（カードの持玉数）とすることで、これら計数玉数を含む持玉数を統合玉数として統合処理を実施したり、或いは、前述したように、管理コンピュータ１５０における持玉数の更新を実施せずに、これら計数玉数を含まないカードの持玉数のみを統合玉数として統合処理を実施しても良い。

【０７９１】

また、前記実施例では、ビジターカードの持玉数と、会員カードの持玉数や貯玉数とを同一の管理コンピュータ１５０にて管理する形態を例示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらビジターカードの持玉数と、会員カードの持玉数や貯玉数とを、個別の管理コンピュータ（ビジター用管理コンピュータと会員用管理コンピュータ）にて管理し、ビジターカードを受付けた場合には、ビジター用管理コンピュータにカードＩＤ等を送信して持玉数の照合等を実施し、会員カードを受付けた場合には、会員用管理コンピュータにカードＩＤ等を送信して持玉数や貯玉数を取得するようにしても良い。

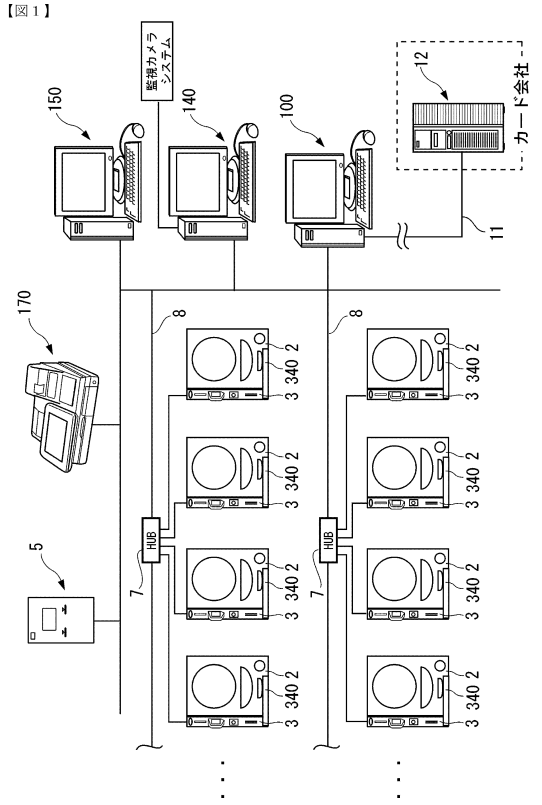
【符号の説明】

【０７９２】

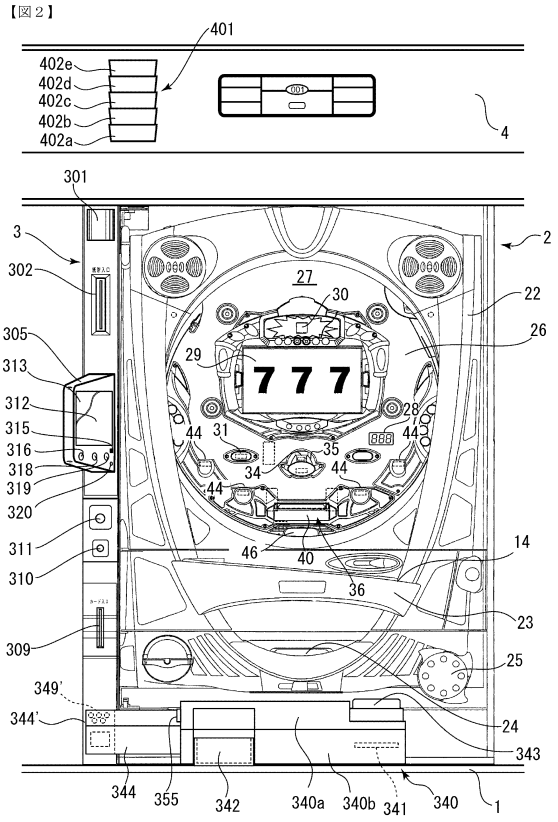
２	パチンコ機
３	カードユニット
５	振分け装置
１００	システムコントローラ
１０２	ＣＰＵ
１０５	記憶装置
１０６	入力装置
１０７	表示装置
１０９	通信部
１４０	ホールコンピュータ
１５０	管理コンピュータ
１５２	ＣＰＵ
１５５	記憶装置
１５６	入力装置
１５７	表示装置
１７０	景品交換ＰＯＳ端末
３０９	カード挿入口
３１１	払出ボタン
３１２	表示部
３１４	透明タッチパネル
３１５	ＩＲ受光ユニット
３２１	紙幣識別ユニット
３２７	カードリーダライタ
３２８	制御ユニット

３２８ｂ	ＲＡＭ
３３４	通信部
３３５	返却通路
３３７	排出流路
３３８	貯留部
３４０	計数・端数払出ユニット
３４１	制御基板
３４４	連結樋
３４５	投入部
３４６	流入口
３４７	計数流路
３５０	制御部
３５３	払出モータ
３５５	計数操作部
３５６	計数センサ
３５８	流路切替ソレノイド
３７０	カード貯留部
４０１	玉積み表示ユニット
５０８	第１カードリーダライタ
５０９	第２カードリーダライタ
５１０	制御部

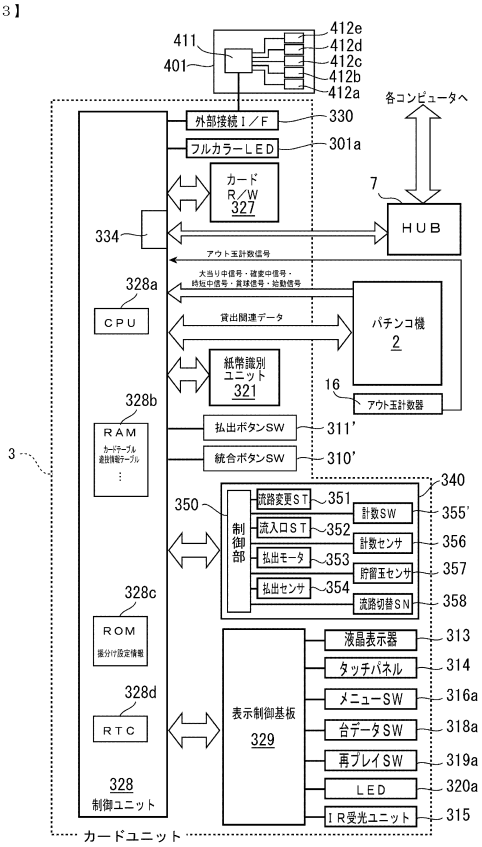
【図１】



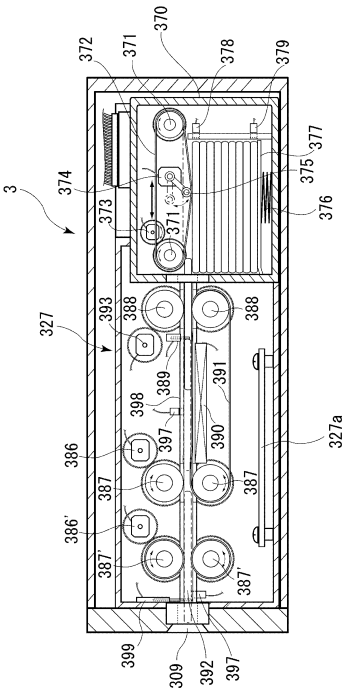
【図２】



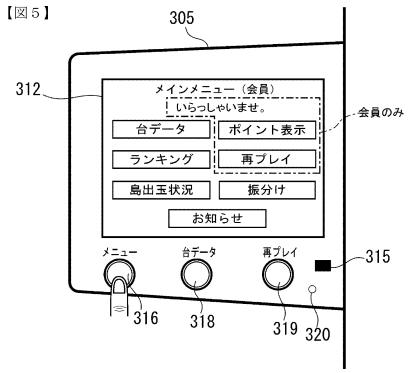
【図３】


411
401
412e
412d
412c
412b
412a
各コンピュータへ
外部接続Ｉ／Ｆ
330
フルカラーＬＥＤ
301a
カード R／W 327
7
HUB
334
アウト玉計数信号
大当り中信号・確変中信号・時短中信号・賞球信号・始動信号
328a
CPU
貸出関連データ
パチンコ機 2
紙幣識別ユニット 321
16
アウト玉計数器
328b
RAM
払出ボタンSW
311'
3
統合ボタンSW
310'
340
350
制御部
流路変更ＳＴ
351
計数SW
355'
流入口ＳＴ
352
計数センサ
356
払出モータ
353
貯留玉センサ
357
払出センサ
354
流路切替ＳＮ
358
328c
ROM
液晶表示器
313
タッチパネル
314
メニューSW
316a
328d
RTC
表示制御基板 329
台データSW
318a
再プレイSW
319a
328 制御ユニット
ＬＥＤ
320a
ＩＲ受光ユニット
315
カードユニット

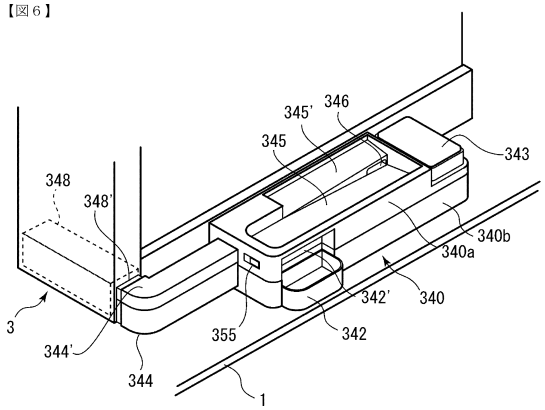
【図４】


372
371
370
378
379
377
375
376
3
374
373
371'
327
393
388
388
389
391
398
397
390
327a
386
387
387
386'
387'
387'
399
309
392
397

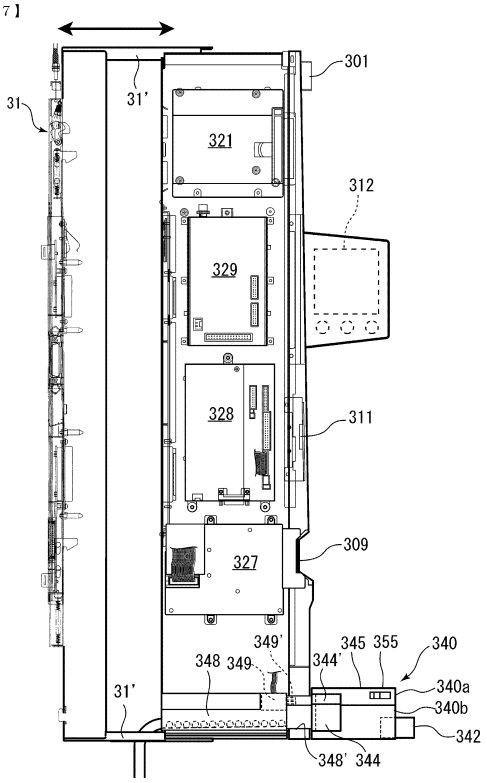
【図５】


305
312
メインメニュー（会員）
いらっしゃいませ。
台データ
ポイント表示
ランキング
再プレイ
島出玉状況
振分け
お知らせ
会員のみ
メニュー
台データ
再プレイ
315
316
318
319
320

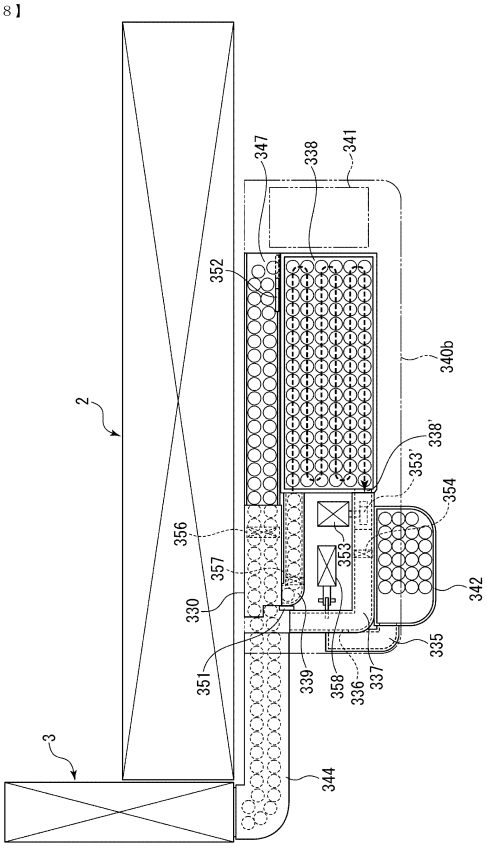
【図６】


345'
346
345
343
348
348'
340b
340a
342'
340
3
355
342
344'
344
1

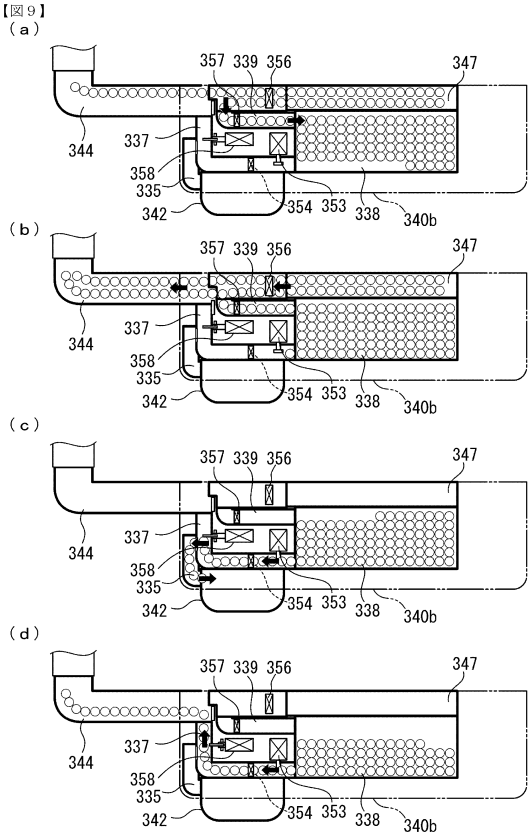
【図７】


301
31
31'
321
312
329
328
311
309
327
349'
345
355
340
348
349
344'
340a
340b
31'
342
348'
344

【図８】



【図９】



【図１０】

(a)カードテーブル

カードID	会員ID	暗証番号	プリペイド残額	1円持玉数	4円持玉数	1円貯玉数	4円貯玉数	来店ポイント数
KC-********	K-*****	****	****	****	****	*****	*****	*****

(b)遊技情報テーブル

情報項目	本日データ	前日データ	前々日データ
遊技状態(現在)	通常(低確中)	−	−
遊技状態データ(現在)	000	−	−
遊技状態データ(前回)	100	−	−
総打込玉数	*****	*****	*****
総賞球数	*****	*****	*****
差玉数	****	****	****
総始動回数	*****	*****	*****
当り後始動回数	**	**	**
大当り回数	**	**	**
確変回数	**	**	**
時短回数	**	**	**
連荘回数	*	−	−

(c)会員遊技情報

開始時間	終了時間	遊技時間	始動回数	大当り回数	確変回数	獲得玉数	支出金額	再プレイ玉数	使用持玉数
:	**:**	**:**	***	*	*	****	****	****	−

(d)貯留玉数データ

現存数	***玉

(e)持玉数内訳テーブル

台番号	001(自台)-1	001(自台)-2	000(振分け)-1	055-1	112-1	…
レート	4円	4円	4円	4円	1円	…
持玉数	****	****	****	****	****	…

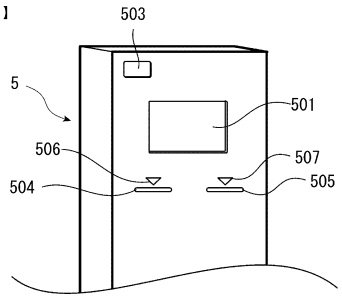
←上位　　下位→

【図１１】

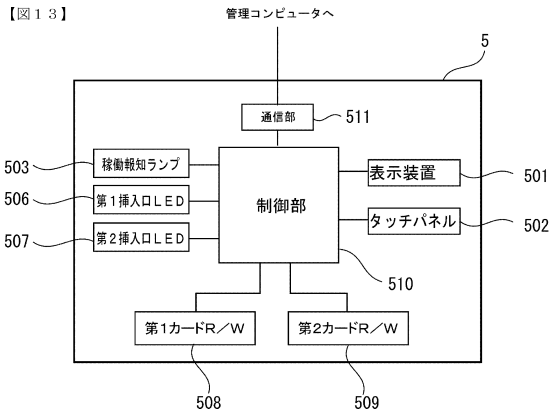
送信データ列

データヘッダ	装置ID	台番号	本日データ	ECC

【図１２】

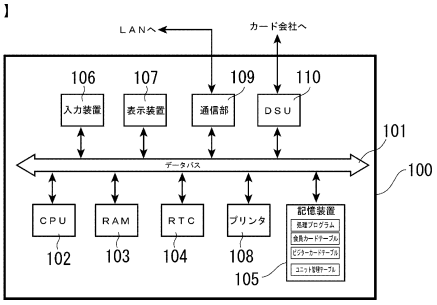


【図１３】



【図１４】

【図１４】



【図１５】

【図１５】 （ａ）会員カードテーブル

カードＩＤ	会員ID	プリペイド残額	使用不可
KC-XXXXXXX1	K-00001	****	0
KC-XXXXXXX2	K-00002	*****	0
：	：	：	：
：	：	：	：

使用不可データ：「１」は使用不可、「０」は使用可

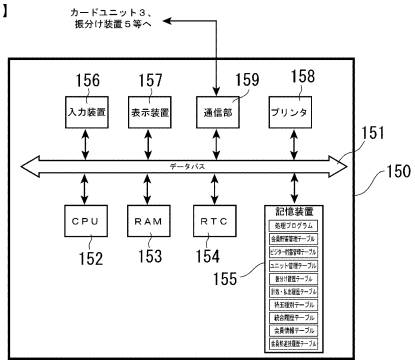
（ｂ）ビジターカードテーブル

カードID	状況	最新発行日時	プリペイド残額	使用不可
VC-00000001	利用中	0Y/01/**:**	10000	0
VC-00000002	利用中	0Y/01/**:**	3000	0
：	：	：	：	：
VC-00000XXX	利用中	0Y/01/**:**	1000	1
：	：	：	：	：
VC-000ZZZZZ	保管中	－	0	0

使用不可データ：「１」は使用不可、「０」は使用可

【図１６】

【図１６】



【図１７】

【図１７】 （ａ）会員貯蓄管理テーブル

カードＩＤ	会員ID	4円持玉数	1円持玉数	4円貯玉数	1円貯玉数
KC-XXXXXXX1	K-00001	****	****	*****	*****
KC-XXXXXXX2	K-00002	－	－	*****	*****
：	：	：	：	：	：
：	：	：	：	：	：

（ｂ）ビジター貯蓄管理テーブル

カードID	最新発行日時	4円持玉数	1円持玉数
VC-00000001	0Y/01/**:**	****	****
VC-00000002	0Y/01/**:**	0	****
：	：	：	：
VC-00000XXX	0Y/01/**:**	****	0
：	：	：	：
VC-000ZZZZZ	－	0	****

【図１８】

【図１８】

持玉種別テーブル

カードID	台番号	レート	持玉数
VC-00000001	001	4円	****
	025	4円	****
	115	1円	****
	001	4円	****
	：	：	：
	000	4円	****
VC-00000002	101	1円	****
	231	4円	****
	：	：	：
：	：	：	：
VC-00000XXX	***	1円	****
	：	：	：
KC-XXXXXXX1	***	4円	****
	：	：	：
KC-XXXXXXX2	***	1円	****
	：	：	：
：	：	：	：
：	：	：	：

【図１９】

【図１９】

（ａ）ユニット管理テーブル

装置ＩＤ	ローカルＩＰ	設置島	状況	対応台番号	レート	受付ＩＤ	持玉数
CU-001	***.***.***.***	01	受付中	001	4円	KC-*********	****
CU-002	***.***.***.***	01	受付中	002	4円	VC-*********	****
：	：	：	：	：	：	：	：
CU-101	***.***.***.***	10	受付中	101	1円	KC-*********	****
：	：	：	：	：	：	：	：

（ｂ）貯留・払出履歴テーブル

装置ID	現存貯留数	日付	種別	玉数	存在数
CU-001	***玉	**月**日	貯留	**玉	***玉
		月日	払出	**玉	－
		：	：	：	：
CU-002	***玉	**月**日	払出	**玉	－
		月日	貯留	**玉	***玉
		：	：	：	：
：	：	：	：	：	：

【図２０】

【図２０】

振分け履歴テーブル

日時	処理装置ID	振分け元カード	振分け先カード	条行	振分け持玉数	振分け預玉数	手数料玉数	利用受付け
0Y/01/**:**	CU-****	VC-**********	KC-**********	1	****	****	**	1
0Y/01/**:**	FU-**	VC-**********	KC-**********	0	***	0	0	0
0Y/01/**:**	CU-****	KC-**********	KC-**********	0	0	****	0	1
0Y/01/**:**	CU-****	KC-**********	VC-**********	0	****	0	0	1
0Y/01/**:**	CU-****	VC-**********	VC-**********	1	****	0	0	0
・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・

【図２１】

【図２１】

計数・払出履歴テーブル

カードID	台番号	レート	時刻	種別	処理玉数	持玉数
VC-00000001	001	4円	18:30	計数	1652	4561
	001	4円	18:12	払戻し	100	2909
	001	4円	18:07	払戻し	100	2809
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	115	1円	**:**	払戻し	100	****
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	001	4円	**:**	払戻し	100	****
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	—	4円	**:**	振分け	****	****
VC-00000002	101	1円	**:**	計数	****	****
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	231	4円	**:**	計数	****	****
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
VC-00000XXX	***	1円	**:**	計数	***	****
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
KC-XXXXXXX1	165	4円	**:**	計数	****	****
	165	4円	**:**	計数	****	****
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
KC-XXXXXXX2	112	1円	**:**	払戻し	100	****
	112	1円	**:**	計数	****	****
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図２２】

【図２２】

統合履歴テーブル

日時	処理装置ID	統合元ビジターカード	統合先会員カード	統合持玉数（4円）	統合持玉数（1円）
0Y/01/**:**	CU-****	VC-*********	KC-*********	****	****
0Y/01/**:**	CU-****	VC-*********	KC-*********	***	—
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

【図２３】

【図２３】

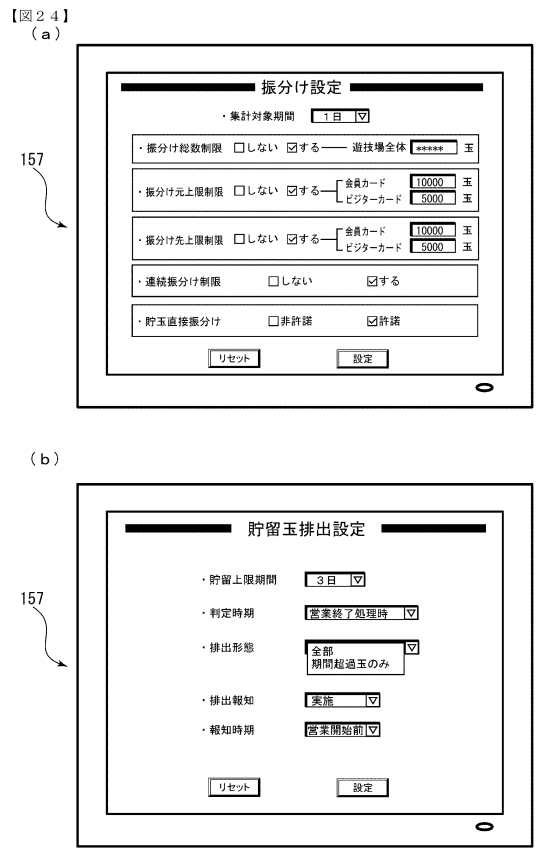
（ａ）会員情報テーブル

会員ID	暗証番号	来店Pt	ランク	名字	名前	性別	年齢	誕生日	職業	住所	メールアドレス
K-00001	****	150	B	Ox	太郎	男性	25	5/6	会社員	東京都	***@****.…
K-00002	****	230	A	OO	花子	女性	36	12/11	公務員	神奈川県	***@****.…
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

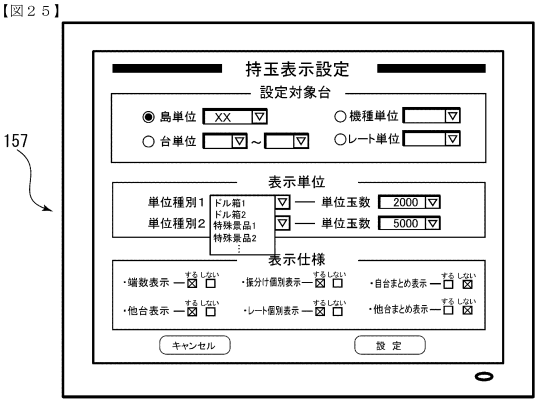
（ｂ）会員別遊技履歴テーブル

会員ID	来店日	台番号	機種名	レート	開始時間	終了時間	確変回数	獲得玉数	支出金額	再プレイ玉数	使用持玉数
K-00001	1回前 2002/0Y/01	***	機種名b	4円	**:**	**:**	*	****	****	—	—
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
K-00002	1回前 2002/0X/29	***	機種名d	1円	**:**	**:**	*	****	—	****	—
	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

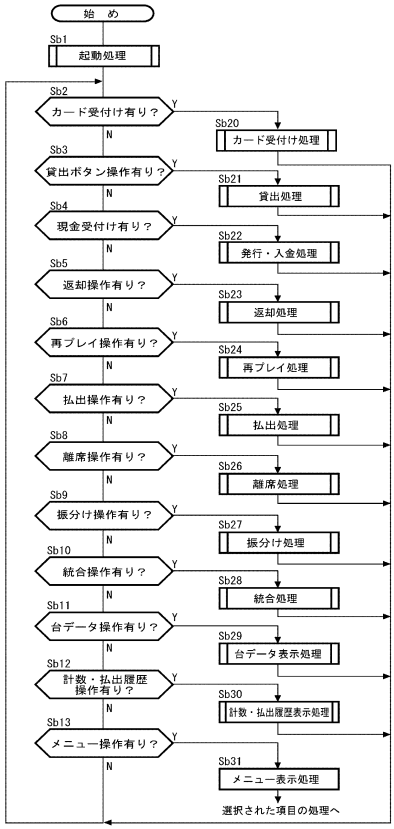
【図２４】



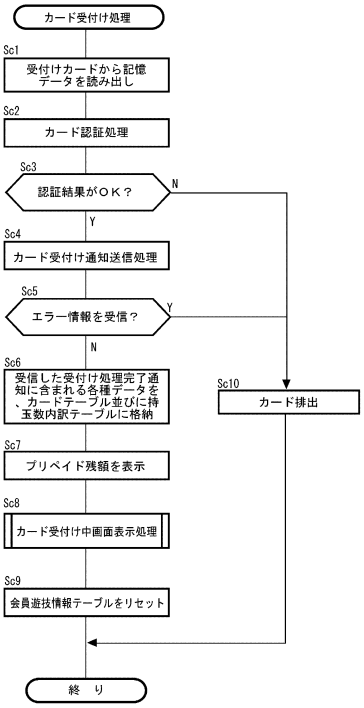
【図２５】



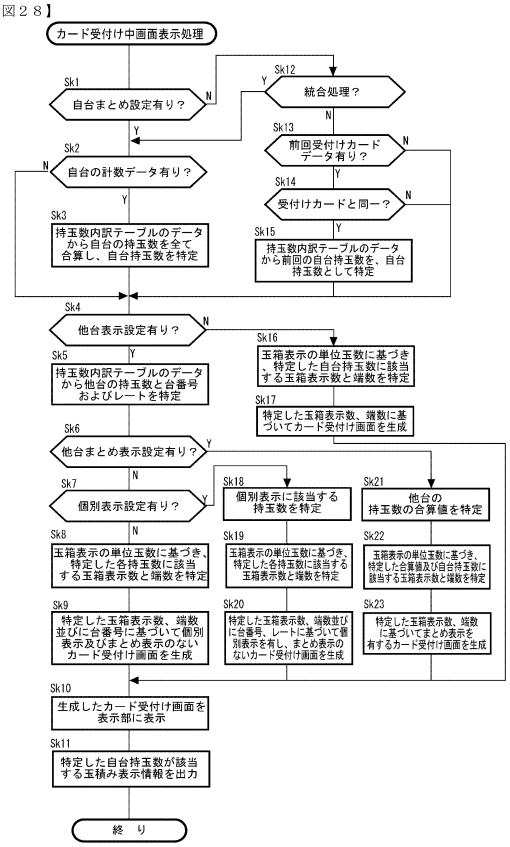
【図２６】



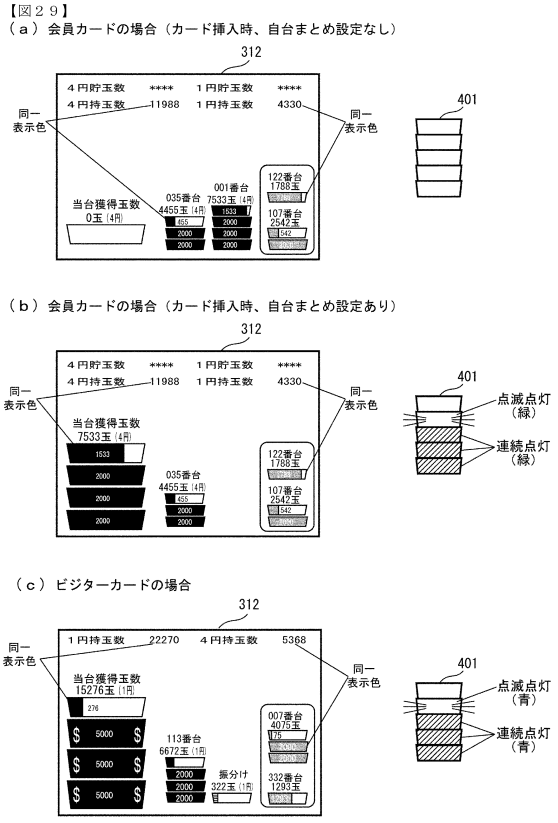
【図２７】



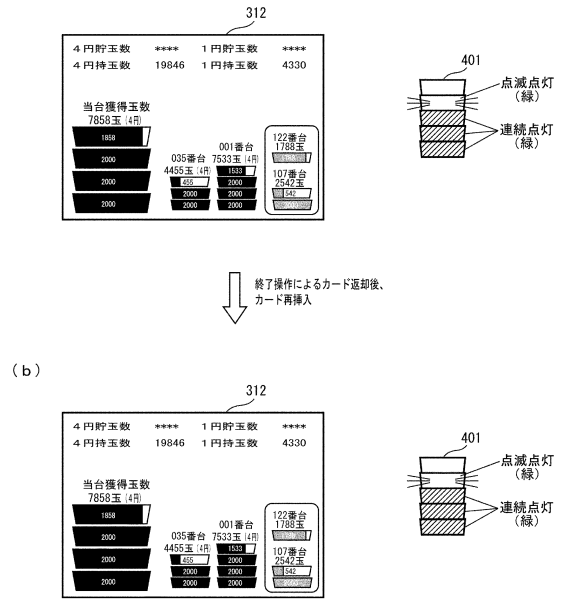
【図２８】



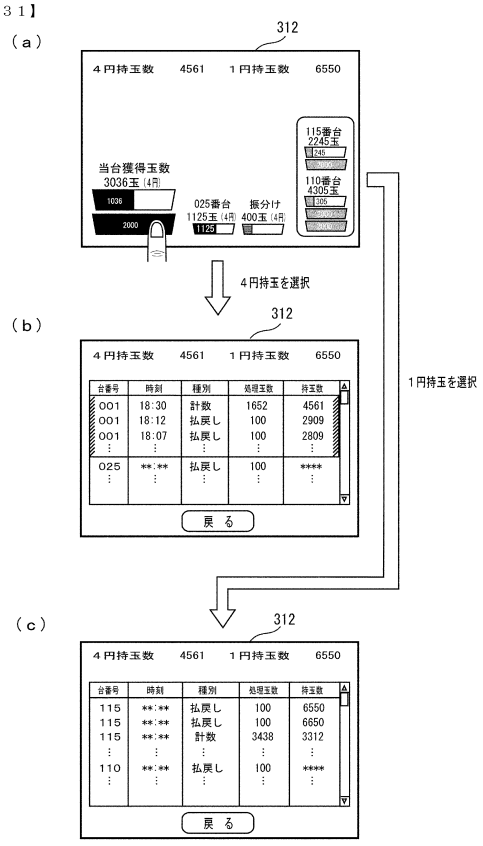
【図２９】



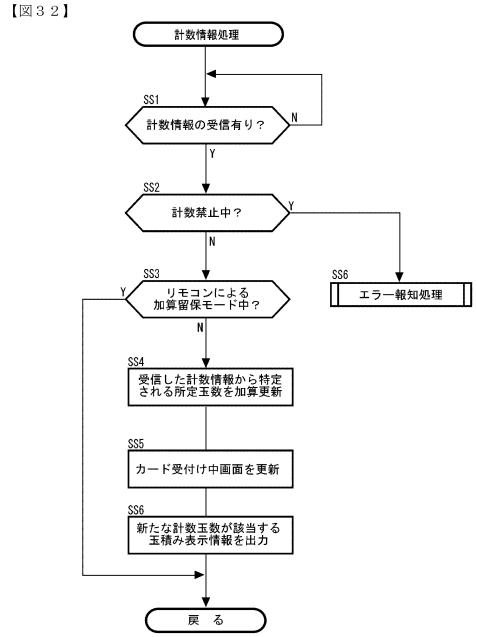
【図３０】



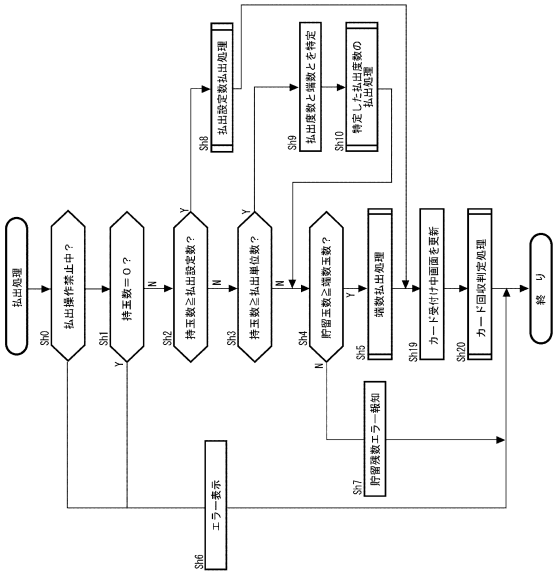
【図３１】



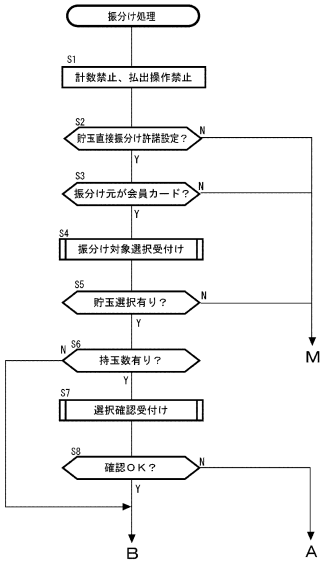
【図３２】



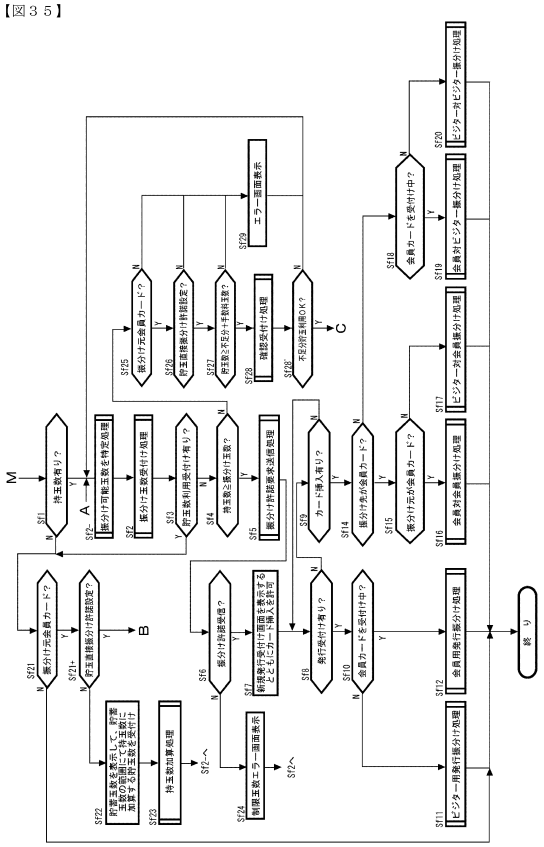
【図３３】



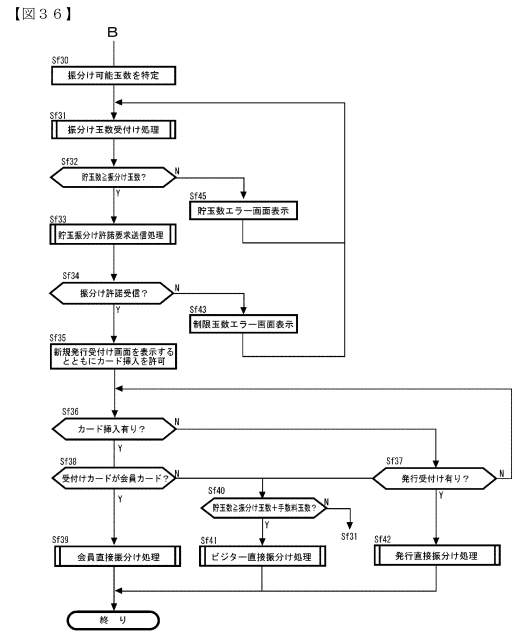
【図３４】



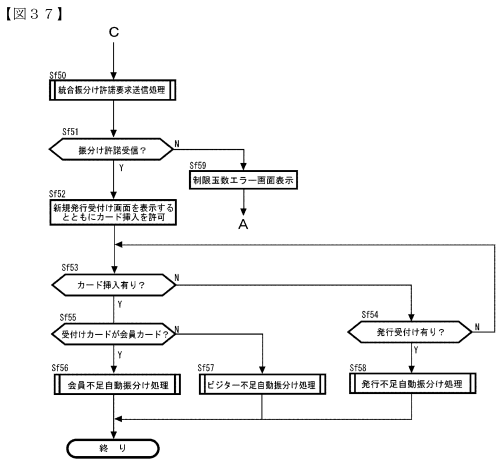
【図３５】



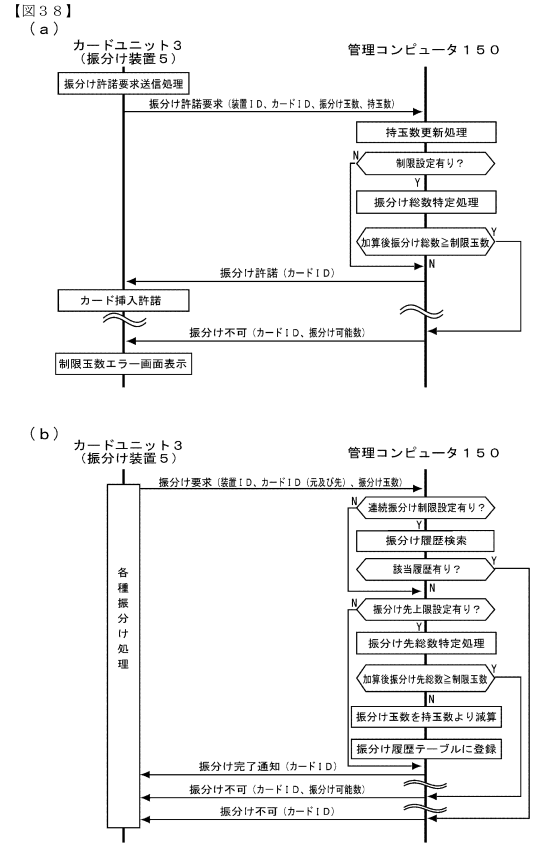
【図３６】



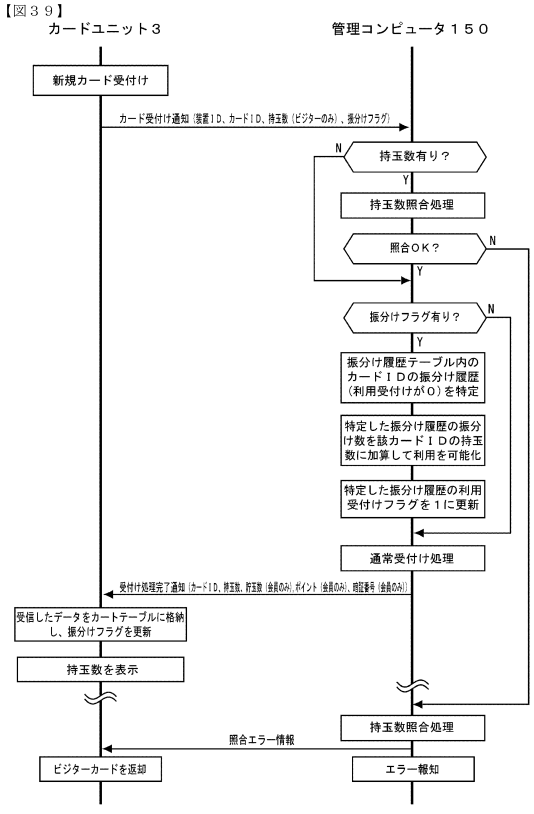
【図３７】



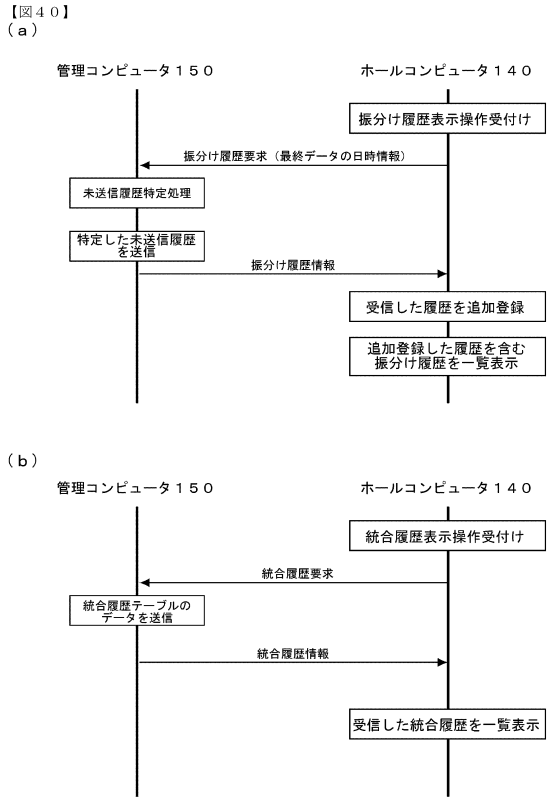
【図３８】



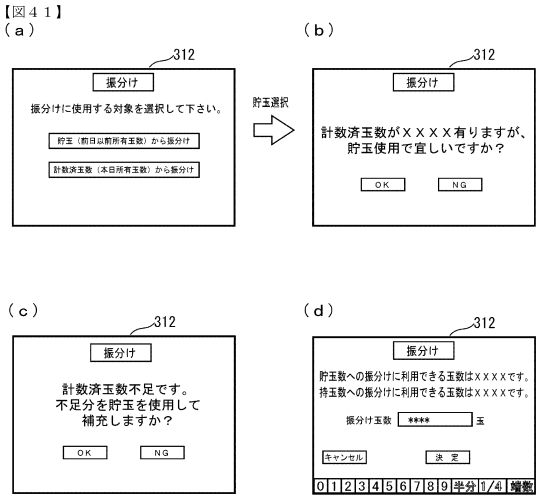
【図３９】



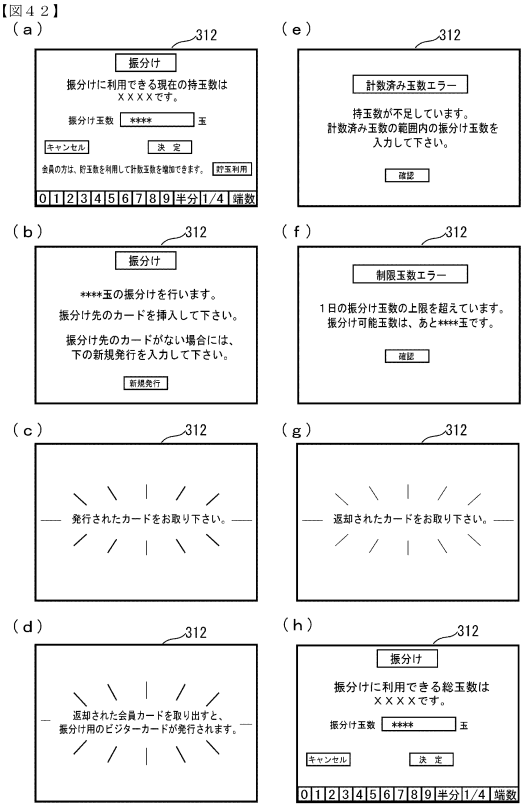
【図４０】



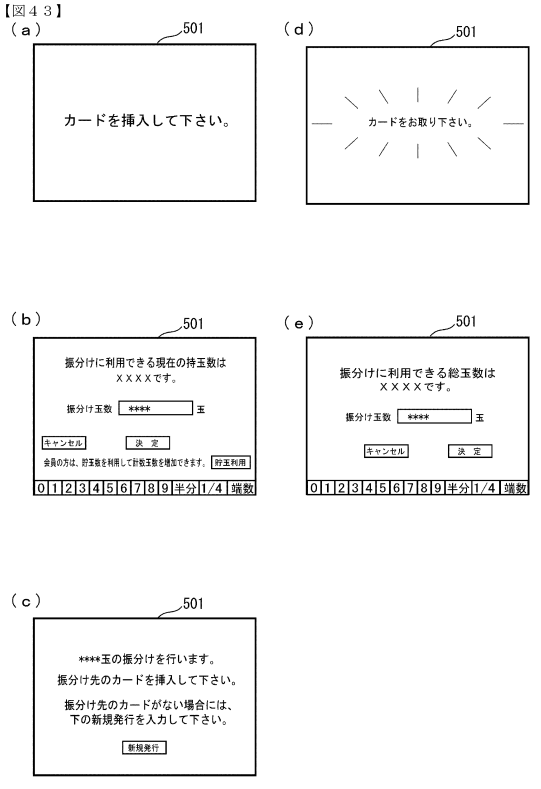
【図４１】



【図４２】

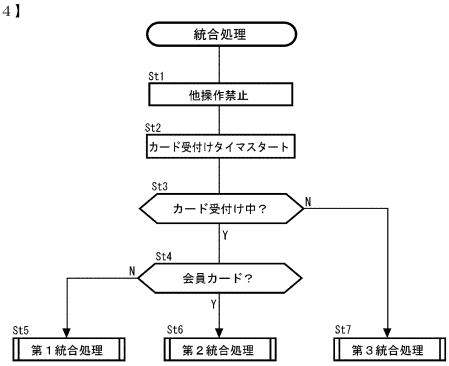


【図４３】



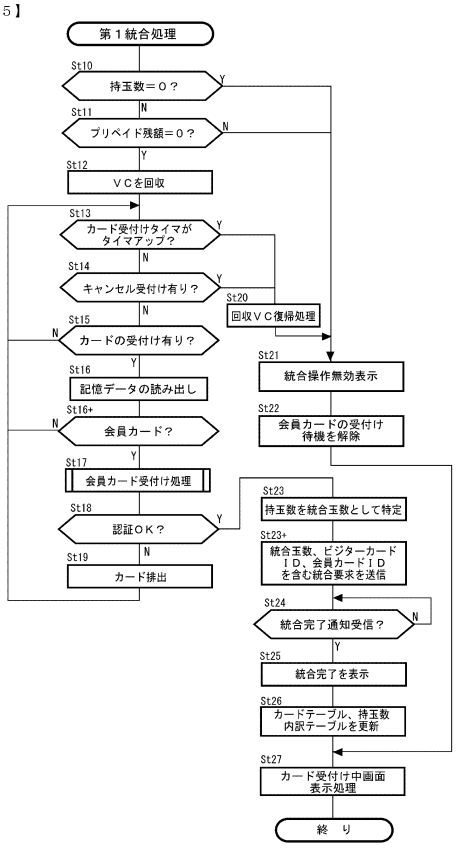
【図４４】

【図４４】



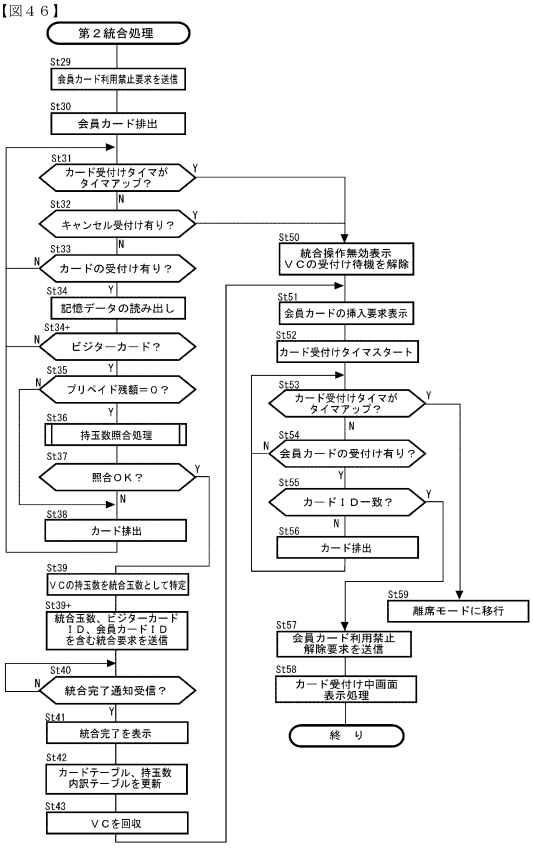
【図４５】

【図４５】



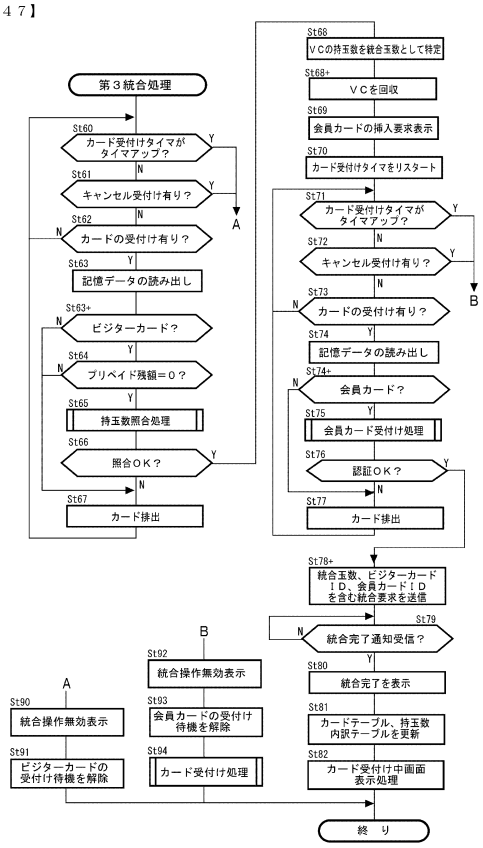
【図４６】

【図４６】



【図４７】

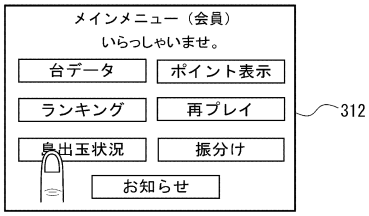
【図４７】



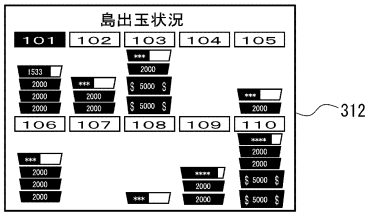
【図４８】

【図４８】

（ａ）


メインメニュー（会員）
いらっしゃいませ。
台データ
ポイント表示
ランキング
再プレイ
島出玉状況
振分け
お知らせ
312

（ｂ）


島出玉状況
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
312

フロントページの続き

(72)発明者　小倉　敏男
東京都渋谷区渋谷三丁目２９番１４号　株式会社三共内

審査官　▲高▼木　尚哉

(56)参考文献　特開２００１－０７０６０１（ＪＰ，Ａ）
特開２００３－３３４３７４（ＪＰ，Ａ）
特開２００８－２８４３０７（ＪＰ，Ａ）
特開２００９－１７２０４７（ＪＰ，Ａ）
特開平１０－１３７４２７（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ａ６３Ｆ　　７／０２